

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	組織機構の再編(部制の廃止、課・係の統廃合等)		体制コード	1-1-1-1				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
23年4月の組織再編を見据え、支所での係統合を進めるとともに、政策推進課に自治振興室を設置した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
部制の廃止等、組織再編に伴う準備を進める。								
平成22年度取り組み内容(D)								
23年4月の組織再編に向けた各種例規の整備及び人員配置を実施した。								
取り組みについての成果(C)								
「部制」の廃止とともに「係」単位から「室」単位への大幅な移行が図られた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
人事異動内示を早めるなどにより大きな混乱がなく、計画どおりの組織再編がなされた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
新たな組織における人員数が適正なものであったかの検証が必要である。また、更に職員数を減していく中での小規模な組織改編が必要となると思われる。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
組織再編後の各課業務の検証及び本庁・支所間の業務量の検証。								
平成23年度取り組み内容(D)								
業務量を検証する手法について検討を行ったが結論に至らなかった								
取り組みについての成果(C)								
特になし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
実施目標に対して具体的な取り組みまでに至らなかったため		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
検証するにあたっての基準(業務内容・業務量等)を見出すことができれば実施できたのではないと思われる		
平成24年度中の実施目標(P)		
組織再編計画(後期計画)の策定		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・所管課の反省を踏まえ、後期計画の策定に生かしてほしい。 ・部制の廃止をした事により、目標の事業効果がでたのか24年度末で検討が必要ではないか。 ・内部評価は「D」とあるが、そもそも業務量を把握することは部署により差異があるものの相当困難と思う。 ・組織機構の再編後、状況に応じて速やかに適正な人員の再配置等により、一人当たり業務量の平準化を図るといふことでよいのではないか。 ・人員配置に関して、解消は難しいとあるが、出来ないのか、やる気がないのか、一般企業では考えられないと思う。 ・事務系と、現場系では違う、現場系は現場に出れば、事務所には誰もいなくなり、用事が足りない。 ・各部署の業務内容と業務量の把握は、再編した組織・機構の検証に必要であり、適正な人事異動と人事考課の前提であり基本となることから、早急な把握が必要です。 ・部制の廃止に伴い、決裁期間の短縮と行政コストの削減はどの程度図られたのでしょうか。また、「係」単位から「室」単位としたことで、縦割り行政の解消はどの程度図られたのでしょうか。 		

平成22年度実施計画進捗状況における行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民への担当部署人員配置の周知がなされていない。(支所は実施) ・人員配置に偏りが無いか。係によって負担の大きいところがあるように思われる。 ・従来よりも縦割り組織になったように思うし、以前から要望の人事交流が十分でないのではないか。 	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有		
取組内容	定員適正化計画に基づく定員管理の実施		体制コード	1-2-1-2			
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318			
取組時期	H21	-	H21	945人	成果数値	H21	945人
	H22	-	H22	911人		H22	899人
	H23	-	H23	885人		H23	863人
	H24	-	H24	857人		H24	826人
	後期		職員数			職員数	
平成21年度取り組み内容(D)							
-							
平成22年度中の実施目標(P)							
-							
平成22年度取り組み内容(D)							
計画どおり、採用者数を退職者数の3割以内とした。							
取り組みについての成果(C)							
定年以外の退職(勸奨・普通退職)者がいたことから結果として計画以上の成果が見られた。							
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
最終目標数を達成するという観点においては良好といえるが、想定外の勸奨退職者・普通退職者が多数いたため、計画以上の職員数の減少化が進んでいる。そのため、安定的な定員管理の観点からは必ずしも良い傾向とはいえない。							
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
他の行革実施項目との整合性が図れていない面があるため、職種により不具合が生じていると感じる。							
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画に対する検証・評価の部分が不足していると思われるので、C評価とした。							
平成23年度中の実施目標(P)							
計画(目標)数値と実数との乖離による影響の検証と今後の数値のあり方についての検証。							
平成23年度取り組み内容(D)							
計画以上削減数値の回復手法の検討							
取り組みについての成果(C)							
平成25年度採用者から復元措置を講ずることとした							
平成23年度評価(所管)(C)		<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
行政改革における職員数の削減が定員管理上の目標であるならば大幅な達成といえる							

取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
前年度に同じ		
平成24年度中の実施目標(P)		
定員適正化計画(後期計画)の策定		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
退職者数の3割採用を行ってきた結果として目標数値を上回る職員数となっているものであり、検証を含めた取り組みが必要。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・大幅な達成が必ずしも良いとは限らないのではないかと。年齢に偏りが出て、将来の人事構想に支障が出るのではないかと心配である。特に、保育士は、統合・アウトソーシングを考えているようであるが、現在の正職員の少なさはいかがなものかと思う。</p> <p>・定員適正化計画以上の退職者が出た事により、市民へのサービス低下等の問題はないのか。</p> <p>・数値的には目標数を3.6%以上もオーバーしているが、削減出来たから良いのではない。業務に支障をきたすのであれば意味がない。</p> <p>・職員数の急激な削減により、広範な大規模災害発生時に市民の生命・財産・健康などを守る十分な体制がとれるのか。災害時に退職職員を活用するなどの制度はあるのですか。なければ検討すべきなのではないか。</p> <p>・専門職、技術職の不足が業務に支障をきしてないのか。又全般の行革の計画の中でアウトソーシングや業務委託に移行する項目も多く見受けられるがその進行具合によっては定員適正化計画に大きな影響を与えるが関連しての計画がなされているのか。</p> <p>・職員には能力の差がある。機械的に配分すると問題が発生する。</p> <p>・人事異動が必要なのか？</p> <p>・同じ課に在ることにより、エキスパートとして仕事が出来、仕事の処理能力も向上するのではないかと？</p> <p>・行政コストの削減において、定員適正化計画に基づき職員数を適正に管理することは、最大効果が見込まれるため重要です。特に、先進地等で実施している分野の民間委託や指定管理者制度の活用を進める事と、組織・機構の再編及び事務事業見直しは継続的に進め、合理化、効率化を図る事が重要です。</p> <p>反面、中長期な採用抑制が続くことから、一般行政職若年層が大幅に減少し、組織の活力低下も懸念されます。年次別の職員数や年齢構成を踏まえ、民間経験者等の中途採用(経験者)試験の取り入れも検討が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況における行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・定員削減が主眼であるが、削減計画以上の職員減少は職員への負担が大きくなるので、想定外退職者数も含めて採用人数を計画すべき。</p> <p>・職員数の適正とは、どのようなことから適正と判断されているのか、また定年以外の退職者が出たということは成果と捉えてよいのか、職員の適正や潜在能力を見だし課題に積極的に取り組めるように、使命感や達成感が得られる職場環境をつくることを目指さなければならない。</p> <p>・「職種による不具合が生じている」とあるが、由々しきことなのでレポートがあるべきである。</p> <p>・定員適正化計画に基づいた職員数の減少化が進んでいるが行政サービスの低下を最小限にとどめる対応策も合わせて行う必要がある。また、広い面積を有する村上市の防災、防犯等を考慮し、消防署等の職員については十分考慮する必要がある。</p> <p>・採用者数を退職者数の3割以内としたとあるが、職種により、不具合が生じているとの反省点があった。職務を効率よく実施するには、職種ごとの定数管理をしたほうが良いと思われる。</p> <p>・定員管理目標に到達という観点からすれば、数字上は達成なのだろうが本来の適正化という観点からすれば、長期休職等の職員が多数存在するという事は、もっと違う側面からの評価基準が必要ではないか。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	定員管理状況の公表		体制コード	1-2-1-3				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	公表	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
計画を市のホームページにおいて公表した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
引き続き計画の進捗状況等について公表していく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
引き続き計画の進捗状況等について公表していく。								
取り組みについての成果(C)								
特になし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
特になし								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
これまでどおり計画の進捗状況等について公表していく								
平成23年度取り組み内容(D)								
引き続き計画の進捗状況等について公表していく。								
取り組みについての成果(C)								
公表することで市民への情報提供が図られた								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
特になし		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
特になし		
平成24年度中の実施目標(P)		
これまでどおり計画の進捗状況等について公表していく		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおり行っているのでB評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・定員適正化計画は行政コスト削減が目標であり、定員管理進捗状況と併せた行政コスト(人件費)削減数値の公表も検討が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
・組織機構の再編がひとまず区切りがついたということであれば、各部署ごとの進捗状況も今後検討すべきではないか。	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	職員数・職員給与の検証		体制コード	1-2-1-4				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			-	H22		-	
	H23			-	H23		-	
	H24			-	H24		-	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
組織改革ワーキング部会において検討する。								
平成22年度取組み内容(D)								
<p>これまで定年退職者に加え、定年前の早期退職者が増えていることから、定員適正化計画以上に職員数が減ってきているが、平成23年度新規採用者数は、年度末退職予定者数の3割として組織改革ワーキング部会で協議を行った。</p> <p>なお、職員給与の検証は行っていない。</p>								
取組みについての成果(C)								
<p>人件費の縮減(H22~23 対定員適正化計画目標数)</p> <p>行政職 @7,328千円 * 9人 = 65,952千円... 技能職 @6,815千円 * 1人 = 6,815千円...</p> <p>+ = 72,767千円</p>								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)					
職員数については協議を行ったが、職員給与についての協議は行わなかった。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
職員定員適正化計画で示した目標値以上に職員が減ってきているが、行政サービスの低下につながらないよう管理が必要。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)					
所管課評価に同じ。 職員給与の検証については、平成23年度中の実施目標にも書かれていないが、期限を決めて結論を出すよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き、退職3割補充を基本として行っていくことになるが、見込みを上回る退職者数となっていることから、新規採用者数の検討も必要。								
平成23年度取組み内容(D)								
<p>職員数については、引き続き定員適正化計画による退職者の3割補充としたが、これまで勤奨等による早期退職者により職員数の減少が計画目標よりも進んでいるため、若干の採用増を行った。</p> <p>また、H23.4月からの部制廃止に伴う職務分類表等の改正により給与体系の検討を行っている。</p>								
取組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
<p>人件費の縮減(H23 24 対定員適正化計画目標数)</p> <p>行政職 @7,093千円 * 6人 = 42,558千円... 技能職 @6,429千円 * 3人 = 19,187千円...</p> <p>+ = 61,845千円</p>								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由:取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
計画に基づいた職員数及び組織再編に伴う給与体系の実施		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
職員数は定員適正化計画により削減を進めているが、人員に見合う事務・事業の整理・見直しが進んでいない。		
平成24年度中の実施目標(P)		
職員定員適正化計画及び組織再編計画等の後期計画策定に合わせ、職員数と業務の整理・見直しを行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・総務課人事係と財政課行政経営係が同じようなことをしている。どちらかですべきではないか。 ・H24.4からの給与体系の検討では遅い。給与水準の統一には10年以上要すると思われる。従って、本来であれば合併後速やかに取り組むべきであった。早急な実施が望まれる。 ・合併後年数も経過しているので随時適正化の見直しは必要ないか。 ・本所、支所の給与格差はないのか、たとえば、旧村上市の課長と、旧郡部の課長との格差等。 ・未実施とされている職員給与の検証は、諸手当、福利厚生費、旅費も同時に検証し透明化を図ることが必要です。 ・職員給与については、村上市の財布の中身に見合った給与体系を図っていくべきと思う。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・行政改革には財政改革も含まれるので、最近の民間給与の状況及び物価指数の変動などを踏まえ棒給表の検討も早期に着手する必要がある。 ・職員給与は社会経済情勢や、財政状況の変化に適用したのようになるよう早急に検証していかなければならない。また、村上市の行政運営に応じた定員管理に努めなければならない。 ・「職員給与についての協議は行わなかった。」とあるが、なぜ行わなかったのか。行えなかった原因がどこにあるのかの掘り下げが足りない。 ・財政改革は急務な問題なので、定数ばかりに目が行くのではなく、給与体系にも独自に検証すべきである。 ・「職員給与の協議・検証は行わなかった」とあるが、何故できなかったのか。 合併前の各市町村間の給与体系(水準)の違いで困難なのか。 除々にでも「村上市」としての給与水準を図って行くべきと思う。 ・職員給与の検証及びそれに基づく改革を急ぐべき。特に昇格昇給基準の見直しと、その詳細な公表を強く望む。 		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	職場の状況把握及び改善		体制コード	1-3-1-1				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	実施	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
年末の勤務の代休取得を徹底した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
時期的に業務の集中する職場の改善を検討する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
時期的に業務の集中する職場の改善を検討し、人事異動の際に反映								
取り組みについての成果(C)								
特に成果は出ていない								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
取組に対して目に見える成果が出ていない								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
合併後の職員数の削減による職員個人あたりの業務量がどのようになっているか把握できない								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
組織再編もあるが、各職場の状況把握から改善に向け検討すること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
組織再編後の各職場の状況の把握								
平成23年度取り組み内容(D)								
特になし								
取り組みについての成果(C)								
特になし								
平成23年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
取組を実施していないため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
行革担当において取組むべき事項と考える								

平成24年度中の実施目標(P)		
上記により特になし		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>取組を実施していないためD評価とした。 人員配置計画にも欠かせないと思われるため、職場の状況把握の仕方を検証し、構築すること。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p> <p>・行革担当において、取り組むべき事務と考えるとなっているが、計画段階で話し合いがなされていないのではないのか。 ・近年、どの職種においても、メンタル面による長期病欠者が多くなっている。上司、同僚等により罹災者の早期発見、療養を進め早期の復帰を心がける。 ・職場の状況把握は、市町村合併や行革の有無に関わらず不断に行うべきものである。 ・23年度の取り組みが「特になし」で内部評価が「D」ということについて内部検証すべきではないか。状況把握がなければ問題点も浮上せず改善は出来ないのではないか。 ・「職員個人あたりの事務量が把握できない」とあるが業務内容の質と量について各部署の長はどのようなマネジメントを行っているのか。 ・「総職員の削減と並行した中で成果を見出すことは困難である。」と回答されていますが最初から困難であるというのであればその取り組みは既に成果等見出せるものではありません。(この回答では、何もしていませんに等しいです。) ・各部署の業務内容と業務量の把握は、再編した組織・機構の検証に必要であり、適正な人事異動と人事考課の前提であり基本となることから、早急な把握が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p> <p>・「職員個人あたりの業務量がどのようになっているのか把握できない」とあるが、1-3-1-2の「担当者の業務量の増加などの影響が出ている」と矛盾している。 ・漠然とした感覚ではなく、具体的事務ごとの所要時間・月間処理件数などのサンプル調査を実施し測定する必要がある。 ・職員個人の業務量と各職場の状況の把握ができていない状況で、市民サービスを考える事は出来ないはずである。またこの問題を棚に上げ定員適正化を議論することはできないのではないか、場当たりのな感じである。地域の住民や民間企業等との連携を図り、住民サービスの向上に努めなければならない。 ・定数及び待遇を決定するのに、部門別の業務量を的確に把握することは大前提であるが、なされていないことは大きな瑕疵である。 ・「成果が出ていない」とは、検討・取り組み内容に問題があったためか、当分の間その成果が出るためには時間が必要ということか。職員間に「不平等」といったものはないのか。 ・職場の状況把握ができていないとの反省点があったが、担当課長が業務量を把握できるとし、職務を効率よく実施する人員配置の最前線だと思う。 ・病欠職員の減少に向けた具体的な対策が必要ではないか。 ・継続した人事異動の希望や意見を聴取し、環境の変化などを常に把握するような取り組みのシステム化が必要なのではないか。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	時差出勤制度等内容の周知徹底		体制コード	1-3-1-2				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
機会を捉え周知に努めた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
管理職員への周知を徹底し、制度活用の促進を図る。								
平成22年度取り組み内容(D)								
管理職員への周知を徹底し、制度活用を促した								
取り組みについての成果(C)								
職員に対する制度の周知・浸透が図られた								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
職員に対する制度の周知・浸透は図られたと思われるため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
本市の場合、職場が多様であり勤務体制が特殊なものが多いことから、一律的な対応が困難な事例が発生している。また、職員数の縮減をしていることから臨時職員の雇用等、正職員人件費以外の面での負担や担当者の業務量の増加などの影響が出ている。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 ただし、他の部分で影響が出ているのであれば、定員適正化計画等の検証を行い、対応に努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き制度の周知徹底に努める								
平成23年度取り組み内容(D)								
制度の周知徹底に努めた								
取り組みについての成果(C)								
特になし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
特になし		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
特になし		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き制度の周知徹底に努める		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
取組内容としては実施されているが、目標としている職員の健康維持や時間外勤務の縮減などの成果に向けた取り組みが必要。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・既にある制度を職員に周知するだけのことであれば行革の項目に設定するほどのことなのかという疑問が生じます。</p> <p>・この項目が、業務の繁閑を平準化する目的であるなら、併任の活用で応援体制を構築してはどうか。</p> <p>・休日出勤等を行うということは忙しいからであり、代休も取れない状況にあると思われる、代休ではなく金銭での支払いという事は考えられないのか。また代休にこだわる理由は何か。(普通であれば働いた分だけお金がもらえるのが当然である、そちらが優先ではないか)</p> <p>・時差出勤制度の活用は、所属長の管理能力によるところが大きく、所属長への適正な指示・指導が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・「担当者の業務量の増加などの影響が出ている」とあるが、1-3-1-1の「職員個人当たりの業務量がどのようになっているのか把握できない」と矛盾している。</p> <p>・漠然とした感覚ではなく、具体的事務ごとの所要時間・月間処理件数などのサンプル調査を実施し測定する必要がある。</p> <p>・「本市の場合、職場が多様であり…」という感想が理解しがたい。多様特殊なのであればその部署ごとに対応すればいいのであり、そもそも行政はオンリーワンの存在なのであるから、多様特殊性を理由にするのは問題である。</p> <p>・時差出勤の職員について、出勤・退庁時の広報方法の工夫もあっていいのでは。</p> <p>・時差出勤などの取り組みにより、臨時職員等の総時間数は増減しているのか。定員を減らしているのに、臨時職員等の勤務総時間が増加しては、何の意味もなさいと考えられる。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	職員研修(階層別、専門別)の受講		体制コード	1-4-1-1				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	実施	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
市町村総合事務組合が主催する階層別・専門別研修を主に、該当職員を受講させた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
引き続き計画に沿い、対象者を受講させる。								
平成22年度取り組み内容(D)								
職員を計画どおりに受講させた								
取り組みについての成果(C)								
成果は職員個人のスキルによるものが大きいことから一概には言えない								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
受講予定の研修は一通り受講させた								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
合併前の職員採用形態や研修受講形態の違いから、現時点では均等化することが重要と考える								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 ただし、合併による影響を解消するためには計画以上の実施の検討も必要。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き計画に沿い、対象者を受講させ、均等化を図る								
平成23年度取り組み内容(D)								
計画どおり対象者を受講させる								
取り組みについての成果(C)								
研修を受講することで各階層別研修においては基礎知識の習得が図られ、専門研修においては業務に応じた知識の習得が図られた								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおりであるため		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
特になし		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き計画に沿い、対象者を受講させる		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 ただし、行革委員会の意見からも積極的な実施の検討が必要。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・職員には教育が大切(計画的に実行)</p> <p>・意識改革で最も重要なことは、環境を変えることであり、それには組織風土・職場風土を改革する必要があります。行政全体が組織風土・職場風土改革の重要性と必要性に関する認識を共有し、プロジェクト等を作って実践していく事が必要です。計画に沿った階層別研修・専門別研修だけでは意識改革はできません。組織風土・職場風土改革と研修計画を両輪として進める事が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・義務的研修受講は最低限必要であるが、積極的にスキルアップを希望する職員には『受講料半額補助』などの方法で受講させ、その成果を仕事(職場)にフィードバックしてもらうということも必要でないか。</p> <p>・研修することだけに目線が行っているように感じられる。何のために研修をするのか、受けた研修がどのように自治を高めていく事につながっているのか検証を重ねる必要がある。</p> <p>・計画通り受講させることが目的でないので、スキルアップや意識改革のための創意工夫と研修効果や力量の検証方法の検討システムが必要とされる。4-1-1-4にも「職員のスキルアップが必要」とあるように、各部署で必要とされる研修の要望に即した研修計画の立案も必要と思われる。</p> <p>・フィードバックと成果のチェックが働いていない。</p> <p>・「研修受講」が目的ではない。あくまでも職員の資質向上が目的である。受講はその手段。受講成果向上のための内部体制の構築が肝要と思う。</p> <p>・専門研修は不足していないか。目指す新市の職員像に近づいているか。他の自治体と研修内容や受講人員を比較するよりも、総合計画で目指す市の青写真を実現できる職員の育成のための、オリジナルな職員育成プログラムの創設を望む。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	地域活動への積極的参加		体制コード	1-4-1-2				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
これまでも機会を捉え職員に周知しているが、特に特別な取り組みはしていない。								
平成22年度中の実施目標(P)								
地域活動参加の有効性を検証し、具体的事例等を明示し周知を図る。								
平成22年度取り組み内容(D)								
特に行っていない								
取り組みについての成果(C)								
特になし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
取組み未実施のため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
「地域活動」については、市職員として積極的に参加すべきと考えるが、その一方では職務時間外のこともあり、強制的にとらえられないように慎重を期す部分もある。核家族化が進む現状では、プライベートが忙しいということも理解はできるので、難しいと感じる。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
取り組みを行っていないので、D評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
機会を捉えて参加を促すよう、周知を図る								
平成23年度取り組み内容(D)								
夏季休暇通知等において周知を図った								
取り組みについての成果(C)								
職員周知による反響等が特に無いことから、周知が図られたものと思われる								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
特になし		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
サービス外の事項であるため、職員に対する周知啓発を行うことが取り組みの限界である		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き、参加促進について機会を捉えて周知を図る		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
周知を行っているためB評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間に意識の差があるのではないが。 ・職員が地域活動に参加する意義は大きい。 ・周知は夏季休暇通知時等とあるが、年度を通じて随時行っている、という取り組み内容であってほしい。 ・市職員は、集落をまわりその区長らと交流するなど地域を知ること。 ・市役所内の仕事も大切ですが、地域の課題解決や活性化に対する適切な施策を生むためには、地域活動に積極的に参加し地域の話聞き、一緒に考え、一緒に行動できる職員が必要です。地域活動への積極的参加は重要であり、目標管理制度や人事考課制度の項目への採用も検討が必要です。 ・地域活動への参加は、いち住民として積極的に参加すべきであり年代を超えた地域住民との繋がりの中から協働のまちづくり活動も生まれてくると思う。 		
平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・村上市に限ったことではないが、市の職員の「地域活動」については以前より消極的であると感じていた。市の職員達はまちづくりのプロである。このプロの考え方や技術を地域活動に取り入れることが出来るならば、地域の大きな力になることは間違いない。現在民間企業でさえ地域との結びつきや、地域の自然保護活動などに参加しつつある。市の職員が地域活動に参画していないのは、地域の活動というものが、どのようなものなのかを知らないだけではないだろうか。出来るならば職員一人ひとりにテーマを与え、そのテーマに沿った地域活動に参加させるぐらいの指導力が欲しいものである。評価の中に取り組みを行っていないのでD評価としたと記載されているが、参加していない事が悪いことではなく、地域活動というものがどのようなものなのかを、しっかりと教えて来なかった事が一番に悪いことだと思う。この取り組みについては市の組織全体が今一度真剣に議論する必要がある。職員は積極的に地域の活動に参加し、市民との対話を深め、行政と市民、地域の役割を確認し住民協働社会の構築を目指してほしい。市の職員であるという誇りを持ち地域活動を自ら支えていく位の粋を期待するものである。 ・取り組みについての感想の全文「地域活動については、市職員として積極的に参加すべきと考えますが、その一方で職務時間外のこともあり、強制的にとらえられないように慎重を期す部分もある。核家族化が進む現状では、プライベートが忙しいということも理解はできるので、難しいと感じる。」ということを書き添えておくこと自体が市職員として問題である。 ・24年度から実践される「協働のまちづくり」事業を契機に参加活動が促進されるだろうと思われるので、職員も徐々にその意識が高揚していきたく思う。 ・職員の意識の問題だと思うが、地域活動への参加は、協働のまちづくりの第一歩だと思う。積極的な参加を希望する。 ・地域活動参加について、職員の意識改革とともに、その評価手法も確立する必要があると思う。既に、様々な地域活動を実践している職員が、自らの時間を割いて献身的に従事している実態があるのだから。 		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	本庁と支所、支所間の人事異動の積極的实施		体制コード	1-4-1-3				
所管	総務課・人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23	-	
	H24		H24	-		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
機構改革の際の人事異動で検討する。								
平成22年度取組み内容(D)								
各支所から本庁への異動については、これまでどおり実施した								
取組みについての成果(C)								
特になし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
本庁で培ったスキルを支所で活かすような人事交流となっていないため								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
合併前の各市町村における年齢別職員数の違いや昇任時期の違いなどにより単純な人事異動の実施は困難と考える。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
本庁から支所および支所間の異動については、合併時よりも減っているので、D評価とした。 なお、市民の一体感の醸成のためにも、市役所が率先して旧市町村の壁を越えるよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
導入手法の検討								
平成23年度取組み内容(D)								
平成24年4月1日付け人事異動において交流を開始した								
取組みについての成果(C)								
取組みの結果が明示されたのが平成23年度中ではないことから、見出せる成果はありえない								

平成23年度評価(所管)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
本庁・支所間の人事交流を開始したため		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
職員のメンタル面への影響を危惧する		
平成24年度中の実施目標(P)		
庁舎間人事異動を継続する		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおりのためB評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・人事交流を目的とせず、職員の意識改革やスキルアップの観点から是非進めてほしい。</p> <p>・人事異動を積極的に行う。毎年山北から本庁へ、その反対等いろいろ検討してほしい。</p> <p>・「本庁で培ったスキルを支所で活かす人事交流となっていない」のは、「合併前の各市町村での年齢別職員数の違いや昇任時期の違いなどにより困難」とあるが、中堅層や若年層職員の人的交流を意図的に行い支所間の差を無くしていくことを望む。</p> <p>・合併のメリットの一つに、幅広く人事異動ができることがあります。職員能力に応じた適切な人事配置は、合併による行財政能力の向上につながります。村上市管内は全て通勤可能範囲であり、本庁と支所または支所間での幅広い人事異動が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・人事異動・交流の本筋を捉えていない。</p> <p>・本庁、支所等の出先機関の機能のあり方を十分検証し職員の意識改革のためにも本庁から支所及び支所間の人事異動については旧市町村の垣根を越え積極的に行う必要がある。</p> <p>・管理職級の積極的な人事交流を行革委員会でも要望してきたところであるが、残念ながらその成果は認めるには遠いと思う。給与の検証に全く取り組んでいないのに、あたかも合併前の各市町村の給与等の制度差が人事交流の足かせとなっているかのような記述は、評価できないと考える。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月12日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	人事考課制度の創設(旧村上市人事考課制度の見直し検討)		体制コード	1-4-2-1				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
旧村上市の制度をベースに新しい組織体制に合わせ、制度の見直しを行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
係長級以上の職員に試行し、制度の検証を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
制度の試行を行い、検証を行った								
取り組みについての成果(C)								
制度の試行により職員間の「評価」に対するギャップがかなりあることがわかった								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
試行翌年度に組織再編があることから、実態をとらえる検証を行うことができなかったため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
組織改編を挟んでの制度構築・試行は無理がある。再編された組織がある程度安定する状態で制度構築・試行を図るべきと感じた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 なお、計画的に取り組みを行うこと。								
平成23年度中の実施目標(P)								
再編後の組織に合わせるための検証をする								
平成23年度取り組み内容(D)								
全職員を対象とした試行運用を開始した								
取り組みについての成果(C)								
全職員に対し、制度周知が図られた								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
評価すべき項目なし(取組時期明記なし)		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
特になし		
平成24年度中の実施目標(P)		
取組終了により特になし		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・年功序列も必要ですが5割は能力給とする。能力のある者は抜擢する。</p> <p>・人事考課の導入と運用は民間企業でも大変難しく、総論賛成各論反対が多くあります。導入目的を明確にして、行政全体が研修や会議を重ね職員育成、昇格、昇給、人事異動等にどのように活用していくか、認識を共有することが重要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・年功序列、不要不急な人材などの悪しき状態打破のため、至急の構築を求める。</p> <p>・考課制度導入にあたり、その評価に対する考え方の基準作りとそれに合わせた研修の実施により、制度導入前の「地ならし」が必要なのではないか。評価方法の公正化・透明化をはかり、職員に不合理な待遇となるようなことが無いよう、慎重な計画が必要と思われる。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	人事考課制度(係長以上)の試行、運用		体制コード	1-4-2-2				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		試行	H22		-	H22	-
	H23		運用	H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
21年度に構築した制度に基づき、係長級以上の職員に試行する。								
平成22年度取組み内容(D)								
係長級以上の職員による試行を行った								
取組みについての成果(C)								
対象者のほぼ全員が受講することができた								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
研修会の実施にあわせ、試行(実務)を行うことができた								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
地域性もあるのか支所単位毎に評価のバラつきが見られた。確立された制度として運用するためには職員間のバラつきをなくす必要があり、そのためにはかなりの時間を要すると感じた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
H22は試行段階であるので、所管課の評価のとおり、B評価とした。 ただし、実際の運用にあたっては制度導入の目的をはっきり定め、取組みを行うこと。								
平成23年度中の実施目標(P)								
職員間において制度内容の熟知度に大きな乖離があることから、引き続き研修会及び試行を継続する								
平成23年度取組み内容(D)								
研修会及び試行の継続実施								
取組みについての成果(C)								
制度周知が図られた								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
前年度の実績に基づき適正に実施した		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
制度周知は図られたが、職員間の熟度がまだ安定していないと感じる		
平成24年度中の実施目標(P)		
職員の熟度が上がるまで施行を継続する		
平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・順番制で良い評価が回ってくるような馴合い評価を行うことなく、信賞必罰を旨とし、職員の意欲向上に繋がる制度にしていきたい。</p> <p>・試行、運用に当たっては、考課者研修、被考課者研修を継続的に行うことが必要です。また、考課者調整会議を開催し、他の考課者の前で自らの効果内容を説明し合い、考課者目線を合わせていくことも重要です。運用当初の調整会議には、第三者(専門家等)の客観的目線を入れることも必要と考えます。人事考課制度と併せ、施策実行に向けた目標管理制度があればよいと考えます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・年功序列、不要不急な人材などの悪しき状態打破のため、至急の構築を求め。</p> <p>・考課制度導入にあたり、その評価に対する考え方の基準作りとそれに合わせた研修の実施により、制度導入前の「地ならし」が必要なのではないか。評価方法の公正化・透明化をはかり、職員に不合理な待遇となるようなことが無いよう、慎重な計画が必要と思われる。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	人事考課制度(すべての職員)の試行、運用		体制コード	1-4-2-3				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22	-	
	H23		試行	H23		-	H23	-
	H24		運用	H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取組み内容(D)								
-								
取組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
-								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成23年度中の実施目標(P)								
係長級以上の職員の試行において制度内容の熟知度等に乖離があるため、計画にある一般職員への試行は困難である。 そのため、係長級以上の試行を優先させ、状況によっては全職員への試行は見送ることもありえる。								
平成23年度取組み内容(D)								
全職員を対象に研修会を実施した								
取組みについての成果(C)								
制度周知が図られた								
平成23年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
年度計画どおり実施したことから								

取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
特になし		
平成24年度中の実施目標(P)		
制度内容の熟度が不足していることから、試行を継続する		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・試行、運用に当たっては、考課者研修、被考課者研修を継続的に行う必要があります。また、考課者調整会議を開催し、他の考課者の前で自らの効果内容を説明し合い、考課者目線を合わせていくことも重要です。運用当初の調整会議には、第三者(専門家等)の客観的目線を入れることも必要と考えます。人事考課制度と併せ、施策実行に向けた目標管理制度があればよいと考えます。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	わかりやすい公表方法の調査・研究		体制コード	2-1-1-1				
所管	財政課財務係		担当者・内線番号	板垣 強 ・ 323				
取組時期	H21	調査・研究	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
財政計画に基づき、実質公債費比率を推計。22年度からHP上で公表する「財政健全化判断比率」に将来推計も付記可能とした。								
平成22年度中の実施目標(P)								
「財政健全化判断比率」の公表の際に、単に判断比率の数値のみの公表に留まらず、実質公債費比率の将来推計を付記する。								
平成22年度取組み内容(D)								
市報11月号及びHPの財政情報(財政状況等一覧表)により財政健全化判断比率を公表。ただし、目標とした実質公債費比率の公表については、財政計画と年次別実績の乖離など、不透明な要素の割合が大きいため付記しなかった。 なお、実施目標には掲げなかったが、新地方公会計制度に基づく財務4表のHP上の公表において概要版を作成するなどし、わかりやすい公表方法の検討を行った。								
取組みについての成果(C)								
新地方公会計制度に基づく財務4表について概要版を作成することができた。他の指数、財政状況の公表にも活用していきたい。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
目標とした実質公債費比率の公表を見合わせたため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
情報のアウトラインが理解できる概要版については、わかりやすい公表に欠かせないものと考え、できるだけ付記、作成していきたい。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 また、現状の公表の仕方を他市町村と比較し、よりわかりやすい公表の仕方を検討すること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
HP上で公表している各情報について概要版又は説明情報の付記を行い、わかりやすい公表を心掛けたい。								
平成23年度取組み内容(D)								
HP上で公表している新地方公会計制度に基づく財務4表について、概要版を作成し公表した。また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率及び資金不足比率を新たに公表した。								
取組みについての成果(C)								
新地方公会計制度に基づく財務4表について、概要版を付記することにより市民にわかりやすい情報となるよう心掛けた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
財務4表については計画どおりに実施することができたが、現状のままで良いのか他市町村の状況を参考にして、研究をしていく必要がある。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
財政情報には専門的な用語が使用されていることから、市民に分かりやすいよう用語の説明を加える必要があると感じた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続きHP上で公表している各情報について概要版又は説明情報の付記を行い、他市町村の公表の仕方参考にしてよりわかりやすい内容とする。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組み自体は計画どおり行われている。 他市町村の公表の取り組みを比較研究し、よりよい公表の仕方にする。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・公表により行政の透明性と説明責任は大きく向上しています。導入されている新地方公会計制度に基づく財務諸表は、資産や負債の管理と併せて予算編成へ有効活用していく事が重要と考えます。実質公債比率、将来負担比率は、現状内容と今後の推移や改善見込み等の説明があれば理解しやすくなります。また、前年と比較説明があれば更に良くなります。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・以前から見ると市報などに掲載される財政関係は、かなり解り易くなってきている。これについては評価していきたい。内部評価ではまだまだの様子なので解りやすい公表を期待します。</p> <p>・「財政計画と年次別実績の乖離など、不透明な要素の割合が大きい…」だけでは分からないので、説明が欲しい。</p> <p>・公表数値の整合性の確保(表示も含め)に配慮する必要があると思われる。その時々公表手法があっただけであるが、公表数値を見た市民や関係者が、誤解を招くことのないようなものでなければ、結果として公表の意義が弱まることになってしまうのではないか。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	補助事業の内容、金額、効果等の公表(2-3-1-2と重複)		体制コード	2-1-1-2				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
補助金の今後の方針一覧をホームページで公表したほか、平成22年度補助金交付予定一覧の公表に向けて、準備を進めた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成22年度補助金の交付予定を8月1日号の市報で公表し、市民に情報提供します。								
平成22年度取り組み内容(D)								
8月1日号の市報に挟み込み、補助金交付予定一覧を全戸配布により公表。併せて、ホームページにおいても一覧を公表した。								
取り組みについての成果(C)								
初めての実施であったが、公表後に市民からの問い合わせが3件あり、補助制度の内容及び適用の有無など、市民の行政に対する関心を上げられた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画どおり公表を行えた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
初めての取り組みであり、多くの市民から意見、問い合わせが来ることを想定したが少なかった。また、議会で一般質問が試みられるなど、一定の成果が得られた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 ただし、取り組みに対する反応が少なかったと思われるので、内容や公表の仕方の工夫に努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き、当初予算の交付予定について一覧により公表を行っていくとともに、新たに前年度の交付実績を取りまとめ、一覧として公表(ホームページ)を行っていく。								
平成23年度取り組み内容(D)								
7月1日号市報に挟み込み、補助金交付予定一覧を全戸配布。併せてホームページにおいても公表した。 なお、公表内容に前年度の予算額も記載することで、当該年度との比較ができるようにするとともに、「新規」や「廃止」といった制度の取扱いが分かるような表記を行った。 また、新たに前年度の補助金交付実績を一覧表にまとめ、8月にホームページで公表を行った。								
取り組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
市民から補助制度に対する問い合わせがあり、補助金の透明性の確保に成果があった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由:取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
前年に引き続き、当初予算による交付予定額の公表と、新たに前年度交付額の実績公表を行った。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
当初予算における補助金支出予定を掲載しているものであり、年度当初にで公表できるようにしたい。 また、前年度の実績額を公表することにより、補正予算による補助金額の増減や新設等の対応についても情報提供が行えた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き、年度当初での交付予定額公表ができるよう取り組みを進め、前年度実績額の公表も行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の効果の検証は大切だが性質による。運営費の多くを補助金で賄っている団体のを削減しては組織が崩壊する。 ・公表により行政の透明性と説明責任は大きく向上しています。今後は各地域、各事業ごとに違う課題と、公平性、公正性のバランスを考慮した、制度総体のあり方、個別補助金のあり方について検討する事が必要です。 ・補助金の効果検証は必要であり内容の公表も継続的に行うべき。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民からの問い合わせ及び回答内容を公表してはいかがでしょうか。 ・補助金交付を公表した事の意義は大きく、今後の行政は変わっていくのではと期待するものです。一方市民からの反応が少なかった事が、公表の仕方に問題があるのではなく、行政に対して市民の関心が少ないような気がしてならない。市民が生活の中に市政を取り入れていない大きな問題があるような感じがする。もう少し分析し研究する必要があるのではないかと。 ・判りやすい公表方法が必要と感じた。 ・補助金の効果を検証し、公表をしていく必要があるのではないかと。 	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	公表項目の拡大		体制コード	2-1-1-3				
所管	財政課財務係		担当者・内線番号	板垣 強 ・ 323				
取組時期	H21	調査	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	検討・実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
<p>・新地方公会計制度に基づく「財務4表」を新たに公表。 【今後公表を検討する事項】 「財政事情(半期毎の執行状況)」、「補正予算」</p>								
平成22年度中の実施目標(P)								
<p>【H22以降に新たに公表する項目】 「決算情報」、「決算カード」、「財政健全化判断比率」</p>								
平成22年度取組み内容(D)								
<p>財政健全化判断比率について市報、HPともに公表した。 また、決算情報については市報で公表した。</p>								
取組みについての成果(C)								
<p>公表に際しては、昨年度との比較を中心に分析も付記した。 中でも財政健全化判断比率については議会でも質問が多く、取組みの重要性を認識できた。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い					
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
特になし								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>担当者であってもわかりにくい内容が多く、公表項目の拡大以上にわかりやすい公表の重要性を認識した。</p>								
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い					
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
<p>所管課評価に同じ。 なお、平成23年度中の実施目標については、即時対応が可能であるので、速やかな実施に努めること。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>照会の多い当初予算書、補正予算書についてもHP上で公表する。</p>								
平成23年度取組み内容(D)								
<p>当初予算書をHP上で公表した。</p>								
取組みについての成果(C)								
<p>当初予算書は公表したが、補正予算書は公表できなかった。</p>								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
補正予算書について公表できなかったため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
当初予算については予算書のほか投資事業一覧などの資料を付けて公表したが、補正予算書を公表できなかったのが反省点。		
平成24年度中の実施目標(P)		
補正予算書についてもHP上で公表する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
実施目標を達成できなかったためC評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・公表により行政の透明性と説明責任は大きく向上しています。また、前委員会でも意見のあった「情報弱者」への公表手法の検討が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・公表についての体制づくりの努力は感じられるが、市民が行政に対してより多くの関心を持つことについて、市側の誘導意識が弱い。市民が行政そのものをもっと身近に感じられるにはどのような事をすればよいのか今後考えていく必要性を感じる。</p> <p>・公表する媒体としてウェブサイトを用いるのはいいが、そういったものを閲覧できない、いわゆる「情報弱者」との均衡を考慮しなければ、市役所自らがデジタルデバイドに拍車をかけることとなる。地域の特性を理解の上、公表手法に考慮が必要。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	印刷物を閲覧できる体制の整備		体制コード	2-1-1-4				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
手始めとして行革大綱、実施計画書について市報で周知して、本庁では政策推進課、各支所では地域振興課で閲覧できる体制をとりました。								
平成22年度中の実施目標(P)								
体制を継続し、各課にも周知を図ります。								
平成22年度取組み内容(D)								
本庁・支所での閲覧体制は継続した。 なお、各担当で所管する計画などについては、ホームページでの公表を行っている。								
取組みについての成果(C)								
市民の情報取得手段の増加に努めた。 (根拠条例:情報公開条例第17条で情報提供との位置付けをしている。)								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
閲覧物としては増えていないが、ホームページ上での公表(閲覧)に努めている。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
閲覧を常時可能とすることは当然であり、むしろ、各種計画などはすべてホームページで公開し、広く公表することが必要である。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 ただし、ホームページでの計画の公表については、取組みが進んでいないので、併せて推進するよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
各種計画等の閲覧は常時行うとともに、策定後は速やかにホームページで公表する。 また、各種計画を図書館に集め、常時閲覧できるようにコーナーを設置する。								
平成23年度取組み内容(D)								
閲覧物は増えていないが、ホームページへの掲載は増えてきている。								
取組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
市民への情報提供が機会が増えてきている。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由:取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
継続的な取り組みが行われ、ホームページによる情報提供も進めてきているが、閲覧場所の設置が行えていない。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
市民が知る機会がまだ少ないため、積極的な情報提供が必要。		
平成24年度中の実施目標(P)		
必要な情報を市民が確認できるよう、各課へ情報提供を進めるよう促す。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 なお、平成23年度中の実施目標にあった閲覧場所の設置は期間を定め検討すること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・市民への情報提供は向上しています。引き続き市民への閲覧物・閲覧方法等の周知が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・公表についての体制づくりの努力は感じられるが、市民が行政に対してより多くの関心を持つことについて、市側の誘導意識が弱い。市民が行政そのものをもっと身近に感じられるにはどのような事をすればよいのか今後考えていく必要性を感じる。</p> <p>・公表する媒体としてウェブサイトを用いるのはいいが、そういったものを閲覧できない、いわゆる「情報弱者」との均衡を考慮しなければ、市役所自らがデジタルデバイドに拍車をかけることとなる。地域の特性を理解の上、公表手法に考慮が必要。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月18日	平成24年6月21日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	口座振替制度の啓発・促進		体制コード	2-2-1-1				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	今井 213				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
市報5月号で口座振替の利用を呼びかける記事を掲載し、その周知を図った。また、長期にわたり振替不能の口座について整理を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
今後は、市報に加え、啓発のためのチラシやポスターを作成し、金融機関や公共施設に配布し、掲示等をお願いする。								
平成22年度取り組み内容(D)								
市報5月号に掲載の他、チラシ等の配布を行い口座振替の周知を図った。								
取り組みについての成果(C)								
振替不納口座の整理、年金特徴の増加により件数的には伸びないが、振替の成功率は上昇している。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
振替率の上昇により振替不納通知の発送にかかる経費、事務の軽減になった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
口座振替率が6割強のため、今後窓口納付の方の切り替えの推進に努める。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
市報、ホームページによる周知の他、チラシやポスターを作成し、金融機関や公共施設に配布し、掲示等をお願いする。								
平成23年度取り組み内容(D)								
ホームページにより口座振替の勧奨、市報により納期限を周知をした。市税(料)納税カレンダーを作成、希望者に配布した。								
取り組みについての成果(C)								
振替不納口座の整理、年金特徴の増加により件数的には伸びはない。振替による納税率は増加している。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
費用対効果が不透明なため、ポスターの公共機関への配布、掲示は実施しなかった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
費用をかけずに、効果的な市報、ホームページによる周知に重点を置いた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
費用をかけずに、効果的な市報、ホームページによる周知を行う。 税目によっては、当初納税通知書発送の際、市税(料)納税カレンダーを同封する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
ポスターの公共機関への配布に代わる取組(市税(料)納税カレンダー)が行われているのでB評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・今後も市民へ窓口納付から口座振替納付への切り替え推進と、納期日、引き落とし日、再引き落とし日の周知していく必要があります。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
各種税・使用料等の納期・引き落とし日・再引き落とし日の一覧表を配布する対応があってもいいのではないかと、再振替までの各金融機関との密な連絡調整を今後も継続して行って欲しい。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月18日	平成24年6月21日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	口座振替の再振替		体制コード	2-2-1-2				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	今井 213				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年5月から実施している。								
平成22年度中の実施目標(P)								
継続して実施していく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
継続して実施している。								
取り組みについての成果(C)								
すでに通常業務として定着している。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画通りに実施された。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
督促、通常口振との間のおあわただしい時間の中で職員のがんばりで定着したと思う。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
通常業務として誤りをなくし、納税者との行き違いをなくす。								
平成23年度取り組み内容(D)								
継続して実施している。								
取り組みについての成果(C)								
通常振替ができなかった市税合計7,709件のうち4,540(件58.9%)を再振替により収納できた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおりに実施された。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
残高不足により口座振替が履行できなかった納税義務者に対し、再振替のお知らせを送った上で、再振替を実施している。		
平成24年度中の実施目標(P)		
収納率向上に向け、今後も同様に継続的に実施する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・再振替までの各金融機関との密な連絡調整を今後も継続して欲しい。</p> <p>・「督促、通常口振との間のあわただしい時間の中」の作業になるので、オンライン等による消込みデータのやり取りなども今後検証していく必要があるのではないか。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月18日	平成24年6月21日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	市県民税の特別徴収の促進		体制コード	2-2-1-3				
所管	税務課市民税係		担当者・内線番号	高橋 221				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年度は、26事業所に訪問して特別徴収の依頼を行った。給与支払報告書の提出依頼を送付するときに依頼文を同封して呼びかけた。(4,800通)								
平成22年度中の実施目標(P)								
依頼文を作成し、協力可能と思われる事業所への郵送や個別訪問により配布し呼びかけていく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
平成22年度も、45事業所に訪問して特別徴収の依頼を行った。給与支払報告書の提出依頼を送付するときに依頼文を同封して呼びかけた。(4,800通)								
取り組みについての成果(C)								
訪問した45事業所のうち、8事業所が平成23年度から特別徴収へ変更								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
新潟県内でも同様の取り組みを実施しているが、効果が得にくい状況の中、特徴に変更した事業所が5社以上あったのは、良いと考える。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特別徴収に変更することでのメリットをもう少しPRすべきと考える。 現在、新潟県内にて個人住民税の特別徴収移行促進に向けた取組検討会を立ち上げ、効果的な取り組みを検討中。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。なお、取り組みについての感想で「特別徴収に変更することでのメリットをもう少しPRすべきと考える」とあるので、平成23年度は工夫をしてPRするよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
今後も同様の取り組みを継続								
平成23年度取り組み内容(D)								
平成23年度も、67事業所を訪問し特別徴収の依頼をしてきた。また、給与支払報告書の提出依頼の文書を送付する際も、依頼文を同封した。 訪問時、特別徴収に変更すると所得税と同様に給料から天引きされることで納め忘れの防止となることと 普通徴収が年4回に対し、年12回での納付のため納税時の負担額が小さいことのメリットを説明								
取り組みについての成果(C)								
訪問した67事業所中15事業所が特別徴収に切り替えた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
新潟県内でも同様の取り組みを実施しているが、効果が得にくい状況の中、特徴に変更した事業所が10社以上あったのは、良いと考える。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
H26年度からは原則対象となるすべての事業主が特別徴収を実施していただくために、現在、新潟県内にて個人住民税の特別徴収移行促進に向けた取組検討会を立ち上げ、効果的な取り組みを検討中。		
平成24年度中の実施目標(P)		
今後も同様の取り組みを継続		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
昨年度より導入事業所が大幅に増加しているためA評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
取り組みについての感想に「特別徴収に変更することでのメリットをもう少しPRすべきと考える。」とあるが、特別徴収のメリットとは何か。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月18日	平成24年6月21日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	コンビニ収納等の検討・実施		体制コード	2-2-1-4				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	今井 213				
取組時期	H21	調査・検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年度中に、他市の状況、および所要経費について調査を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度実施に向けて、具体的な準備を進める。								
平成22年度取り組み内容(D)								
庁内の会議を行い、他市の状況、所要経費、費用対効果について検証し、本市においての24年度からの実施という検討結果を得た。								
取り組みについての成果(C)								
他市の状況、費用対効果と住民サービスについて考えさせられた。 結果は、予算化が出来なかったことから不十分なのかと思うが、他市でも行っていなかった納税者の側の効果の検証までできたので、考え方のベースはできたと思う。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
24年度からの実施も見込めないことから。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
費用対効果と住民サービスの向上について考えさせられた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
取り組みは行われているので、所管課の評価のとおり、C評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
県、他市がコンビニ収納化されている中で、住民からの要望も多くなってきており、住民サービスの向上のためにも少しでも早く実施できるようお願いしていきたい。								
平成23年度取り組み内容(D)								
費用対効果、収納率への成果が不透明なこともあり、次回システム更新時再検討することとなった。								
取り組みについての成果(C)								
多額の費用に対し、先進地等でもはっきりした効果が確認できていない。今後研究の余地あり。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
結果として平成24年度中の実施はできない。(当面実施できない)		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
コンビニ収納の代替案等、他の収納率向上に向けた取り組みの検討が必要と考える。		
平成24年度中の実施目標(P)		
収納率向上に向けた他の取り組みの検討		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
費用対効果の調査・検証の上、結論を出すこと。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・コンビニ収納は、納付機会の拡大や利便性という納税者のサービスにはつながりますが、費用対効果としてはいかなものか？慎重に検討していただきたい。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
「費用対効果を検証」だけでは分からないので、その検証結果を示していただきたい。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成24年6月18日	平成24年6月21日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有	
取組内容	新潟県地方税徴収機構の活用		体制コード	2-2-1-5		
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	今井 213		
取組時期	H21	実施	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	-
	H24		H24	-	H24	-
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)						
平成21年度は、困難案件38件について、引継ぎを行い、17.7%の収納率となった。						
平成22年度中の実施目標(P)						
引き続き連携・活用を図ることにより、困難事案の解決につなげていく。						
平成22年度取り組み内容(D)						
市だけでは困難な事案について、新潟県と市町村が共同で滞納整理を行う。						
取り組みについての成果(C)						
平成22年度は、困難案件43件(継続21件、新規22件)について、引継ぎを行い、17.7%(継続14.9%、新規24.7%)の収納率となった。						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
高額滞納者で処理が困難な事案について新潟県地方税徴収機構で組織する「特別機動整理班」で対応し滞納整理を実施した。						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
新潟県と管内の派遣職員が共同して行うことは、それぞれの職員のスキルアップに繋がり、今後の業務にも非常に役立つ。						
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。						
平成23年度中の実施目標(P)						
引き続き連携・活用を図り、困難事案の解決につなげていく。						
平成23年度取り組み内容(D)						
市単独では困難な事案について、新潟県と市町村が共同で滞納整理を行う。						
取り組みについての成果(C)						
平成23年度は、困難案件72件(継続29件、新規43件)について、引継ぎを行い、17.7%(継続12.9%、新規30.6%)の収納率となった。						

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
高額滞納者で処理が困難な事案について新潟県地方税徴収機構で組織する「特別機動整理班」で対応し滞納整理を実施した。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
新潟県と管内の派遣職員が共同して滞納処分等を行うことは、それぞれの職員のスキルアップに繋がり、今後の業務にも非常に役立つ。 また、市税務課職員のスキルアップにも効果がある。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き連携・活用により、困難事案の解消を図る。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
今後機構の連携・活用を図る事と、困難案件の中で前年度の倍近くになっている新規案件の発生防止に努める事が重要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
今後も機構の活用を推進すべきと思う。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月18日	所属長 平成24年6月21日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	収納推進員の活用		体制コード	2-2-1-6				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	今井 213				
取組時期	H21	実施	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年5月から1名を増員したことにより、収納率向上につながっている。								
平成22年度中の実施目標(P)								
収納推進員を活用した、より効果的・効率的な徴収体制を検討していく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
現年度催告の回数を増やし、収納推進員による臨戸訪問を増やした。								
取り組みについての成果(C)								
各税現年度分において、0.1パーセント程度の収納率の向上が見られた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
現年度滞納者が減少すれば、滞納繰越者の滞納額にも好影響を与える。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特に大きなトラブルも無く順調だったと思う。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
昨年度よりさらに、現年度催告の回数を増やし収納率の向上を目指したい。								
平成23年度取り組み内容(D)								
現年度催告にも重点を置き、収納推進員による臨戸訪問も継続して実施した。								
取り組みについての成果(C)								
電話催告により、臨戸集金を希望する納税者に対して、訪問を実施した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
現年度滞納者の減少が、滞納繰越者の滞納額にも好影響を与える。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
臨戸訪問による集金は速攻性があり、個人滞納額の増加防止となっている。 滞納者によっては、文書催告より臨戸訪問が滞納解消に効果が認められることがある。		
平成24年度中の実施目標(P)		
現年度催告の継続的实施、強化により、収納率向上を目指す。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・足を運び面談する事は有効な徴収方法です。収納推進員の有効活用と、案件により市職員の訪問折衝も増やす事が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・計画的な納税相談機会の場はどのようになっているのか。 ・実態に即した行政の判断が大切なのは。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月18日	所属長 平成24年6月21日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有		
取組内容	市税現年度分収納率の数値目標		体制コード	2-2-1-7			
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	今井 213			
取組時期	H21	-	H21	98.0%	成果数値	H21	97.90%
	H22	-	H22	98.2%		H22	97.94%(訂正)
	H23	-	H23	98.4%		H23	97.85%
	H24	-	H24	98.5%		H24	
	後期		収納率			収納率	
平成21年度取り組み内容(D)							
催告、滞納処分等。							
平成22年度中の実施目標(P)							
景気低迷の中ではあったが、一定程度の効果があった。							
平成22年度取り組み内容(D)							
新たな滞納者を増やさないということで、現年度滞納者への早期対応を進めた。							
取り組みについての成果(C)							
景気低迷の中前年度を上回ることができた。							
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
目標値には少し届かなかったが、健闘していると思う。							
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
早期対応の効果が確認できたのでよかった。							
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
前年度以上の収納率を確保する取り組みを行っていることは理解しているが、目標数値に届かなかったため、C評価とした。なお、他市町村との比較等、客観的な評価をしやすいような工夫もすること。							
平成23年度中の実施目標(P)							
現年滞納者への催告回数を増やし、より早期対応を目指す。							
平成23年度取り組み内容(D)							
新たな滞納者を増やさないということで、現年度滞納者への早期対応による催告等実施した。							
取り組みについての成果(C)							
現年度滞納者から滞納繰越者へとならないことが収納率向上に繋がることが確認できた。							

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
景気が停滞する中、一定の効果はあったが目標の収納率にとどかなかったことによる		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
滞納者数の増加に伴い、収納業務の強化が必要。 収納率の向上、目標達成のため、現年度催告を繰り返し実施した。		
平成24年度中の実施目標(P)		
収納率の向上、目標達成のため、現年度催告を繰り返し実施する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 次回評価では、他市町村との比較等、客観的な比較を付し、評価すること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> 徴収吏員による訪問回数はどうなっているのか。 滞納者が増加することにより、一部の市民にとって滞納しやすい雰囲気醸成されるおそれがあることから、収納率向上に向け一層の努力と工夫を望む。 目標数値を定めたら所管部署が一体となり達成する事が重要です。また、滞納者への早期対応と訪問折衝は基本であり必要です。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<ul style="list-style-type: none"> 市税の収納率向上の取り組みについて、それぞれに目標収納率と収納率を表示すると理解しやすい。 実態に即した行政の判断が大切なのは。 不納欠損の取り扱いの資料が無いので不明であるが、その適用には慎重に検討し取り組んでほしい。 	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成24年6月18日	平成24年6月21日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有	
取組内容	市税滞納繰越分収納率の数値目標		体制コード	2-2-1-8		
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	今井 213		
取組時期	H21	-	H21	20.0%	H21	15.53%
	H22	-	H22	20.0%	H22	16.36%
	H23	-	H23	20.0%	H23	16.03%
	H24	-	H24	20.0%	H24	
	後期		収納率		収納率	
平成21年度取組み内容(D)						
催告、滞納処分等。						
平成22年度中の実施目標(P)						
景気低迷の中ではあったが、一定程度の効果があった。						
平成22年度取組み内容(D)						
平成22年度においては、滞納処分として代表的な差押件数は172件を数えた。						
取組みについての成果(C)						
470万円ほどの換価額があった。						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
滞納処分が増えると厳しい折衝が多くなるが、大きなトラブルも無く成果が上がったと思う。 ただ、納税不納となっている分についての処理が進んでいないため、なかなか収納率が上がってこない。						
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
財産調査の件数を拡大し滞納処分に続けたい。						
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
積極的な取組みを行っていることは理解しているが、目標数値に届かなかったため、C評価とした。						
平成23年度中の実施目標(P)						
財産調査の範囲と回数を22年度の20パーセント増。						
平成23年度取組み内容(D)						
平成23年度中定期的な財産調査は6回実施、昨年より4回を上回ったが、調査範囲は増やさなかった。 平成23年度差押件数161件、換価額8,814,273円						
取組みについての成果(C)						
財産調査により、換価せずとも納税交渉の糸口となる財産の発見がある。						

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
景気が停滞する中、一定の効果はあったが目標の収納率にとどかなかったことによる		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
収納率向上のため、より効果的な財産調査を実施した。 (給料振込口座のみの調査や県外住所地における主な金融機関調査)		
平成24年度中の実施目標(P)		
法人の倒産等により、滞納となっている市税について効果的な滞納処分の検討 財産調査の実施回数の維持		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
成果数値により所管課評価と同じ。 次回評価では、他市町村との比較等、客観的な比較を付し、評価すること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標数値を定めたら所管部署が一体となり達成する事が重要です。また、収納率の向上には滞納者の財産調査と訪問折衝の回数を増やす事や、本庁に対策本部を設ける事も検討が必要です。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・納税不能の処理について、進まない理由はなにか。 ・市税の収納率向上の取り組みについて、それぞれに目標収納率と収納率を表示すると理解しやすい。 ・実態に即した行政の判断が大切なのは。 ・不納欠損の取り扱いの資料が無いので不明であるが、その適用には慎重に検討し取り組んでほしい。 		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月18日	所属長 平成24年6月21日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	国保税現年度分収納率の数値目標		体制コード	2-2-1-9				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	今井 213				
取組時期	H21	-	目標数値	H21	91.5%	成果数値	H21	92.29%
	H22	-		H22	91.8%		H22	92.26%(訂正)
	H23	-		H23	92.2%		H23	92.28%
	H24	-		H24	92.5%		H24	
	後期			収納率			収納率	
平成21年度取り組み内容(D)								
催告、滞納処分等。								
平成22年度中の実施目標(P)								
景気低迷の中ではあったが、一定程度の効果があつた。								
平成22年度取り組み内容(D)								
新たな滞納者を増やさないということで、現年度滞納者への早期対応を進めた。								
取り組みについての成果(C)								
景気低迷の中前年度と同様の収納率を確保することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
目標値をクリアしているが、まだまだ余地があると思う。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
早期対応の効果が確認できたのでよかった。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
現年滞納者への催告回数を増やし、より早期対応を目指す。								
平成23年度取り組み内容(D)								
新たな滞納者を増やさないということで、現年度滞納者への早期対応による催告等実施した。								
取り組みについての成果(C)								
現年度滞納者から滞納繰越者へとならないことが収納率向上に繋がる事が確認できた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
景気が低迷する中、目標とする収納率はなんとか確保できた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
滞納者数の増加に伴い、収納業務の強化が必要。 収納率の向上、目標達成のため、現年度催告を繰り返し実施した。		
平成24年度中の実施目標(P)		
収納率の向上、目標達成のため、現年度催告を繰り返し実施する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 次回評価では、他市町村との比較等、客観的な比較を付し、評価すること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・目標数値を定めたら所管部署が一体となり達成する事が重要です。また、滞納者への早期対応と訪問折衝は基本であり必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市税の収納率向上の取り組みについて、それぞれに目標収納率と収納率を表示すると理解しやすい。 ・実態に即した行政の判断が大切なのは。 ・不納欠損の取り扱いの資料が無いので不明であるが、その適用には慎重に検討し取り組んでほしい。 	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会				
	平成24年6月18日	平成24年6月21日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有				
取組内容	国保税滞納繰越分収納率の数値目標		体制コード	2-2-1-10					
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	今井 213					
取組時期	H21	-	H21	20.0%	成果数値	H21	19.32%		
	H22	-	H22	20.0%		H22	18.48%		
	H23	-	H23	20.0%		H23	19.82%		
	H24	-	H24	20.0%		H24			
	後期		収納率			収納率			
平成21年度取組み内容(D)									
催告、滞納処分等。									
平成22年度中の実施目標(P)									
景気低迷の中ではあったが、一定程度の効果があった。									
平成22年度取組み内容(D)									
平成22年度においては、滞納処分として代表的な差押件数は172件を数えた。									
取組みについての成果(C)									
470万円ほどの換価額があった。									
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
滞納処分が増えると厳しい折衝が多くなるが、大きなトラブルも無く成果が上がったと思う。ただ、納税不納となっている分についての処理が進んでいないため、なかなか収納率が上がってこない。									
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)									
財産調査の幅をもう少し広げたかった。									
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
積極的な取組みを行っていることは理解しているが、目標数値に届かなかったため、C評価とした。									
平成23年度中の実施目標(P)									
財産調査の範囲と回数を22年度の20パーセント増を目標。									
平成23年度取組み内容(D)									
平成23年度中定期的な財産調査は6回実施、昨年より4回を上回ったが、調査範囲は増やさなかった。平成23年度差押件数161件、換価額8,814,273円									
取組みについての成果(C)									
財産調査により、換価せずとも納税交渉の糸口となる財産の発見がある。									

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
景気が停滞する中、一定の効果はあったが目標の収納率に届かなかったことによる		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
収納率向上のため、より効果的な財産調査を実施した。 (給料振込口座のみの調査や県外住所地における主な金融機関調査)		
平成24年度中の実施目標(P)		
財産調査の実施回数の維持		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
成果数値により所管課評価と同じ。 次回評価では、他市町村との比較等、客観的な比較を付し、評価すること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標数値を定めたら所管部署が一体となり達成する事が重要です。また、収納率の向上には滞納者の財産調査と訪問折衝の回数を増やす事や、本庁に対策本部を設ける事も検討が必要です。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・納税不能の処理について、進まない理由はなにか。 ・市税の収納率向上の取り組みについて、それぞれに目標収納率と収納率を表示すると理解しやすい。 ・実態に即した行政の判断が大切なのは。 ・不納欠損の取り扱いの資料が無いので不明であるが、その適用には慎重に検討し取り組んでほしい。 		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	使用料等見直し庁内検討組織の設置		体制コード	2-2-2-1				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
メンバーを選定し、ワーキング部会を設置していく。								
平成22年度取組み内容(D)								
負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。								
取組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
取組みを行わなかったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
負担金についての取組みを進める中で、使用料、手数料の見直しまで検討に至らなかった。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、取組みについては、スケジュールを定めて計画的に取り組むこと。								
平成23年度中の実施目標(P)								
見直しに向けた事前資料作成から取組みを進める。								
平成23年度取組み内容(D)								
使用料・手数料等見直しのための検討を行わなかった。								
取組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
なし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由: 取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
取り組みを行わなかったため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
使用料等の見直しを行う議論に至らなかった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
後期計画の策定に合わせ、検討を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組みが行われていないのでD評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・結果はともかくとして、やりにくいことを後回しにせず、取り組むべきである。</p> <p>・回答には不満です。それは検討組織を設置とありますが設置しただけで終わったのではないですか。いろいろな理由付を回答で述べていますが何もしていないことを後から弁解したにすぎない。</p> <p>・使用料等の見直しの為のワーキング部会の構成員と、部会の進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>・旧市町村単位で行ってきたサービスについて見直す時期と考えます。負担金、使用料、手数料の基本的な考え方を整理して、統一的な算定基準の検討が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>補助金の見直しを急いだのに、使用料等の見直しが一切手をつけられていないのはどういう理由からか。先送りすればするほど、当時の事情や考え方を知る各市町村の職員は少なくなり、職員全体の数も少なくなることから、その調整も困難になると思われる。十分な検証・考査を経ずに画一的な結論となることのないよう、早急な取り組みを望む。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	使用料・手数料の洗出しとコストの算定		体制コード	2-2-2-2				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
ワーキング部会を設置し、検討を行っていく。								
平成22年度取組み内容(D)								
負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。								
取組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
取組みを行わなかったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
負担金についての取組みを進める中で、使用料、手数料の見直しまで検討に至らなかった。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 なお、取組みについては、スケジュールを定めて計画的に取り組むこと。								
平成23年度中の実施目標(P)								
見直しに向けた事前資料作成から取組みを進める。								
平成23年度取組み内容(D)								
使用料・手数料等見直しのための検討を行わなかった。								
取組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
なし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由: 取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
取り組みを行わなかったため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
使用料等の見直しを行う議論に至らなかった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
後期計画の策定に合わせ、検討を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組みが行われていないのでD評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・結果はともかくとして、やりにくいことを後回しにせず、取り組むべきである。</p> <p>・回答には不満です。それは検討組織を設置とありますが設置しただけで終わったのではないですか。いろいろな理由付を回答で述べていますが何もしていないことを後から弁解したにすぎない。</p> <p>・旧市町村単位で行ってきたサービスについて見直す時期と考えます。負担金、使用料、手数料の基本的な考え方を整理して、統一的な算定基準の検討が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>補助金の見直しを急いだのに、使用料等の見直しが一切手をつけられていないのはどういう理由からか。先送りすればするほど、当時の事情や考え方を知る各市町村の職員は少なくなり、職員全体の数も少なくなることから、その調整も困難になると思われる。十分な検証・考査を経ずに画一的な結論となることのないよう、早急な取り組みを望む。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	使用料・手数料算出基準の策定		体制コード	2-2-2-3				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
ワーキング部会を設置し、検討を行っていく。								
平成22年度取組み内容(D)								
負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。								
取組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い					
取組みを行わなかったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
負担金についての取組みを進める中で、使用料、手数料の見直しまで検討に至らなかった。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い					
所管課評価に同じ。 なお、取組みについては、スケジュールを定めて計画的に取り組むこと。								
平成23年度中の実施目標(P)								
見直しに向けた事前資料作成から取組みを進める。								
平成23年度取組み内容(D)								
使用料・手数料等見直しのための検討を行わなかった。								
取組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
なし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由:取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
取り組みを行わなかったため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
使用料等の見直しを行う議論に至らなかった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
後期計画の策定に合わせ、検討を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組みが行われていないのでD評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・結果はともかくとして、やりにくいことを後回しにせず、取り組むべきである。</p> <p>・回答には不満です。それは検討組織を設置とありますが設置しただけで終わったのではないですか。いろいろな理由付を回答で述べていますが何もしていないことを後から弁解したにすぎない。</p> <p>・旧市町村単位で行ってきたサービスについて見直す時期と考えます。負担金、使用料、手数料の基本的な考え方を整理して、統一的な算定基準の検討が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>補助金の見直しを急いだのに、使用料等の見直しが一切手をつけられていないのはどういう理由からか。先送りすればするほど、当時の事情や考え方を知る各市町村の職員は少なくなり、職員全体の数も少なくなることから、その調整も困難になると思われる。十分な検証・考査を経ずに画一的な結論となることのないよう、早急な取り組みを望む。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	使用料・手数料の見直し		体制コード	2-2-2-4				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22	-	
	H23		H23	-		H23	-	
	H24		実施	H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
-								
取り組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
-								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成23年度中の実施目標(P)								
-								
平成23年度取り組み内容(D)								
使用料・手数料等見直しのための検討を行わなかった。								
取り組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
なし								
平成23年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
(理由:取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)								
取り組みを行わなかったため。								

取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
使用料等の見直しを行う議論に至らなかった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
後期計画の策定に合わせ、検討を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組みが行われていないのでD評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・結果はともかくとして、やりにくいことを後回しにせず、取り組むべきである。</p> <p>・旧市町村単位で行ってきたサービスについて見直す時期と考えます。負担金、使用料、手数料の基本的な考え方を整理して、統一的な算定基準の検討が必要です。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	減免取扱いの適正化の検討		体制コード	2-2-2-5				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
ワーキング部会を設置し、検討を行っていく。								
平成22年度取組み内容(D)								
負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。								
取組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
取組みを行わなかったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
負担金についての取組みを進める中で、使用料、手数料の見直しまで検討に至らなかった。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、減免については、特に詳細な現状把握を行う必要がある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
見直しに向けた事前資料作成から取組みを進める。								
平成23年度取組み内容(D)								
使用料・手数料等見直しのための検討を行わなかった。								
取組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
なし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由:取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
取り組みを行わなかったため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
使用料等の見直しを行う取り組みに至らなかったため、減免措置に対する現状把握も行わなかった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
後期計画の策定に合わせ、検討を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組みが行われていないのでD評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・結果はともかくとして、やりにくいことを後回しにせず、取り組むべきである。 ・見直し検討の着手は早期に行うべきである。 ・旧市町村単位で行ってきたサービスについて見直す時期と考えます。負担金、使用料、手数料の基本的な考え方を整理して、統一的な算定基準の検討が必要です。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>補助金の見直しを急いだのに、使用料等の見直しが一切手をつけられていないのはどういう理由からか。先送りすればするほど、当時の事情や考え方を知る各市町村の職員は少なくなり、職員全体の数も少なくなることから、その調整も困難になると思われる。十分な検証・考査を経ずに画一的な結論となることのないよう、早急な取り組みを望む。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月13日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	ごみ収集カレンダーに有料広告を掲載		体制コード	2-2-3-1				
所管	環境課生活環境室		担当者・内線番号	土田 孝 ・ 272				
取組時期	H21	実施	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
例年どおり各地区毎の広告枠について業者を選定し実施した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
現行のごみ収集カレンダーの有料広告については試行であり、有料広告の制度化の中で取り扱いを協議する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
例年どおり各地区の広告枠について業者を選定し実施した。								
取り組みについての成果(C)								
全地区のカレンダーに広告を掲載することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
全地区のカレンダーに広告を掲載することができたことによる。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
計画的に広告審査委員会の開催や事務手続きが行われた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
要綱改正により、平成23年度より所管課において取り扱うこととなった。								
平成23年度取り組み内容(D)								
改正要綱に基づき、所管課で事務を行った。 掲載実績(事業所数15件 収入金額336,000円)								
取り組みについての成果(C)								
全地区のカレンダーに広告を掲載することが出来た。 枠単価を変更していないため、収入額は前年度と同じ。(枠は全部埋まっている)								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>枠の抽選方法等、昨年までの方法を踏襲して行ったことにより、滞りなく進めることが出来た。特に問題も生じていない。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>今年度からは所管(環境課)ですべて事務を行ったが、混乱なく進めることが出来た。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>全地区のカレンダーに公告を掲載する。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>なし</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・ごみ収集カレンダーに有料広告を掲載されているが、ゴミ袋等にも有料広告を載せ、環境保全の財源に充てることはできないものだろうか。 ・有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	広告媒体等の調査研究		体制コード	2-2-3-2				
所管	財政課 契約検査室		担当者・内線番号	齊藤博幸(内線322)				
取組時期	H21	検討	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
関係各課と協議を行う。								
平成22年度取組み内容(D)								
広告収入の増収方法検討会により、広告媒体となるものについて検討をした。								
取組みについての成果(C)								
有料広告掲載可能媒体の候補の抽出、方法の研究を行い、理解を深めることができた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
検討会は立ち上げたが、具体的な作業を行うことができなかった。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
今後は具体的な作業に着手していきたい。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
検討会による取組みにより、B評価とした。 なお、スケジュールを定め、計画的に取組みを行うこと。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き検討会で協議を行う。								
平成23年度取組み内容(D)								
「村上市有料広告掲載要綱」の改正に伴い、平成23年度より所管課において検討することとした。 広告掲載に関し疑義が生じた場合、その掲載の可否を審査するため、広告審査委員会を設置することとなった。								
取組みについての成果(C)								
所管課によって検討できることになった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課によって検討することになった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
所管課において調査研究の検討を行えることとなり、よりスムーズに事務を進めることができる。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き所管課において調査研究を続ける。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
明確な基準が(要綱)策定され所管課によって方針を決定できることは評価できる。 B評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・どんな媒体に、どこが広告を望んでいるのか、需要調査のようなことを行ったらどうか。</p> <p>・自主財源確保等のために、ホームページや本庁、支所等を含めた市の行政資産を幅広く有料広告媒体として、積極的な有効活用を図る事が重要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・「具体的な作業が行えなかった。」とあるが、行えなかった原因の掘り下げが足りない。</p> <p>・有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月19日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	新規広告媒体への広告掲載		体制コード	2-2-3-4				
所管	政策推進課 情報化推進室		担当者・内線番号	小林精司・502				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
山北、朝日地区に設置してある告知端末機、TV自主放送の広告放送に係る取扱要綱を作成し、広告放送を実施。								
平成22年度中の実施目標(P)								
広告放送手数料の増額。								
平成22年度取り組み内容(D)								
機会を図りながら個別に周知 ・イオンから告知端末について問い合わせがあった際に、広告媒体としての利用も可能であることを伝えた。 ・神林地区への事業拡大に伴い、かみはやし農協に対して広告放送が可能であることを伝えた。								
取り組みについての成果(C)								
平成21年度広告収入 12,500円 平成22年度広告収入 25,500円(決算見込)								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
広告放送開始の全体PRは特に行ってこなかった。 個別対応だったものの、年間50件を超える放送依頼を受けることができた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
広告放送は売り出し等が主なもので、個人商店の依頼はほとんどない。 収入の大半を農協と量販店(イオン)が占めており、対象地区の小売形態から拡大は難しい点もある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
告知放送で広告(有料)ができる旨をPRする。 ただし、広告が主たる放送ではないため、とりあえず年数回のPRにとどめる。								
平成23年度取り組み内容(D)								
広告が主たる放送でないため、特に行わなかった。								
取り組みについての成果(C)								
平成22年度広告収入 25,500円 平成23年度広告収入 131,000円								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
大幅な歳入増となっており、上記評価とした。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
内訳は、神林地区 99,500円、朝日地区 30,500円であり、神林地区分が増加したものである。		
平成24年度中の実施目標(P)		
広告放送が主たる放送ではないため、年数回のPRを行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管評価に同じ。 山北地区の収入がなく、PR不足が考えられるが神林地区新規参入及び朝日地区の収入増と全体的に増加しているので所管課評価どおりとした。 なお、収入増への取り組みであり、PRが必要。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・自主財源確保等のために、ホームページや本庁、支所等を含めた市の行政資産を幅広く有料広告媒体として、積極的な有効活用を図る事が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	未利用市有地を広告看板設置に貸し出しを検討		体制コード	2-2-3-5				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄 325				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
看板設置の適地を選定しリストを作成し、年1回公表する。								
平成22年度取組み内容(D)								
看板設置の適地を選定しリストを作成した。								
取組みについての成果(C)								
リスト作成により適地と思われる財産を概ね把握することができ、有効利用のために整理された資産情報を保有することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
公表に至らなかったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
現地調査による現状把握がしきれておらず、より詳細で正確な資産情報が必要である。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
平成22年度中の実施目標である公表ができなかったため、所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
現地調査等の実施、公表事項、手段など検討をおこなう。								
平成23年度取組み内容(D)								
現地調査を実施								
取組みについての成果(C)								
現地調査により資産情報を収集できた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
公表に至らなかったため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
主要幹線等に面し看板設置に適する立地条件を有する市有地は非常に少ないと思われる。		
平成24年度中の実施目標(P)		
適地に看板表示するなど公表をおこなう。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 ホームページでの公表も行うこと。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・土地の場合、広告看板設置以外の活用方法も考えられることから、歳入増のため広告に限定せず、幅広く活用方法を検討すべきでないか。</p> <p>・自主財源確保等のために、ホームページや本庁、支所等を含めた市の行政資産を幅広く有料広告媒体として、積極的な有効活用を図る事が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	その他広告媒体利用の検討		体制コード	2-2-3-6				
所管	財政課 契約検査室		担当者・内線番号	齊藤博幸(内線322)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
関係各課と協議を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
未実施								
取り組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
未実施のため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 なお、スケジュールを定め、計画的に取り組みを行うこと。								
平成23年度中の実施目標(P)								
政策推進課及び関係課との協議を行い今後検討していく。								
平成23年度取り組み内容(D)								
「村上市有料広告掲載要綱」の改正に伴い、平成23年度より所管課において検討することとした。 広告掲載に関し疑義が生じた場合、その掲載の可否を審査するため、広告審査委員会を設置することとなった。 (政策推進課において、平成24年度より、市報むらかみお知らせ版への有料広告を募集し、掲載することとしている)								
取り組みについての成果(C)								
所管課によって検討できることになった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課によって検討することになった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
所管課において広告媒体についての検討を行えることとなり、よりスムーズに事務を進めることができる。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き所管課において検討を続ける。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
明確な基準が(要綱)策定され所管課によって方針を決定できることは評価できる。 B評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・役所的な硬直した思考にとらわれず、公序良俗に反しない限り、積極的に広告媒体の拡大を行ってよいのではないか。</p> <p>・自主財源確保等のために、ホームページや本庁、支所等を含めた市の行政資産を幅広く有料広告媒体として、積極的な有効活用を図る事が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無		
取組内容	広告収入の数値目標		体制コード	2-2-3-7			
所管	財政課 行政経営係		担当者・内線番号	高橋 洋一(内線327)			
取組時期	H21	-	H21	290千円	成果数値	H21	328千円
	H22	-	H22	350千円		H22	376千円(訂正)
	H23	-	H23	400千円		H23	467千円
	H24	-	H24	450千円		H24	
	後期		広告収入			広告収入	
平成21年度取り組み内容(D)							
ごみカレンダー分の広告収入。							
平成22年度中の実施目標(P)							
328千円							
平成22年度取り組み内容(D)							
ごみカレンダー分の広告収入(H22決算額350千円)							
取り組みについての成果(C)							
ごみカレンダー分の目標額(H22決算額350千円)を達成できた。							
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
ごみカレンダー分の目標額を達成できたことによる。							
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
計画的に広告審査委員会や事務手続きが行われた。							
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。							
平成23年度中の実施目標(P)							
400千円							
平成23年度取り組み内容(D)							
「村上市有料広告掲載要綱」の改正に伴い、平成23年度より担当課において実施 (平成23年度ごみカレンダー広告掲載料336,000円、情報告知端末広告収入 131,000円)							
取り組みについての成果(C)							
有料広告収入 476千円(前年比 +91千円)							

平成23年度評価(所管)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
目標数値以上の広告収入が得られた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
ごみカレンダーへの広告掲載に加え、情報告知端末のエリア拡大に伴い、収入が増加した。		
平成24年度中の実施目標(P)		
-		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	財産台帳の再整備		体制コード	2-2-4-1				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄 325				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
財産台帳の内容の調査を行い、公有財産管理システムとして電算化の導入に着手した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
システム搭載のデータ量を増やすため、法務局での調査等を実施する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
法務局データや課税台帳データとの不一致調査また現地調査を行い、合併前の決算ベースで財産台帳のデータ化を実施した。								
取り組みについての成果(C)								
財産台帳と法務局データ等の不一致を発見することができ、財産台帳の緻密化に取り組む必要があることが分かった。GISを利用し地図データ閲覧が可能となり、財産管理に関する事務処理のスピード化につながった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画どおり取り組みをおこなった。また、GIS地図データ閲覧システムの導入により事務処理の効率が上がった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
緊急雇用創出事業を活用し、業務委託等により、集中的に作業を行ったことで取り組みが適切に行われた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
不一致となった財産台帳データの調査等を実施する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
不一致となった財産台帳データの調査作業								
取り組みについての成果(C)								
財産台帳データの緻密化をはかった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
緻密化が図られた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
国土調査結果の反映などが適切になされていないことが判明した。 調査対象数が多く、原因の把握等が必要であるため時間と労力が必要であり、継続して作業を進める。		
平成24年度中の実施目標(P)		
不一致となった財産台帳データの調査作業		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・合併してより大きくなった市の財産の有効活用の為に、正確な財産台帳の整備と取扱指針、基準は必要です。特に、旧市町村を越えた全庁的な財産の有効活用の検討が必要と考えます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・公有財産管理システムで管理するデータに、備品等のデータはあるか。 ・公有財産には備品等も含まれてくると思うので、備品等の状況についても記載願いたい。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	公有財産の取扱い方針・基準の策定		体制コード	2-2-4-2				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄 325				
取組時期	H21	策定	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
他市の指針等の調査を実施。								
平成22年度中の実施目標(P)								
財産台帳の整備完了後策定したいため、他市の指針を参考に準備を進める。								
平成22年度取組み内容(D)								
未実施								
取組みについての成果(C)								
平成22年度評価(所管)(C)								
			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
財産台帳と法務局データ等の不一致が発見され、ベースとなる財産台帳の緻密化を優先し取り組む必要があり取組みなかった。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
ベースとなる財産台帳の緻密化を優先し取り組む必要がある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)								
			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
未実施ということで、本来はD評価だが、財産台帳の緻密化を優先し取り組む必要があったため、所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
ベースとなる財産台帳の緻密化を優先し取組み、作業の進行状況に応じ、公有財産の取扱い方針・基準の策定に向け準備を進める。								
平成23年度取組み内容(D)								
不一致となった財産台帳データの調査作業								
取組みについての成果(C)								
財産台帳データの緻密化をはかった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
緻密化に取り組んでいる。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
調査対象数が多く、原因の把握等が必要であるため時間と労力が必要であり、緻密化を優先し取り組みを進める。		
平成24年度中の実施目標(P)		
不一致となった財産台帳データの調査作業		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
方針・基準策定が遅れていることによりC評価とした。 台帳と並行して進めるべき。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・合併してより大きくなった市の財産の有効活用の為に、正確な財産台帳の整備と取扱指針、基準は必要です。特に、旧市町村を越えた全庁的な財産の有効活用の検討が必要と考えます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・公有財産管理システムで管理するデータに、備品等のデータはあるか。 ・公有財産には備品等も含まれてくると思うので、備品等の状況についても記載願いたい。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	遊休資産の調査		体制コード	2-2-4-3				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄 325				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
財産台帳の再整備に合わせて、一部遊休資産・売却資産の洗い出しに着手した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
売却可能な遊休資産を調査しリストを作成する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
売却可能な資産のリストを作成した。								
取り組みについての成果(C)								
リスト作成により売却可能な資産を把握することができ、売却に向け整理された資産情報を保有することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
計画どおり取り組みをおこなった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
売却価格の時点修正や詳細な物件情報把握に努める必要がある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
適正な価格を把握するため、価格評価を随時見直す。また詳細な物件情報の収集を行う。								
平成23年度取り組み内容(D)								
物件情報の収集を実施した。 物件調書の作成に着手した。								
取り組みについての成果(C)								
物件情報の把握ができた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>計画どおり実施した。売却価格の見直しについては固定資産の評価替が実施されることから翌年度以降に実施することとした。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>物件調書等により、売却資産情報が整理されたものがあると便利であると思われる。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>平成24年度に固定資産の評価替が行われたことから売却価格の見直しをおこなう。売却可能な資産に係る情報を調査整理し物件調書等を作成する。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・民間企業では遊休状態になっている固定資産は、基本的に減損会計で損失計上の対象となります。行政であっても村上市内の経済状況を考え、売却可能財産は早急に売却し、その他の財産は遊休化を防ぐために貸し付けも含めた、経済的価値を発揮する取り組みが必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
<p>具体的意見・要望(A)</p>	
<p>売却可能な資産とは、どの程度まで分類しているのでしょうか。(不動産のほか事務機器や什器備品等、十分に精査されていますか。)詳細が分かるように記載願いたい。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	遊休財産の有効活用の検討		体制コード	2-2-4-4				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄 325				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
売却不可能な土地を選定し遊休財産としての有効活用を検討する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
売却不可能な土地の選定は特に行ってない。貸付の申請のあるものについては貸付を実施した。								
取り組みについての成果(C)								
新規貸付件数16件 H22年度土地貸付収入307,290円								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
売却を不可能とする理由が不明確であるが、土地の選定をおこなっていない。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
普通財産は売却不可能な土地はないと考える。売却を不可能とする理由を明らかにし土地の選定を行うためには、詳細な現地調査等を実施する必要がある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 なお、現地調査等による検討の結果として、売却の促進等、財産の活用(処分)を図ること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
財産台帳の緻密化、現地調査等に取り組み、財産台帳整備完了後に遊休財産の選定を進める。								
平成23年度取り組み内容(D)								
財産台帳の緻密化の作業を実施している。 貸付や売却の申請があるものについては貸付や売却を実施した。 行政財産に所管換をおこない活用を図った。								
取り組みについての成果(C)								
H23年度土地貸付収入136件 28,805千円 H23年度土地売払収入20件 24,335千円 普通財産を行政財産として所管換件数2件								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
財産台帳の緻密化の作業と並行して、売却処分等可能な資産は処分等おこなった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
普通財産は売却が不可能な財産ない。今後も財産運用を図ることとする。		
平成24年度中の実施目標(P)		
財産台帳の緻密化の作業を進め財産運用を図る。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・民間企業では遊休状態になっている固定資産は、基本的に減損会計で損失計上の対象となります。行政であっても村上市内の経済状況を考え、売却可能財産は早急に売却し、その他の財産は遊休化を防ぐために貸し付けも含めた、経済的価値を発揮する取り組みが必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
売却不可能な土地とは、どのようなものでしょうか。詳細が分かるように記載願いたい。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	売却処分地の選定		体制コード	2-2-4-5				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄 325				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		選定	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
財産台帳の再整備に合わせて、一部遊休資産・売却資産の洗い出しに着手した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
宅地(見込地含む)を中心に選定作業を進め、売却処分地のリストを作成する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
売却可能な資産のリストを作成した。								
取り組みについての成果(C)								
リスト作成により売却可能な資産を把握することができ、売却に向け整理された資産情報を保有することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
計画どおり取り組みをおこなった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
売却価格の時点修正や詳細な物件情報把握に努める必要がある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
適正な価格を把握するため、価格評価を随時見直す。また詳細な物件情報の収集を行う。								
平成23年度取り組み内容(D)								
物件情報の収集を実施した。 物件調書の作成に着手した。								
取り組みについての成果(C)								
物件情報の把握ができた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>計画どおり実施した。売却価格の見直しについては固定資産の評価替が実施されることから翌年度以降に実施することとした。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>物件調書等により、売却資産情報が整理されたものがあると便利であると思われる。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>平成24年度に固定資産の評価替が行われたことから売却価格の見直しをおこなう。売却可能な資産に係る情報を調査整理し物件調書等を作成する。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・民間企業では遊休状態になっている固定資産は、基本的に減損会計で損失計上の対象となります。行政であっても村上市内の経済状況を考え、売却可能財産は早急に売却し、その他の財産は遊休化を防ぐために貸し付けも含めた、経済的価値を発揮する取り組みが必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>売却可能な資産リストは公表されていますか。詳細が分かるように記載願いたい。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	売却処分の実施		体制コード	2-2-4-6				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄 325				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		3%	H22	8%
	H23		H23	5%		H23	4%	
	H24		H24	10%		H24		
	後期		処分可能な遊休資産の売却数	処分可能な遊休資産の売却数				
平成21年度取り組み内容(D)								
用途廃止を決定した財産の売却。 インターネットを利用した公有財産の売却。								
平成22年度中の実施目標(P)								
売却可能地のリストを作成し市民への広報を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
売却可能地のリストを作成し、売却の求め申請があったものについて売却を行った。 法定外公共物が用途廃止となった土地については、速やかに売却を行った。 不用となった車両はホームページにより公告を行い売却を図った。								
取り組みについての成果(C)								
売却状況 土地(売却可能選定地25筆) 2件 10,264,038円 土地(他事業用地) 3件 34,680,348円 土地(法定外用途廃止) 7件 1,313,226円 建物 1件 539,762円 車両 12台 575,350円								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
売却可能地のリスト広報が実施できなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
売却価格の時点修正や詳細な物件情報把握に努める必要がある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
平成22年度中の実施目標である「売却可能地のリストを作成し市民への広報」が行われなかったため、所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
売却可能な動産については、ホームページで公告を行い入札を実施する。 売却可能地リストの不動産の詳細な物件情報等を把握し、公表事項、手段など検討をおこなう。								
平成23年度取り組み内容(D)								
売却可能地のリストを作成し、売却の求め申請があったものについて売却を行った。 法定外公共物が用途廃止となった土地については、速やかに売却を行った。 不用となった車両等はホームページにより公告を行い売却を図った。 物件情報等の把握と物件調書の作成に着手した。								
取り組みについての成果(C)								
売却状況 土地(売却可能選定地25筆) 1件 11,653千円 土地(その他) 19件 12,682千円 車両等 10件 5,649千円								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
売却可能地のリスト広報が実施できなかった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
車両等不用物品についてはホームページを利用し売却をおこない財産収入の確保を図った。		
平成24年度中の実施目標(P)		
売却可能な動産については、ホームページで公告を行い入札を実施する。 売却可能地リストの不動産の詳細な物件情報等を把握し、公表事項、手段など検討をおこなう。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
目標数値達成しなかったためC評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・民間企業では遊休状態になっている固定資産は、基本的に減損会計で損失計上の対象となります。行政であっても村上市内の経済状況を考え、売却可能財産は早急に売却し、その他の財産は遊休化を防ぐために貸し付けも含めた、経済的価値を発揮する取り組みが必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>「売却処分の実施」とありますが、その評価はどのような算定根拠をもとにしていますか。詳細が分かるように記載願いたい。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月5日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	農業振興地域の見直し		体制コード	2-2-5-3				
所管	農林水産課 農業振興室		担当者・内線番号	加藤 泰・内線345				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
農業振興地域整備計画の見直し・策定に向けて基礎資料のデータ収集及び調査資料の作成を依頼。								
平成22年度中の実施目標(P)								
新村上市としての農業振興整備計画の策定を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
旧市町村毎に策定されていた5つの農業振興整備計画を統合するとともに、平成21年度実施した基礎調査を基に農業振興整備計画の見直しを行った。								
取り組みについての成果(C)								
平成23年3月末をもって、農業振興整備計画の見直し作業が終了予定であったが、県との事前相談が長引いているため平成22年度中の見直し作業が完了していない。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
新村上市の農業振興整備計画の統合・見直しを平成21、22年度の2ヶ年で完了させる予定であったが、完了していないため個別の農用地区域の変更に対応できない。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
農業振興整備計画の統合・見直しを進めるための準備・認識不足があったこと。また、担当者が見直しを始めてからの2ヶ年で3人が交代するなどそれぞれの担当者が制度の内容等を理解するための時間を要したことが遅れた原因である。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
予定どおり事業が完了しなかったため、所管課の評価のとおり、C評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
農業振興整備計画の見直しの完了。								
平成23年度取り組み内容(D)								
新村上市としての新たな農業振興整備計画の統合・見直し作業を実施し、整備計画の策定を行う。								
取り組みについての成果(C)								
平成23年9月に統合・見直し作業が完了し、新村上市としての新たな農業振興整備計画を策定した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
農業振興整備計画の統合・見直しを進めるための担当者が制度の内容等を十分理解し、作業の進捗状況を把握できたことにより事業の完了が図られた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
計画の統合・見直し作業を行う職員を専従にし、策定を行うための準備を十分に実施することが重要であった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
なし。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
平成23年度中の実施を達成したのでB評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
担当者の交代(2年で3人)との反省があったが、このようなことが見直し作業の遅れの一因であることは、残念である。人事異動の配慮があっても良かったのではないかと。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月21日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	用途地域の見直し		体制コード	2-2-5-4				
所管	都市整備課計画室		担当者・内線番号	大西 512				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
用途地域の見直し業務委託を発注し、関係機関との協議、土地利用調整会議等を行い計画案を作成する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
用途地域の見直し業務委託を発注し、関係機関との協議、土地利用調整会議等を行い計画案を作成。								
取り組みについての成果(C)								
都市計画審議会で作業状況の報告を行った。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
概ね予定通りの取り組みができた								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 なお、都市計画審議会については、会議の内容や結果などの公表が行われておらず不透明なため、「計画案についての住民説明会及び関係者説明会の実施」について、十分な説明を実施すること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
計画案についての住民説明会及び関係者説明会の実施								
平成23年度取り組み内容(D)								
用途地域の見直し業務委託を発注し、関係機関との協議、土地利用調整会議、議会説明等を行い計画案を作成。村上地域については村上、瀬波、岩船地区において説明会を実施。荒川地域については、農業振興計画との調整のため次年度継続案件とした。								
取り組みについての成果(C)								
村上地区については地区の合意を得たことから、H24年度から都市計画決定ための法手続きを行う								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
職員体制の面では1名減となっており、事業量が増えている中で一定の成果を上げることが出来た。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
より広く計画の周知を図るため、説明会の案内は来られない方にも内容がわかるような形で全戸配布を行なうことが出来た。		
平成24年度中の実施目標(P)		
荒川地域については、農業振興計画との調整をふまえ地区説明での合意形成を図る。また都市計画審議会は今年度から公開で行う予定である。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおりであるため所管課評価と同じくB評価とした。 都市計画審議会を公開するのであれば公表もするよう努めること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・用途地域の見直しをされているが、どの地域でもこれまで市街地の外に商業施設が移り、市街地の商店街にシャッター通りが広がってしまった。現在国の施策としてシビックコアが叫ばれ、商店を町の中に呼び戻す方向に動いている。郊外に用途を広げるとどのような町になっていくのかをしっかりと見極め、合わせて村上市らしい景観が確立される用途の見直しをしなければならぬ。また、景観条例化などを合わせて地域住民との意見交換や説明をやっていく必要性を強く感じる。</p> <p>・合併に伴い各種事業・計画の見直しを行う場合は、対象範囲も広域となることなどから、その事務手続きなどできる限り公表しながら進めることが、その後の計画推進をスムーズに行う重要な要素になるのではないか。説明会なども、開催日や時間の設定など、関係者の立場に立った設定を考慮してほしい。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月21日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	都市計画事業の見直し		体制コード	2-2-5-5				
所管	都市整備課計画室		担当者・内線番号	大西 512				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
都市計画マスタープラン策定に合わせ、都市計画事業の見直し方針の検討を行った。又平成22年度計画見直し業務委託の発注準備を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
都市計画の見直し業務委託を発注し、関係機関との協議、土地利用調整会議等を行い計画案を作成。								
取り組みについての成果(C)								
都市計画審議会で作業状況の報告を行った。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
概ね予定通りの取り組みができた								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 なお、都市計画審議会については、会議の内容や結果などの公表が行われておらず不透明なため、「計画案についての住民説明会及び関係者説明会の実施」について、十分な説明を実施すること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
計画案についての住民説明会及び関係者説明会の実施								
平成23年度取り組み内容(D)								
長期未着手都市計画道路の見直し業務委託を発注し、関係機関との協議、土地利用調整会議を行い計画案を作成。村上地域については伝統的建造物群保存地区調査との調整、又荒川地域については、農業振興計画との調整のため次年度継続案件とした。								
取り組みについての成果(C)								
荒川地区については議会での説明も行っておりH24年度の合意形成を目指す。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
市街地での街づくりを計画する上で都市計画道路の見直しは、各種計画との十分な調整が必要となってくることから総合計画のプロジェクトのなかで方針を決定することとした。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
より広く計画の周知を図るため、説明会の手法、広報やホームページの活用など検討する必要性がある		
平成24年度中の実施目標(P)		
荒川地区についてはH24年度の合意形成を目指す。村上地区については総合計画のプロジェクトでの検討結果を踏まえ変更を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・万一の災害(地震・津波)時の対応を具体的に盛り込んだ道路整備が必要と考える。緊急車両の通れない道路もあるので、住民の安全面を重視した都市計画を要望する。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
合併に伴い各種事業・計画の見直しを行う場合は、対象範囲も広域となることなどから、その事務手続きなどできる限り公表しながら進めることが、その後の計画推進をスムーズに行う重要な要素になるのではないかと。説明会なども、開催日や時間の設定など、関係者の立場に立った設定を考慮してほしい。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	個別の補助金交付要綱の制定		体制コード	2-3-1-1				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	制定	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
担当課に指示をし、2件を残して制定されました。								
平成22年度中の実施目標(P)								
残りの2件を策定します。また、新規補助金についてもすべて制定します。								
平成22年度取り組み内容(D)								
「補助金等に関する基本指針」及び「補助金等交付基準」を超える補助金交付を行う事業については、その補助金事業の必要性、効果を明確にしたうえで、行財政改革本部会議に諮って方針を決定した。								
取り組みについての成果(C)								
平成21年度との当初予算比較で、交付件数 18件、補助金額4,600万8千円増となっている。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
補助金交付事業の制定、又は改正にあたっては、交付基準に則って行うことが認識されている。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
年度による国県補助事業の取り組みによって補助金額の増減はあるものの、補助金等交付基準による方針が意識づけられてきている。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き、「補助金等に関する基本指針」及び「補助金等交付基準」による方針をもって判断する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
平成22年12月に制定した「補助金制度新設(改正)事務処理要領」により、新たに制定するものや改正を行うものについては所定の様式により行財政改革推進本部会議に諮って方針を決定している。								
取り組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
事務処理要領により、補助金等交付基準による考え方が意識づけられてきている。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由: 取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
補助金制度として必要な要綱の制定が行われている。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
補助金制度の取扱いについての事務処理の規定が認識されている。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き、事務処理要領に基づき必要な要綱の制定を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・地域特産物の創出などにより、産業の発展や雇用の創出に寄与する可能性の高い者に対し、インセンティブとして成功報酬的な事後一括払いの補助金があってもいいのではないかと。</p> <p>・補助金を出している事業所内で事故、けが人が発生した場合の市への報告、市の立ち入り検査等の検証は行われているのか。</p> <p>・公表により行政の透明性と説明責任は大きく向上しています。今後は各地域、各事業ごとに違う課題と、公平性、公正性のバランスを考慮した、制度総体のあり方、個別補助金のあり方について検討する事が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	補助事業の内容、金額、効果等の公表(2-1-1-2と重複)		体制コード	2-3-1-2				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
補助金の今後の方針一覧をホームページで公表したほか、平成22年度補助金交付予定一覧の公表(市報は8月1日号)に向けて、準備を進めました。								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成22年度補助金の交付予定を8月1日号の市報で公表し、市民に情報提供します。								
平成22年度取り組み内容(D)								
8月1日号の市報に挟み込み、補助金交付予定一覧を全戸配布により公表。併せて、ホームページにおいても一覧を公表した。								
取り組みについての成果(C)								
初めての実施であったが、公表後に市民からの問い合わせが3件あり、補助制度の内容及び適用の有無など、市民の行政に対する関心を上げられた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
予定どおり公表を行えた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
初めての取り組みであり、多くの市民から意見、問い合わせが来ることを想定したが少なかった。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 ただし、取り組みに対する反応が少なかったと思われるので、内容や公表の仕方の工夫に努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き、当初予算の交付予定について一覧により公表を行っていくとともに、新たに前年度の交付実績を取りまとめ、一覧として公表(ホームページ)を行っていく。								
平成23年度取り組み内容(D)								
7月1日号市報に挟み込み、補助金交付予定一覧を全戸配布。併せてホームページにおいても公表した。 なお、公表内容に前年度の予算額も記載することで、当該年度との比較ができるようにするとともに、「新規」や「廃止」といった制度の取扱いが分かるような表記を行った。 また、新たに前年度の補助金交付実績を一覧表にまとめ、8月にホームページで公表を行った。								
取り組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
市民から補助制度に対する問い合わせがあり、補助金の透明性の確保に成果があった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由: 取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
前年に引き続き、当初予算による交付予定額の公表と、新たに前年度交付額の実績公表を行った。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
当初予算における補助金支出予定を掲載しているものであり、年度当初にで公表できるようにしたい。 また、前年度の実績額を公表することにより、補正予算による補助金額の増減や新設等の対応についても情報提供が行えた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き、年度当初での交付予定額公表ができるよう取り組みを進め、前年度実績額の公表も行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・効果の不明瞭なものに交付を継続し、市民からバラマキの誹りを受けることのないよう、適切に検証されたい。 ・効果を検証した場合、検証結果を公表していただきたい。 ・公表により行政の透明性と説明責任は大きく向上しています。今後は各地域、各事業ごとに違う課題と、公平性、公正性のバランスを考慮した、制度総体のあり方、個別補助金のあり方について検討する事が必要です。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
補助金の効果測定の見直しも併せて取り組むべきではないか。	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	負担金の見直し		体制コード	2-3-1-3				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	見直し	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
全国の先進的取り組み事例についてホームページで研究する程度にとどまり、見直しに着手できませんでした。平成22年度に行財政改革推進プロジェクトでワーキング部会を組織し、研究・構築することとしました。								
平成22年度中の実施目標(P)								
財政改革ワーキング部会で見直しを行います。								
平成22年度取り組み内容(D)								
「財政改革ワーキング部会」を設置し、見直しに向け、負担金を多く所管している課を対象に内容ヒアリングを行うとともに、すべての負担金について内容確認の調査を行った。								
取り組みについての成果(C)								
各担当で負担金の内容を確認し、その必要性を改めて検証することで事務事業の改善が図られる。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)					
見直しに向けた現状の内容把握等を行ったものの、実際の見直しまで進められなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
今後の見直しの具体的方針や検証制度の構築へつなげていくことが課題である。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)					
所管課評価に同じ。 なお、検討にあたっては、期限を定めて結論を出すように努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
見直しの具体的方針及び検証制度の構築を進める。								
平成23年度取り組み内容(D)								
前年度におけるワーキング部会での調査から具体的な取り組みに至らなかった。								
取り組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
なし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由: 取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
取り組みを行っていないため		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
具体的な方針等を定めることができなかった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
後期計画の策定に合わせ、検討を進める。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組みが行われていないのでD評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・なぜ具体的な取り組みに至らなかったのですか。</p> <p>・旧村単位で行ってきたサービスについて見直す時期と考えます。負担金、使用料、手数料の基本的な考え方を整理して、統一的な算定基準の検討が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
見直しを取り組みにあげているのに、見直せなかったのは問題である。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	検証する制度の構築		体制コード	2-3-1-4				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内政327)				
取組時期	H21	研究	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	創設・実施		H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成22年度に行財政改革推進プロジェクトでワーキング部会を組織し、研究・構築することとしました。								
平成22年度中の実施目標(P)								
財政改革ワーキング部会で研究します。								
平成22年度取り組み内容(D)								
「財政改革ワーキング部会」を設置し、見直しに向け、負担金を多く所管している課を対象に内容ヒアリングを行うとともに、すべての負担金について内容確認の調査を行った。								
取り組みについての成果(C)								
各担当で負担金の内容を確認し、その必要性を改めて検証することで事務事業の改善が図られる。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
見直しに向けた現状の内容把握等を行ったものの、実際に見直しまで進められなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
今後の見直しの具体的方針や検証制度の構築へつなげていくことが課題である。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、検討にあたっては、期限を定めて結論を出すように努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
見直しの具体的方針及び検証制度の構築を進める。								
平成23年度取り組み内容(D)								
前年度におけるワーキング部会での調査から具体的な取り組みに至らなかった。								
取り組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
なし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由: 取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
取り組みを行っていないため		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
具体的な方針等を定めることができなかった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
後期計画の策定に合わせ、検討を進める。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組みが行われていないのでD評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・なぜ具体的な取り組みに至らなかったのですか。</p> <p>・補助金に関しては毎年検証して、多く使用されるもの、あまり利用されないものの原因を確認し、村上市の活性化につながるような考え方をし、多くしたり、少なくしたりして利用促進を図るべきだと考えます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>検証する制度の構築とはなにか。例えば5年おきに負担金を見直す場合の検証方法といったことか。詳細が分かるように記載願いたい。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	「業務仕様書・業務執行状況」の点検		体制コード	2-3-2-1				
所管	財政課 契約検査室		担当者・内線番号	齊藤博幸(内線322)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
準備契約・長期継続契約の事務の具体的な検討を進める中で、仕様書の考え方の統一化を図る。								
平成22年度取組み内容(D)								
入札制度の一部改正は実施したが、委託業務の仕様書まで見直しができなかった。								
取組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い					
取組みが行われていない。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い					
所管課評価に同じ。 なお、取組みが遅れているため、早急な実施を進めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
準備契約・長期継続契約の事務の具体的な検討を進める中で、仕様書の考え方の統一化を図る。								
平成23年度取組み内容(D)								
見積もりによる積算については、1社からの見積もりによらず複数社から見積もりを徴し、積算することとするよう指導している。仕様書の内容については、随時確認したうえで、疑義のある案件に対しては、聞き取り及び指導を行い、公平性及び競争性の確保に努めた。 また、業務執行状況においては、随時契約方法等について確認を行っているところではあるが、今年度末に契約の手引きを作成し、契約方法等について職員への周知を図ったところである。								
取組みについての成果(C)								
契約の手引き等により契約方法の周知が図られた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
仕様書の内容及び業務の執行状況については、疑義のある案件に対し聞き取り及び指導を行い、公平性及び競争性の確保に努めた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
契約の手引きを作成し、公平公正な契約に努めるよう職員へ周知した。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き、公平性及び競争性の確保に努める。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・随意契約等の理由が適正か、不適正かの判断は誰が行うのか、随意契約物件の一覧表及び理由書があれば知りたい。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<ul style="list-style-type: none"> ・委託業務全体の仕様書を定めるということか。 ・業務執行状況の点検とは。 ・詳細が分かるよう記載願いたい。 	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	「経費の節減・業務の効率化」の検討・実施		体制コード	2-3-2-2				
所管	財政課 契約検査室		担当者・内線番号	齊藤博幸(内線322)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23	-	
	H24		H24	-		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
業務仕様書の検討を進める中で、積算書の考え方の統一化を図り、適正な価格設定となるようにする。								
平成22年度取り組み内容(D)								
入札制度の一部改正は実施したが、委託業務の積算書の考え方の統一化まで見直しができなかった。								
取り組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
取り組みが行われていない。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 なお、取り組みが遅れているため、早急な実施を進めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
業務仕様書の検討を考える中で、積算書の考え方の統一化を図り、適正な価格設定となるようにする。								
平成23年度取り組み内容(D)								
スクールバス及び保育園園児送迎バス運行業務を長期継続契約に移行し経費の節減・業務の効率化を図った。								
取り組みについての成果(C)								
長期継続契約への移行により、経費の節減及び業務の効率化は図られたと考える。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
長期継続契約への移行により、一定の経費節減及び業務の効率化は図られたため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
長期継続契約を採用するにあたり、業務別の移行計画が中途半端な状況になっているため、再度計画を見直したい。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き、可能な業務については、積極的に長期継続契約への移行を図ることとしたい。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・職員数削減には簡素化・合理化も一体で進めなければならないが、全職員対象の提案制度などを設け、相当程度効果のある簡素・合理化に資する提案を行った職員は人事考課で優遇してもよいのではないかと。</p> <p>・バス運転手は、ほとんど地元の人間である。外注と、直接パートとして市で雇用した場合の比較表的なものはあるのか。地元雇用の方が地元には税金が入るし、地元活性化につながるのではないかと。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・具体的な委託業務の想定は、 ・詳細が分かるよう記載願いたい。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有
取組内容	公用車必要台数の調査		体制コード	2-3-3-1	
所管	財政課財務係		担当者・内線番号	板垣 強 ・ 323	
取組時期	H21	調査	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)
	H22		H22	-	
	H23		H23	-	
	H24		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)					
公用車の稼働率(時間帯、時間等)を月別に調査した。					
平成22年度中の実施目標(P)					
稼働率の低い分散管理車両を、有効活用可能な集中管理車両(総務課管理)へ移管。					
平成22年度取り組み内容(D)					
公用車の稼働率(時間帯、時間等)調査は総務課で継続して実施している。その調査内容をもとに公用車リース料について当初予算査定を行った。					
取り組みについての成果(C)					
稼働率の低い分散管理車両2台を、有効活用可能な集中管理車両(総務課管理)へ移管した。また、使用状況が一目瞭然となることからスムーズに公用車リース料の予算査定を行うことができた。					
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
特になし					
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)					
各課の分散管理車両については、職員ポータル上で予約入力し、更に有効活用を図ることにより公用車の必要台数を削減することは可能と思われる。これには各課職員の十分な理解が不可欠となる。					
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。					
平成23年度中の実施目標(P)					
公用車の稼働率(時間帯、時間等)調査は総務課で継続して実施する。					
平成23年度取り組み内容(D)					
公用車の稼働率(時間帯、時間等)調査は総務課で継続して実施している。その調査内容をもとに公用車リース料について当初予算査定を行った。					
取り組みについての成果(C)					
稼働率の低い分散管理車両2台を、有効活用可能な集中管理車両(総務課管理)へ移管した。また、使用状況が一目瞭然となることからスムーズに公用車リース料の予算査定を行うことができた。					

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおり実施している。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
各課の分散管理車両について、更に有効活用を図っていく必要がある。各課から新規導入の要望があるが、安易に車両を増やさないうちを査定していかなければならない。		
平成24年度中の実施目標(P)		
公用車の稼働率(時間帯、時間等)調査は総務課で継続して実施する。その調査内容をもとに予算査定を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・公用車の管理が悪い。 ・引き続き職員ポータルを活用し、車両数の削減に努める事が大切です。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
職員ポータルシステムなるものがあるのならば、同一方面出張の場合の相乗りや出張人員削減など、その活用により経費の削減が可能なものが見出せるはず。公用車の乗車濃度も検証すべき。(ただし、これも職員の意識改革が必須)		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	公用車リースと購入経費の比較検討・実施		体制コード	2-3-3-2				
所管	財政課財務係		担当者・内線番号	板垣 強 ・ 323				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23	-	
	H24		H24	-		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取組み内容(D)								
公用車の稼働率は総じて高く、メンテナンス等や経費の平準化についても考慮した。また、車両購入に対しての特定財源(補助金)は皆無である状況から、一部特殊車両を除いては車両リースを基本として予算査定にあたった。								
取組みについての成果(C)								
2-3-3-1公用車必要台数の調査とあわせスムーズな予算査定に役立った。								
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
特になし								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
車両リースとすることにより、購入に比べて導入基準が甘くなることのないように、2-3-3-1公用車必要台数の調査とあわせて予算査定を実施していきたい。								
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
なし。(同様の方針で予算査定を実施)								
平成23年度取組み内容(D)								
公用車の稼働率は総じて高く、メンテナンス等や経費の平準化についても考慮した。また、車両購入に対しての特定財源(補助金)は皆無である状況から、一部特殊車両を除いては車両リースを基本として予算査定にあたった。								
取組みについての成果(C)								
2-3-3-1公用車必要台数の調査とあわせスムーズな予算査定に役立った。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおりに実施している。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
車両リースとすることにより、購入に比べて導入基準が甘くなることのないように、2-3-3-1公用車必要台数の調査とあわせて予算査定を実施していきたい。		
平成24年度中の実施目標(P)		
一部特殊車両を除いて車両リースを基本として予算査定を実施する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・合併により多くの車両を保有した事で、メンテナンスや経費の平準化は更に大切です。尚、取得方法は購入による取得と、リース契約による取得を十分に検討する事が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
職員ポータルシステムなるものがあるのならば、同一方面出張の場合の相乗りや出張人員削減など、その活用により経費の削減が可能なものが見出せるはず。公用車の乗車濃度も検証すべき。(ただし、これも職員の意識改革が必須)	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成24年6月20日	平成24年6月20日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有	
取組内容	パソコン必要台数等の調査		体制コード	2-3-3-3		
所管	政策推進課 情報化推進室		担当者・内線番号	小林精司・502		
取組時期	H21	調査	H21	-	H21	-
	H22	目標数値	H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	-
	H24		H24	-	H24	-
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)						
<p>現有管理PCの台数の把握を行った。 今後の退職等による職員の減員と機器更新期間との調整を行い、次年度の更新台数を決定した。</p>						
平成22年度中の実施目標(P)						
22年度の更新台数をまとめ、予算化のもと機器更新を行う。						
平成22年度取組み内容(D)						
<p>リース終了に伴うパソコンの入替 170台 財務会計電子決裁システム導入に伴う施設(学校、保育園など)へのパソコン増設 60台</p>						
取組みについての成果(C)						
<p>古いパソコンの入替により事務効率が向上した。 今までパソコンが不足していた施設へ追加配布ができた。</p>						
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
必要な場所(人)に必要な台数を配布できた。						
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
職員が減ることにより管理台数が減と思っていたが、臨時職員の増加や端末が別に必要になるシステムが追加になることにより、あまり減っていない。						
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。						
平成23年度中の実施目標(P)						
引き続き、必要台数を調査しながら毎年の入替台数に反映させていく。						
平成23年度取組み内容(D)						
パソコンの増設(80台)を行うとともに必要台数を取りまとめ次年度の更新台数を決定した。						
取組みについての成果(C)						
パソコンの更新により事務効率が向上した。						

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
必要な個所にパソコンを配備できた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
例年行っている情報系端末の更新に加え、合併時に購入により導入した基幹系端末が5年を経過し更新時期を迎えるため、更新計画を十分検討する必要がある。		
平成24年度中の実施目標(P)		
基幹系端末の更新を考慮し、複数年での更新を計画する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・合併により多くのパソコンを保有した事で、更新台数の平準化は更に大切です。尚、取得方法は購入による取得と、リース契約による取得を十分に検討する事が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
パソコンの必要台数を積算する上で、端末となるマシンを法的に別々にする必要があるシステムは少ないはず。まず最初に、トータルシステムとして成立・導入できるかどうかを、市として独自に検証するのが先ではないか。臨時職員全員がマシンを保持すべきなのかも検証する必要があるし、マシンのスペックも全ての職員が高機能でなくとも業務遂行は可能であるはず。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月18日	平成24年6月20日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	村上浄水場の包括した民間委託の検討・実施		体制コード	2-3-4-1				
所管	水道局 管理業務室		担当者・内線番号	川村甚一・神林支所内線231				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成22年度運転開始する新村上浄水場の運転管理、施設監視及び維持管理業務を包括して1社に委託することとし、債務負担行為により指名競争入札、業者選定を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
村上浄水場の包括的委託は継続し、他施設において実施可能か検討する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
村上浄水場の包括的業務委託を単年度の委託期間で実施した。 平成23年度の長期継続契約に向け、債務負担行為により指名競争入札、業者選定を行った。								
取り組みについての成果(C)								
管理業務等を包括的に1社に委託することにより責任の明確化、緊急時の即時対応が図られている。 施設管理職員の負担軽減が図られた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
委託業者の責任の明確化、施設管理職員の負担軽減が図られている。 長期継続契約への移行により、長期的に安定的な契約ができることから、事務の簡素化、効率化が図られ、また、入札の競争性の向上により契約金額の抑制が図られた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお「他地区の施設について、直営で管理しているところもあることから、アウトソーシング可能か引き続き検討」は、期限を定めて検討を行うよう努ること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
山北地区簡易水道施設15箇所の施設管理業務を旧山北町時代から1社特命随意契約で委託してきているが、長期継続契約へ、また指名競争入札の実施に向けて研究、協議していく。 他地区の施設について、直営で管理しているところもあることから、アウトソーシング可能か引き続き検討していく。								
平成23年度取り組み内容(D)								
・村上地区浄水場については、平成25年度まで長期継続包括業務委託契約を実施している。 ・山北地区の施設の管理の状況を検証し、管理業務委託について一般競争入札と長期継続契約の実施について検討した。 ・他地区の施設については、荒川地区、神林地区について管理業務委託が可能か検討した。								
取り組みについての成果(C)								
・村上浄水場については平成25年度まで長期継続包括業務委託契約を実施している。 ・山北地区では既に下水道施設管理業務と合わせ委託することで経費削減を行っており、一般競争入札へ直ちに移行することは難しい。長期継続契約については、平成25年度までに水道施設の統合等により現在の委託業務内容が変更されることから、委託内容が確定する平成25年度までに再検討する。また、荒川、神林地区については、現在進めている荒川第3次拡張事業が完了し、浄水場等の新施設が稼働する平成29年度から両地区施設を一括して委託するよう進める。ただし、今後の職員削減計画を勘案し、早期の実施も検討する。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>・施設整備の進捗に合わせ、実施時期を明示できたこと。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p> <p>・本市の水道事業は、上水道1、簡易水道26の事業からなり、多数の施設を運営、管理しているが、広大な市域に加え、地理的にも効率的な管理が難しい施設が多い。また、日常生活に不可欠なライフラインであることから、即時に対応可能な危機管理体制が必要となり、効率と安全の二面の両立に苦慮しており、今後も大きな課題とであり、努力しなければならない事項であると再認識した。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p> <p>・山北地区の北中と大毎・大沢両簡易水道の統合事業が平成25年度に完了予定であることから、平成26年度から長期継続契約ができるよう、関係課等と協議を進める。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p> <p>なし</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
<p>具体的意見・要望(A)</p> <p>なし</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月18日	所属長 平成24年6月20日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	効率的な業務委託の検討・実施		体制コード	2-3-4-2				
所管	水道局 管理業務室		担当者・内線番号	川村甚一・神林支所内線231				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	1.0%	成果数値	H21	1.6%
	H22			H22	2.0%		H22	2.0%
	H23			H23	3.0%		H23	2.0%
	H24			H24	4.0%		H24	
	後期			委託料縮減の数値目標			委託料縮減の数値目標	
平成21年度取組み内容(D)								
平成23年度の機構改革に向けた本庁、支所の業務量の検討を行った際に、同一業務の集中一括発注の検討を行った。神林地区において、これまで職員が直営で行ってきた簡水施設の保守点検業務を効率的な民間委託を実施した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
引き続き効率的な業務委託を検討・実施する。								
平成22年度取組み内容(D)								
平成23年度の機構改革に向けて本庁、支所の業務整理を行った。支所職員の業務負担軽減を図るために支所業務の内、契約業務等について本庁に集約することとした。 今年度は、平成23年度の契約に向け、準備を行った。 同一業務の平成23年度本庁集中一括発注に向けて準備を行った。								
取組みについての成果(C)								
平成23年度当初の煩雑な契約業務を本庁に集約したため、支所職員の業務負担軽減となっている。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
業務委託を本庁に集約することで支所職員の負担軽減と業務委託の効率化が図られた。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
支所において水道業務を担当する建設水道課建設管理室職員は、水道業務のほかに下水道業務、建設業務を担当しており、下水、建設部門においても業務見直しの同一歩調を取っていただければ、近い将来の支所35人体制に向けた支所業務負担の軽減が一層図っていけると思う。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
契約業務の本庁集約について検証を行い、引き続き効率的な業務委託の在り方を検討していく。 検針から収納に至るまでの料金に関する一連の業務を包括的に委託している全国の先進事例を研究していきたい。								
平成23年度取組み内容(D)								
・平成22年度に本庁で集約し、又は一括して行うこととし平成23年度契約した委託、工事請負、物品納入の契約全件について、各支所担当者と検証を行い、平成24年度についても継続していくこととした。 ・料金に関する業務の包括委託については、全国的に同業務に受託実績を有する1事業者から説明を求め、研究を行い、実情把握に努めた。								
取組みについての成果(C)								
・引き続き、支所担当職員の契約業務の軽減が図られた。 ・料金に係る包括業務委託については、給水人口等の同規模事業体での導入効果と経費節減効果について研究したが、有収率及び収納率については改善がみられていたが、委託料と比較した人件費の削減効果はあまり見られなかった。また、現在これら料金に係る業務の担当職員については、災害時の給水活動など水道に係る応急対策を担っていることなどを踏まえた場合、現状では直ちに委託することは難しいと思われた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>・本庁による一括委託及び契約業務の一元化により、委託内容の平均化など業務内容の効率化を継続できたが、当初の委託料削減目標は達成できなかったため。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>・委託業務の本庁集約についてはおおむね達成された。検針から収納までの業務の包括委託については、委託による経費節減効果の検証と、災害時等のリスク分析を行いながら職員定数を十分考慮の上検討する必要があると思われる。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>・支所、本庁の業務担当者による十分な検証を行い、業務運営上の効率化を引き続き進める。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>目標数値に達しなかったため所管課評価と同じくC評価とした。 委託業務の本庁集約達成と料金に係る包括業務委託について一定の結論に達したことは評価できる。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価と同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>なし</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>なし</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無					
取組内容	産業等活性化支援補助制度の創設		体制コード	2-3-5-1						
所管	商工観光課商工振興係		担当者・内線番号	本間研二(内線353)						
取組時期	H21	創設・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-		
	H22			H22	-		H22	-		
	H23			H23	-		H23	-		
	H24			H24	-		H24	-		
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)			
平成21年度取り組み内容(D)										
産業見本市等出展事業費補助金 1件 82千円、商店街賑わい創出支援事業 1件 300千円 産業人材育成支援事業 3件 100千円 3件の内訳 村上商工会議所(5企業6人)、荒川商工会(1企業2人)、神林商工会(1企業2人)										
平成22年度中の実施目標(P)										
平成22年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成23年度事業)をPRしていく。										
平成22年度取り組み内容(D)										
産業見本市等出展事業費補助金2件142千円 産業元気づくり事業補助金3件176千円 商店街賑わい創出支援事業1件300千円 産業人材育成支援事業1件60千円(村上3企業6人)										
取り組みについての成果(C)										
新たに産業元気づくり事業(新商品開発)への取り組みが3件と増えた。 産業見本市等出展事業や産業人材育成事業を活用する事業所が増えてきた。										
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)										
従来、申請期限を10月末にしていたが、要綱改正により、特別な事情な場合であれば年度末までの受付を可にしたことで、より活用しやすい補助制度となった。										
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
所管課評価に同じ。 「より使いやすい補助制度として要綱改正等も視野に入れて進めていく」とあるが、その際には、これまでの効果・実績を十分検証し、安易な改正とならないよう留意すること。										
平成23年度中の実施目標(P)										
平成23年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成24年度事業)をPRしていく。なおより使いやすい補助制度として要綱改正等も視野に入れて進めていく。										
平成23年度取り組み内容(D)										
産業見本市等出展事業費補助金5件447千円 産業元気づくり事業補助金1件60千円 商店街賑わい創出支援事業1件300千円 産業人材育成支援事業1件20千円(村上2企業2人) 観光イベント事業補助金3件1,380千円										
取り組みについての成果(C)										
補助事業を利用する団体、組織が増えてきた。										

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
事業の周知として、従来からの市報とHPがあるが、HPについては、見やすい様に構成をし直した。また、商工会等の集会時に制度の説明を行った。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
産業見本市等や産業人材育成事業等補助事業を利用する企業や組織が固定化してきた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
平成24年度事業の補助対象事業の認定審査は昨年度中に終了している。引き続き、補助制度(平成25年度事業)をPRしていくが、商店街や団体等にこちらから説明に伺うなど周知徹底を図りたい。なおより使いやすい補助制度として要綱改正等も視野に入れていきたい。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 昨年度評価同様「より使いやすい補助制度として要綱改正等も視野に入れていきたい。」とあるが、その際には、これまでの効果・実績を十分検証し、安易な改正とならないよう留意すること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価と同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
使いやすい・利用しやすい制度の意味にはいろいろあるが、対象が中小零細企業や個人商店などであることからすれば、申請から決定、交付までできる限り短期間であることも、非常に有意義と思われる。県や関係機関の補助とは一線を画した、より意義ある制度としてほしい。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月5日	所属長 平成24年6月18日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	地域コミュニティ活動助成金制度の創設		体制コード	2-3-5-3				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		創設	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
自治振興室において検討していく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・助成金から地域住民が自由な発想で自由に活用できる交付金として再検討を行った。								
取り組みについての成果(C)								
・各地域振興課の意見を取り入れながら、交付金の積算基準づくりを行った。また、積算基準については、人口や行政区の数だけでなく、生活不便地域を考慮し、加算額方式も取り入れたものである。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
・交付金等については、市民協働のまちづくりを今後の本市の重要課題と捉え、条例制定に向けた検討を行い、平成23年3月28日に「村上市地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例」を制定した。なお、交付金の交付に関する施行日は平成24年4月1日とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・当初計画では平成23年度からの実施で計画したが、村上地区の分館制度廃止に伴う分館長等の任期の理由等により、1年実施を延長したものである。結果的に、地域住民の不安の解消に繋がったものと思われる。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
平成23年度の実施が遅れた点でいえばC評価となるが、地域審議会等での「地域まちづくり組織」の設立に向けた議論もなかなか進まなかった経緯から、B評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・交付金の使用については、公金の性格を鑑みガイドラインを策定し、均衡ある交付金の利用の促進に寄与する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
組織の設立及び交付金の適正な活用を図るため、担当職員向けに「市民協働のまちづくり推進ガイドライン」を策定し、各地域で「地域まちづくり計画」の策定及び「地域まちづくり組織」の設立に向け取り組みを進めた。								
取り組みについての成果(C)								
策定したガイドラインを踏まえ、各地域で地域の将来像を見据えた「地域まちづくり計画」を策定するとともに、平成24年度から交付金を活用し取り組む具体的な事業実施計画を策定した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>策定した「市民協働のまちづくり推進ガイドライン」を踏まえ、各地域において「地域まちづくり計画」の策定及び「地域まちづくり組織」の設立が進められたことにより、評価をBとした。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>地域の現状と課題を踏まえた解決策を住民自ら考え、自由な発想と人材、地域資源を活かした計画踏まえ、「地域まちづくり組織」が設立されたことは、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という意識に近づいたと感じる。今後、さらに公金を活用した交付金であることから、その実情に応じた「ガイドライン」の充実を図る必要がある。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>地域の元気づくりのために、より活用しやすい交付金とするため「ガイドライン」の見直しを行う。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>「市民協働のまちづくり推進ガイドライン」に沿って進められているのはよいが、そのガイドラインに沿わせようとして行政主導となり、民意が十分反映されていないきらいがある。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
<p>具体的意見・要望(A)</p>	
<p>重要課題とあげる割には、遅々としている感が拭えない。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	「待遇マニュアル」の作成		体制コード	3-1-1-1				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年9月に市民窓口サービス推進会議(事務局:市民課)が設置され、市民窓口サービスの向上に向けた取り組みについて協議している。この会議の中で待遇マニュアルについても併せて作成することを計画している。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市民窓口サービス推進会議にて計画されている待遇マニュアル作成の具現化を図る。								
平成22年度取り組み内容(D)								
年度後半に予定していたが、突発業務(震災関連)により実施できず								
取り組みについての成果(C)								
未実施のため成果等なし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
未実施のため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
職員は新採用職員研修や階層別研修などを受講してきていることから、待遇マニュアルが必要なのか疑問に感じる。各職場において管理職の管理の下に必要なアドバイスをすることや、自己研鑽によりカバーしていくものと思う。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
次回実施時期を再検討								
平成23年度取り組み内容(D)								
平成24年度において待遇研修を実施するよう、予算化を行った								
取り組みについての成果(C)								
取り組みを実施する土台が形成された								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画に対して遅れているため		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>待遇に関して職員間に温度差が感じられることから、基本的な事項から再確認することで、全体のレベルアップに繋がればと思う</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<p>人事考課制度の一環として若手職員を中心として待遇研修を実施し、研修において使用するテキストを全職員に対し公開する</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価と同じ。 研修におけるテキスト公開のみではなく、市独自のマニュアルが必要と思われる。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価と同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・「待遇マニュアル」の作成も大事であるが、若手職員のみならず全職員に対しての研修が必要と思われる。 ・「マニュアル」や「アンケート」の活用はいいが、そればかりに頼っている、より積極的で臨機応変かつ人としての温かみのある待遇はできないと思う。挨拶ひとつとってみても満足にできない若手職員をかなり見かける。 ・待遇研修も良いのですが、支所では混雑しているとき等対応出来る人員がいない、人員不足が原因であると思われる。今後の対応は。 ・意識改革で最も重要なことは、環境を変えることであり、それには組織風土・職場風土を改革する必要があります。行政全体が、組織風土・職場風土改革の重要性と必要性に関する認識を共有し、プロジェクト等を作って実践する事が重要です。「待遇マニュアル」作成と研修だけでは心のこもった住民サービスはできません。組織風土・職場風土改革と「待遇マニュアル」作成、研修を両輪として進める事が重要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・市職員は、サービス業に従事しているという意識が欠如しているのではないだろうか。 ・最低限窓口で市民に接する機会のある職員には外部研修を受講する必要があるのではないか。 ・待遇マニュアルが必要かどうかはともかく、現在の本庁職員の待遇のあり方を疑問視する意見が多いことは、従来実施の研修では不十分だという裏返しではないか。なぜ行革の取り組み項目に一項目起こして出てきているのかということも考慮のうえ、対策を講じてほしい。 ・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。待遇アンケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。 ・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	役職に応じた職員研修の実施		体制コード	3-1-1-2				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
市町村職員総合事務組合が主催する階層別研修を主に職員を受講させた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
計画に沿い、今後も受講させる。								
平成22年度取組み内容(D)								
予定どおり研修受講させた								
取組みについての成果(C)								
研修受講により、職員個人のスキルアップが図られ、業務遂行に反映されているものと思われる								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画どおりであることから								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
合併前の各市町村の考え方により受講対象者の年齢等にバラつきがある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 ただし、合併による影響を解消するためには計画以上の実施の検討も必要。								
平成23年度中の実施目標(P)								
前年同様、階層別研修の受講により対応								
平成23年度取組み内容(D)								
予定どおり研修受講させた。								
取組みについての成果(C)								
研修受講により、職員個人のスキルアップが図られた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
予定どおりとしたことから		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
特になし		
平成24年度中の実施目標(P)		
前年同様、階層別研修の受講により対応		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 ただし、行革委員会からの意見からも積極的な実施の検討が必要。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・意識改革で最も重要なことは、環境を変えることであり、それには組織風土・職場風土を改革する必要があります。行政全体が組織風土・職場風土改革の重要性と必要性に関する認識を共有し、プロジェクト等を作って実践していく事が必要です。計画に沿った階層別研修・専門別研修だけでは意識改革はできません。組織風土・職場風土改革と研修計画を両輪として進める事が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。待遇アンケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。 ・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	民間企業等、外部研修制度の検討		体制コード	3-1-1-3				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	結論		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
作成予定としている「待遇マニュアル」の内容をふまえ検討する。								
平成22年度取組み内容(D)								
「待遇マニュアル」の作成にまで至らなかったことから実取組なし								
取組みについての成果(C)								
未実施であることから成果なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画に対し未実施であるため								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
800人超の職員数で、複数の職種が存在する中で、どの職場のどのような職員が外部研修を受け、どのような効果をもたらすのか不明瞭な状態での検討はいかがなものかと感じる								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課の評価のとおり、D評価とした。 なお、職員の能力向上、意識改革として位置付けているものであることを踏まえて検討すること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
現状とこれからの職員数の動向等をふまえ、当面の間実施しないという方向で検討する								
平成23年度取組み内容(D)								
内部検討の実施								
取組みについての成果(C)								
当初、当面の間、実施しない方向での検討としたが、公社や指定管理受託者等、民間主体の公営施設における研修実施へと方向性を転換した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
検討により方向性は示したが、結論に至ってはいないため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
外部研修により何を求めるのか、現在実施している各種研修において何が不足しているのか、目的が不明瞭である。		
平成24年度中の実施目標(P)		
結論を出すにあたっての本来目標の明瞭化		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・意識改革で最も重要なことは、環境を変えることであり、それには組織風土・職場風土を改革する必要があります。行政全体が組織風土・職場風土改革の重要性と必要性に関する認識を共有し、プロジェクト等を作って実践していく必要があります。民間企業等への研修は、職員意識改革と能力向上の研修である事を周知させ、所属、役職問わず研修させる事が必要と考えます。(若年職員が対象となりがちですが、部下は上司を見えています。)</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・市職員は、サービス業に従事しているという意識が欠如しているのではないだろうか。 ・最低限窓口で市民に接する機会のある職員には外部研修を受講する必要があるのではないか。 ・「外部研修制度」の目的意義は何なのかをしっかりと見極め、本当に必要か否かを検討すればよいと思う。職員数の動向はあまり考える必要はないと思う。 ・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。待遇アンケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。 ・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	待遇に対する職員の自己評価の実施		体制コード	3-1-1-4				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23		
	H24		H24	-		H24		
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
作成予定としている「待遇マニュアル」に基づき、平成23年度に実施する。								
平成22年度取組み内容(D)								
特になし								
取組みについての成果(C)								
未実施のため成果なし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
計画に対して未実施のため								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
未実施のため特になし								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課の評価のとおり、D評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
「待遇マニュアル」作成にまで至らなかったことから、未定である								
平成23年度取組み内容(D)								
特になし								
取組みについての成果(C)								
未実施のため成果なし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組み内容がないため		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
「自己評価」を人事担当者が取りまとめる必要性に疑問を感じる。 各所管の管理職員の危機意識の中で管理するものとする。		
平成24年度中の実施目標(P)		
取組内容の根本的見直し		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価と同じくD評価とした。 市全体の待遇に対する意識向上のため内部評価等の体系を構築する必要がある。 所管課として体系の構築に向けた取組を行うこと。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価と同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・人事担当者が取りまとめに疑問を感じているのであれば、もっと早く体制を作るべきではないのか。 ・自己評価の試行中、人事考課制度の中で取り入れているとはどういうことか。 ・民間であればボーナス等に必ず反映されます。自己評価の実施の具体方法を知りたい。 ・意識改革で最も重要なことは、環境を変えることであり、それには組織風土・職場風土を改革する必要があります。 行政全体が組織風土・職場風土改革の重要性と必要性に関する認識を共有し、プロジェクト等を作って実践していく 事が重要です。実践している職員の自己評価と併せて、市民からのアンケート実施が有れば更に良いと考えます。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<ul style="list-style-type: none"> ・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。待遇アンケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。 ・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。 	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成24年6月1日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有	
取組内容	「ワンストップサービス」の実現		体制コード	3-1-2-1		
所管	市民課 市民年金室		担当者・内線番号	伊与部久子(内線291)		
取組時期	H21	検討	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	-
	H23	実施	H23	-	H23	-
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)						
平成21年9月に「窓口サービス推進会議」を設立し、市民の側に立った窓口サービスのあり方を、課の配置状況案内板の表示など、それぞれの意見を集約した。新年度においても引き続き実施する。						
平成22年度中の実施目標(P)						
市民アンケートを実施して市民の要望を反映させたい。 「窓口サービスアンケート」の実施。集計。あるべき窓口サービスについての方向性を検討。						
平成22年度取組み内容(D)						
昨年度同様、『窓口サービス推進会議』で検討を続け、その中で窓口サービスに対する市民の要望を聞き取るためにアンケートを実施した。 アンケートの結果を受け、本庁はスペースに余裕がないため、職員が書類を持って次の窓口案内することと、2階以外の担当課職員は市民課に呼ぶことによりお客様に負担を掛けない窓口サービスを実施した。支所においてはH23組織再編で比較的スペースに余裕ができるため、カウンターの一部を利用したワンストップサービスへの対応を行った。						
取組みについての成果(C)						
窓口サービスアンケートの実施により、市民の求める窓口サービスのあり方が見えてきた。 本庁では職員が先立ってご案内することと2階以外の担当課職員は市民課に呼ぶことによりお客様に負担感を持たれないようにした。支所ではワンストップサービスへの対応により、職員が動くことでお客様の負担軽減に努める。 また、高齢者や体の不自由な方には、カウンターでなくとも待合椅子でも受付するなど気配りをした。						
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
市民の求める窓口サービスのあり方が見えてきたことにより、改善すべきことがわかってきた。 その結果、お客様に積極的に声掛けして要件を聞きだし、早く目的の窓口にご案内し、要件が間違いなく果たせるようにサポートすることができた。						
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
窓口担当者が一丸となってこの窓口アンケートの実施結果を踏まえた対応に取り組んだこと。 毎月定例の打ち合わせ会議を行い、新しい知識の習得や、情報共有を図ることにより職員の資質向上に努めたこと。						
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。						
平成23年度中の実施目標(P)						
支所はワンストップサービスを実行するとともに、組織再編に伴い戸籍住基の窓口で簡易な税務証明も発行していく。 本庁はスペース確保が困難であるため、引き続き職員が書類を持ってお客様を案内して歩く方法で負担感を持たれないようにしていく。 職員の研修に努め、お客様の満足度向上に努める。						
平成23年度取組み内容(D)						
支所では、組織再編とローカウンターの設置に合わせワンストップサービスを一部導入し、戸籍・住民票・簡易な税務証明を同じ窓口で交付した。 本庁ではスペース確保が困難なため、職員が書類を持ってお客様を案内して次の担当者に引き継ぐ方法を実行した。 また毎月職員研修を実施し接遇のレベル向上に努めた。						

取り組みについての成果(C)		
支所では、ワンストップサービスの実施により市民の利便性が向上した。 本庁では、職員がお客様を案内して引き継ぐサービスの実施により、市民の満足度が向上した。		
平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
昨年度の実績を踏まえて、より一層積極的にお客様にアプローチしたことにより、お客様がスムーズに用件を済ませるようにサポートできた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
本庁では、毎月定例の打ち合わせ会を開き知識を深めるとともに職員同士の情報を交換してスキルアップに努めた。 また、支所にも打ち合わせの内容を周知し、本庁・支所全体のレベルアップに取り組んだ。		
平成24年度中の実施目標(P)		
本庁では、必要な関連手続きを完了させられるサービスをワンストップサービスと位置づけ、引き続きお客様を案内して次の担当者にしっかり引き継ぐサービスを実施する。 支所では、ワンストップサービスコーナーを有効に活用して、なるべくお客様は動かずに職員が動く体制作りに努める。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み内容は高く評価できると思います。 ・不断に見直しを行い、改善できる事柄は改善し、より一層市民の利便性を高めていただきたい。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>取り組みの内容については大いに評価できると思う。今後は、各種手数料などの納付書の発行から収納までを、一度の訪庁で完結できるよう決裁システムから再度細部を検討してほしい。横断的な業務のワンストップから単一業務内のワークフロー短縮もワンストップサービスのひとつと考えられるのではないか。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成23年6月1日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	延長窓口等の充実・検証		体制コード	3-1-3-1				
所管	市民課・市民年金室		担当者・内線番号	伊与部久子(内線291)				
取組時期	H21	実施・検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			-	H22		-	
	H23			-	H23		-	
	H24			-	H24		-	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
<p>本庁は、毎週火曜、木曜、支所は木曜に午後7時まで実施している。利用人数の多少の変動はあるものの市民にも定着してきたものと思われる。平成21年度は利用人数1,116人、件数は1,353件であった。平成20年度利用件数は987件であり、(利用人数の集計データなし)利用数は増加の傾向にある。 「窓口サービス推進会議」で検討。</p>								
平成22年度中の実施目標(P)								
<p>前年度同様に実施する。 今後は、延長時間や回数そして利用者の少ない各支所での延長窓口の必要性などが検討課題となっている。利用実績を踏まえて効率的に実施できるよう検証していく必要がある。</p>								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>本庁は、毎週火曜、木曜、支所は木曜に午後7時まで実施している。制度が定着してきて本庁の利用者数は増加傾向にある。平成22年度は利用人数1,179人、件数は1,537件であった。 県内市町村の延長窓口実施状況を調査し集計した。</p>								
取り組みについての成果(C)								
利用者数で前年度比5.6%の増加であった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>計画通り実施し利用者数も増加した。 今後の延長窓口の実施方法を検討するための資料をそろえた。</p>								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>市広報誌に延長窓口の情報を掲載し利用を促進した。 電話照会の際に、延長窓口のPRをした。</p>								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>所管課評価に同じ。 ただし、これだけでは支所の内容が不明のため、その部分を明らかにし、平成23年度中の実施目標については、先延ばしになることのないように期限を定めて方針をまとめるよう努めること。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>前年度同様に実施する。 各支所での延長窓口の必要性を引き続き検証していく。 延長窓口全体のシステムを見直し、より利用しやすい延長窓口の構築を目指し検討する。</p>								
平成23年度取り組み内容(D)								
<p>平成23年度の実績は、本庁1,152件(946人)、荒川支所145件(98人)、神林支所78件(77人)、朝日支所106件(97人)、山北支所87件(52人)であった。この実績を踏まえて担当課長会議を開催し、必要性、問題点、今後の方向性を検討した。支所の利用人数は少ないが、窓口を開けることにより市民が安心感をもつ効果は無視できない。曜日の変更は合併時に変更して混乱したことを考えると、市民に受け入れてもらうことは困難であろう。諸事継続して検討する必要がある。</p>								

取り組みについての成果(C)		
利用者数で、前年度比7.4%の増加であった。		
平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおりに実施する中で、延長窓口も定着して利用者数も増加した。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
市広報誌に延長窓口の情報を掲載し利用を促進した。 市民からの電話照会や来庁時に延長窓口のPRをした。 本庁と支所の担当課長会議を開き、実施上の問題点等を検討した。		
平成24年度中の実施目標(P)		
前年度同様に実施する。 今後は、延長時間や回数そして利用者の少ない各支所での地域性を考慮した延長窓口の実施方法等が検討課題となっている。利用実績を踏まえて効率的に実施できるよう検証していく必要がある。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 平成23年度中の実施目標である「各支所での延長窓口の必要性・延長窓口全体のシステムを見直し」の結論が出たことは評価できる。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・延長窓口等の充実・検証、住民票、各種税証明書等自動発行機の設置、市税のコンビニ収納は、費用対効果を3項目一緒に検討する事も必要です。また、費用が高額なものは他市町村と連携、共同のサービス提供の検討も必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
・支所の延長窓口の利用について、実施の曜日設定の検討はしているのか。 詳細が分かるよう記載願いたい。	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月1日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	住民票、各種税証明等自動交付機の設置		体制コード	3-1-3-2				
所管	政策推進課 情報化推進室、市民課 市民年金室		担当者・内線番号	市民課・伊与部久子(内線291)				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
住民票等の発行については、自動交付機のほかにコンビニ交付も可能となってきている。当市としては時間外における交付数などの調査を行い、今後どのような方法で対応するか各システムのセミナー等により研修を行った。「窓口サービス推進会議」で検討。								
平成22年度中の実施目標(P)								
今後どのようなシステムを導入していったらよいかを、必要性も含めさらに検討していく。								
平成22年度取組み内容(D)								
「窓口サービス推進会議」から提出された改善要望には導入に関する記載なし。 戸籍システム更新に伴いコンビニ交付についても検討したが、補助を受けるためには住基カードの普及を前提としたものであったため見送る。 市民課では、市役所来庁者を対象とした窓口サービスアンケートを実施、県内市町村に窓口アンケートを実施した。								
取組みについての成果(C)								
アンケートの実施により、市民の要望を聞くことができた。また、県内市町村の窓口の状況を把握できた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
窓口サービスアンケートを実施して、市民の要望を集約した。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
市民の要望があることは把握できたが、必要性(無いと困る、あった方良い、など)や費用対効果については検証していない。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
取組みは評価するが、スケジュールが遅れているため、C評価とした。 また、平成23年度の実施目標による検討の結果については、関係課で今年度中にまとめるよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
費用をかければ導入はできるが、自動交付機やコンビニ交付の必要性を何に求めるのか、再検討の後、あらためて導入年度について協議する。								
平成23年度取組み内容(D)								
本庁支所の担当課長会議で、将来の本市の窓口は、コンビニでの証明書発行に向かうのか、あるいは職員が直接対応する窓口の充実に向かうのかの検討を始めた。果たして市民のニーズはどこにあるのか、意見は分かれるところであるが、拙速な判断はできないので、他市町村の動向や国の政策等も見極めながら決めなければならないが、財政面から数年以内の導入は難しいと考えられるとの結論となった。								
取組みについての成果(C)								
本庁支所担当課長会議において、将来の本市の窓口について意見交換をし共通認識を持つことができた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
本庁支所担当課長会議で検討したが、具体的な方向性の決定までには至らなかった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
関係各課との協議ができなかった。コンビニ交付に必要な住基カードについて国の方針が変更(新住基カードに変更する 現行のまま利用する)となり、具体的な検討ができない状況であった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
住基カードの発行枚数が、4月末で1,634枚である。導入が閣議決定され審議を待っている「マイナンバー法案」の動向も注視しながら、関係各課とともに、本市においてはコンビニでの証明書発行の方向か、職員による窓口の充実の方向なのか協議する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 国等の動向を見極めながら平成24年度中の実施目標のとおり再協議に努めること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・延長窓口等の充実・検証、住民票、各種税証明書等自動発行機の設置、市税のコンビニ収納は、費用対効果と住民サービスを3項目一緒に検討する事も必要です。また、費用が高額なものは他市町村と連携、共同のサービス提供の検討も必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
自動交付機の設置を検討するに当たって、情報機器の操作ができないもしくは苦手な人の対応策はどのように検討されたのか。	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月18日	所属長 平成24年6月21日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	市税等のコンビニ収納		体制コード	3-1-3-3				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	今井 213				
取組時期	H21	検討	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年度中に、他市の状況、および所要経費について調査を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度実施に向けて、具体的な準備を進める。								
平成22年度取り組み内容(D)								
庁内の会議を行い、他市の状況、所要経費、費用対効果について検証し、本市においての24年度からの実施という検討結果を得た。								
取り組みについての成果(C)								
他市の状況、費用対効果と住民サービスについて考えさせられた。 成果としては、予算化してもらえなかったことから不十分なのかと思うが、他市でも行っていなかった納税者の側の効果の検証までできたので、考え方のベースはできたと思う。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
24年度からの実施も考えられなくなったこと。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
費用対効果と住民サービスの向上について考えさせられた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
取り組みは行われているので、所管課の評価のとおり、C評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
県、他市がコンビニ収納化されている中で、住民からの要望も多くなってきており、住民サービスの向上のためにも少しでも早く実施できるようお願いしていきたい。								
平成23年度取り組み内容(D)								
費用対効果、収納率への成果等不透明なこともあり、次回システム更新時再検討することとなった。								
取り組みについての成果(C)								
多額の費用に対し、先進地等でもはっきりした効果が確認できていない。今後研究の余地あり。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
結果として平成24年度中の実施はできない。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
コンビニ収納の代替案等、他の収納率向上に向けた取り組みの検討が必要と考える。		
平成24年度中の実施目標(P)		
収納率向上に向けた他の取り組みの検討		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
費用対効果の調査・検証の上、結論を出すこと。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・2-2-1-4と取り組み内容についてどこが違うのかわからない。</p> <p>・延長窓口等の充実・検証、住民票、各種税証明書等自動発行機の設置、市税のコンビニ収納は、費用対効果と住民サービスを3項目一緒に検討する事も必要です。また、費用が高額なものは他市町村と連携、共同のサービス提供の検討も必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・市税等の納付は口座振替利用を推進すべきだが、滞納防止の観点からコンビニ納付も利用可能とすることで市民の利便性向上を図るべき。</p> <p>・(2-2-2-1)口座振替、(2-2-1-4)コンビニ収納と関連するが、住民サービスの向上 = 収納率の向上が期待できるのであれば(費用対効果を考慮)早期導入を図るべき。</p> <p>・自動振替の推進との整合性は十分か。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	電子申請システムの導入		体制コード	3-2-1-1				
所管	政策推進課		担当者・内線番号	小林精司・502				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24	実施		H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
<p>平成18年に県内市町村で検討した結果、導入した市町村は5団体であった。現在は新しいシステムも出ており、今後他市の状況を踏まえ検討しなければならないが、費用対効果を含め個人認証を必要とする申請については、申請数や申請の種類などの把握ができていない。</p> <p>しかし、個人認証の必要としない、各種申請やアンケートやイベントの申込等については、比較的安価に構築できるシステムを22年度から導入していく。</p>								
平成22年度中の実施目標(P)								
<p>個人認証の必要ない、各種申請やアンケートやイベントの申込等については、ASPによるシステムを導入する。また、個人認証を必要とする申請等については、各課の申請の種類や申請数等調査し、費用対効果と必要性を検討する。</p>								
平成22年度取組み内容(D)								
平成22年4月から「かんたん申請、申込システム」導入して運用を始めた。								
取組みについての成果(C)								
<p>利用方法について周知し、個別に担当者へもPRしたが、これまでと同様に担当者が取りまとめた方が漏れが無いなどを理由に利用頻度が伸びていない。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<p>利用数が思ったより伸びなかったこと、各課の申請の種類を調査していないことを踏まえて評価した。</p>								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>システムを導入しても、情報担当が主導になってしまうと、利用者が「あれば便利」程度の考え方になってしまい効果が薄れる。また、仕事のやり方を変える必要を感じなければ使おうとしない。</p>								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<p>所管課評価に同じ。 調査・検討は期限を決めて、結論を出すように努めること。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>個人認証を使う申請等については、事前に、関係各課にどのような使い方をするか協議してもらい、利用に結びつける必要がある。そのため、各課に対してシステムの導入が必要かどうかの調査を行う。</p>								
平成23年度取組み内容(D)								
<p>「かんたん申請、申込システム」を運用している。</p>								
取組みについての成果(C)								
<p>かんたん申請・申込利用件数 登録フォーム数 H22:34件 H23:29件 申込、回答数 H22:847件 H23:2,875件</p>								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
登録フォーム数は昨年度に比べ減少したが、申込・回答者数は増加した。理由としては、全職員を対象としたアンケートが複数あったためとみられる。H23年度の登録フォーム数中、市民を対象とした申込・アンケートは6件であり、上記評価とした。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
かんたん申請・申込システムは個人認証を必要とせず、簡易に申込フォーム、アンケート回答フォームを作成できることをPRし利用促進につなげる必要がある。		
平成24年度中の実施目標(P)		
かんたん申請・申込システムの利用について職員向けに研修を行う。個人認証を必要とするシステムについては必要かどうかの調査を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 個人認証を必要とするシステムの調査・検討は昨年度からの目標で、計画が非常に遅れている。 調査・検討は、期限を決めて、結論を出すように努めること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・電算申請システムの導入と施設予約システムの導入は、住民の利便性向上と事務の簡素化の観点から、再度、掘り下げて検討し職員と市民に利用方法等の周知が必要です。また、費用が高額なものは他市町村と連携、共同のサービス提供の検討も必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。 ・かんたん申請、申込システムの導入に際し、その必要性や緊急性・汎用性など十分に評価、検証されたのか。ASPによるシステムを導入するという記述があるが、セキュリティに十分配慮された計画なのか。このシステムを導入するにあたり専用端末を導入するというのであれば、全体の情報政策との整合性は十分か。	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月20日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	施設予約システムの導入		体制コード	3-2-1-2				
所管	政策推進課 情報化推進室		担当者・内線番号	小林精司・502				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24	実施		H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
各施設からの要望もなく実態調査も行っていない。								
平成22年度中の実施目標(P)								
施設担当課を含めシステムの導入の必要性を検討する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
平成22年4月から導入した「かんたん申請、申込システム」の外部利用が進まないことから、具体的な取り組みは行っていない。								
取り組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
取り組みは行っていないが、施設担当課からも導入要望が出ていない。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 調査・検討は期限を決めて、結論を出すように努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
「かんたん申請、申込システム」があまり使われていない状況から、完成品でなければ使わないだろうと思われる。電子申請システムと同様に、各課に対してシステムの導入が必要かどうかの調査から始める。								
平成23年度取り組み内容(D)								
施設からの導入要望も特になく、調査も行っていない。								
取り組みについての成果(C)								
特になし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
特に取り組みを行っていないため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
システムとして必要性を検討する必要がある。		
平成24年度中の実施目標(P)		
システムとして必要性を検討する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
必要性の調査・検証を行っておらず、取り組みが全くなされていないためD評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・施設を利用する住民としては、空き状況を把握でき、事務所に行かなくても申請できるメリットがあります。是非取り組んでほしい。</p> <p>・電算申請システムの導入と施設予約システムの導入は、住民の利便性向上と事務の簡素化の観点から、再度、掘り下げて検討し職員と市民に利用方法等の周知が必要です。また、費用が高額なものは他市町村と連携、共同のサービス提供の検討も必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。</p> <p>・かんたん申請、申込システムの導入に際し、その必要性や緊急性・汎用性など十分に評価、検証されたのか。ASPによるシステムを導入するという記述があるが、セキュリティに十分配慮された計画なのか。このシステムを導入するにあたり専用端末を導入するというのであれば、全体の情報政策との整合性は十分か。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月19日	平成24年6月19日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	携帯電話用の市ホームページの充実		体制コード	3-2-2-1				
所管	政策推進課企画政策室		担当者・内線番号	佐藤克也・531				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
携帯電話用ホームページに掲載すべき追加情報を検討した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
携帯電話用コンテンツの作成・公開を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
新たに「観光情報」、「休日の急患やけがのとき」、「あさひまほろば夢農園」、「緊急時の連絡先」、「各種相談」、「各施設電話番号」の6つコンテンツを作成・公開したほかに、東日本震災関連のコンテンツを作成し、避難所開設状況、物資受入等の情報を随時更新した。								
取り組みについての成果(C)								
職員のスキルアップ								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
緊急時に取得を要する情報を優先に公開したことにより利用者の利便性が高まったと考える。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
コンテンツ数の拡大も必要だが、携帯電話で見やすいホームページの研究が必要								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 コンテンツの更新がされていない(遅れている)ものがあるため、更新に努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
ホームページの新着情報を原則公開していくコンテンツを作成する								
平成23年度取り組み内容(D)								
ホームページの新着情報及びイベント情報を公開し、随時更新している。 路線バス・まちなか循環バスや空き家バンクのコンテンツを開設した。								
取り組みについての成果(C)								
路線バスや空き家バンクなど関心の持てる情報を公開したことで、ホームページへのアクセスも増加している。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>関心のもてるコンテンツの公開により、利便性の更なるアップに繋がっているものと考えられる。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>昨年と同様に見やすいホームページについて検討する必要がある</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>新エネルギーや協働のまちづくりについて公開するためのコンテンツの開設</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>なし</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・携帯電話用のコンテンツは利用者側として、通常のWebサイトよりも即時性・同時性が強く求められるのではないか。(本日の急患受け入れ施設とか、本日の会場別イベント開催一覧など)更新のルーチンワークを再度検討する段階ではないか。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	「むらかみ情報ねっと」の更なる周知・普及		体制コード	3-2-2-2				
所管	総務課 総務危機管理室		担当者・内線番号	川村勇治(313)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	9,640人
	H22			H22	10,000人		H22	10,688人
	H23			H23	15,000人		H23	10,897人
	H24			H24	20,000人		H24	
	後期			加入者数(4月1日)			加入者数(翌年度4月1日)	
平成21年度取組み内容(D)								
市報(毎号)での周知及び、防災講座等での周知を図った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
引き続き周知を図り、登録者数増やす。								
平成22年度取組み内容(D)								
市報(毎号)での周知及び、防災講座等での周知を図った。								
取組みについての成果(C)								
登録者数 1,048人増								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
登録者数は伸びているが目標数に達していないため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
市報等の媒体による周知より、防災講座などの口コミによる周知が効果的ようであるが、防災情報等の生命財産にかかる必要な情報であっても、受信者に受信費用の負担が生じること、受信者が必要としない情報も一方的に配信されるから、広報手段としては今後大幅な伸びは期待できないと考える。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 なお、市民へのより身近な情報伝達手段として取組みを進めるものであり、利用周知と内容の充実に努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き周知を図り、登録者数増やす。								
平成23年度取組み内容(D)								
市報(毎号)での周知及び、防災講座等での周知を図った。								
取組みについての成果(C)								
登録者数 209人増								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
登録者数が微増で目標数に達していないため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>情報告知端末の整備が進み、村上・荒川以外の地区では「むらかみ防災・防犯情報ねっと」によらなくても同じ情報が入手できるようになっており、広報手段としては今後大幅な伸びは期待できないと考える。 「新システム」の構築が必要であるが、情報告知端末との棲み分けについて整理する必要がある。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
携帯電話を活用した新たな情報発信の取り組みと同様の実施目標とする。なお、現在の「むらかみ防災・防犯情報ねっと」については、防災・防犯専用の情報通信手段として認知されているため、新たなシステムが構築されるまで現状のまま運用する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組みは、行っているが目標数値に達しなかったためC評価とした。周知方法を検証し、加入者増加の取り組みに努めること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。 ・情報の取捨選択権を利用者側へ渡す必要性は無い(ヘッダーとテキストリンクのみを当初配信など)</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)		担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
		平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無		
取組内容		携帯電話を活用した新たな情報発信		体制コード	3-2-2-3			
所管		総務課 総務危機管理室		担当者・内線番号	川村勇治(313)			
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
新たな情報発信を検討するための関係各課との協議には至らなかった。								
平成22年度中の実施目標(P)								
新たな情報発信について、関係各課との協議を行う。								
平成22年度取組み内容(D)								
新たな情報発信を検討するための関係各課との協議には至らなかった。								
取組みについての成果(C)								
未実施のためなし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
関係各課との協議には至らなかったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
「むらかみ防災・防犯情報ねっと」は防災・防犯情報など緊急性の高い情報をメールによって配信するものとしてH P上で周知されており、単に周知を目的とした緊急性の低い情報は、受信者によっては趣旨にそぐわないと苦情をいただくことがある。既存の「むらかみ防災・防犯情報ねっと」とは別に、登録者が必要な情報を選択できる情報発信システムを構築または総合情報システムを構築し、防災・防犯情報ねっとを組み込むこと等が有効と考える。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
取組みを行っていないので、D評価とした。 なお、結論を早期に出せるよう、関係各課での協議が必要。								
平成23年度中の実施目標(P)								
情報政策の一環としての協力体制を築く。								
平成23年度取組み内容(D)								
災害・避難準備情報等特に緊急性の高い情報を各携帯電話キャリアから直接配信する緊急速報(通称:エリアメール)の導入に向け、NTTドコモと協議を行い、平成24年度に登録、運用開始することとした。なお、auとソフトバンクについても平成24年度に登録、運用を開始する。								
取組みについての成果(C)								
各携帯電話キャリアから直接配信するため配信基準により特に緊急性の高い情報に限られているが、これにより各携帯電話キャリアの基地局内であれば回線混雑の影響を受けず携帯電話の保有者への配信が可能となった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画されていたものではないが、緊急時に携帯電話へ強制的に情報配信する準備が整ったためBとした。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
緊急時に他の情報に優先して配信しても携帯電話の機種(古いもの)や個人の設定により受信できないため、市においても設定変更のお願い等エリアメールの周知が必要と考える。		
平成24年度中の実施目標(P)		
登録者が必要な情報を選択でき、発信者が市ホームページのコンテンツ更新と同時にメール配信できるようにするため、平成24年度からホームページを担当している政策推進課の主導により新たなシステムと運用方法の検討を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 市としての導入の周知方法を検討の上実施すること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。 ・「携帯電話」というひとつのハードウェアにこだわらず、ソフトウェアによる配信を軸に展開すればハードウェア利用者がそれぞれの持つハードウェアに合致したコンテンツを利用する展開となるのではないか。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

H24.6.1	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成24年6月22日		平成24年6月22日		平成24年7月12日		平成24年8月1日		個別意見 無		
取組内容			観光案内情報システムの構築			体制コード			3-2-2-4		
所管			商工観光課観光交流室			担当者・内線番号			建部昌文・351		
取組時期	H21	検討		目標数値	H21	-		成果数値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23	実施			H23	-			H23	-	
	H24				H24	-			H24	-	
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)											
今年度観光事業のホームページ等のシステム構築をコビキタスタウン構想推進事業として申請したが、不採用となり、現在市の補助事業を受け商工観光課と共に村上市観光協会の中で観光ホームページの構築を行っており、22年度夏の一般公開を目指している。											
平成22年度中の実施目標(P)											
平成22年度のできるだけ早い段階で一般公開できるよう作業を進める。また、ホームページの更新体制を含め研修していく。											
平成22年度取り組み内容(D)											
平成22年7月1日にホームページのリニューアルオープンを迎えることができた。 村上市・村上市観光協会だけではなく、村上商工会議所ほか市内の事業所・個人からも、ホームページの編集会議に参加があり、また外部の有識者から指導を受け、観光情報の提供を行ってきた。											
取り組みについての成果(C)											
平成22年度末には、従来のホームページのアクセス数から5倍程度に増加した。											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
平成22年度中の公開を行い、月1~2回程度の編集会議の開催で有識者からの指導の下、編集員のスキルアップを図ることができた。											
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
編集員が交代で毎日休まず情報を書き込み、また、観光客や市民からの情報や声を書き込まれ、その積み重ねによって、何度ホームページにアクセスしても新着情報があり、日々変化・進化していくホームページになっている。											
平成22年度評価(本部会議)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
更新頻度や内容などが充実していると考えるので、所管課の評価のとおり、B評価とした。 現状、市のホームページとの連動性に乏しいので、その点についても工夫が必要。											
平成23年度中の実施目標(P)											
<ul style="list-style-type: none"> ・月一回程度の編集会議を行い、編集員の増員とスキルアップを図っていく。 ・ホームページのアクセス数を、編集会議としての当初の目標である10倍に近づける。 											
平成23年度取り組み内容(D)											
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回は編集会議を開き、PDCAサイクルにより、より多くアクセスしてもらえるHPづくりに取り組んでいる。 ・スマートフォンで利用できる拡張現実(AR)の技術を使った、ARアプリ「村上旅なび」の配信を実施。ホームページ(村上市観光協会)と連動しているARアプリは県内初。 ・写真技術の向上を図るため、プロカメラマンによる写真講習会を行った。 											
取り組みについての成果(C)											
<ul style="list-style-type: none"> ・村上市、村上市観光協会及び村上商工会議所で構成している村上市観光情報戦略会議で運営しているが、より多くの情報を提供いただくため、編集委員には、構成団体以外の事業所・個人にもなっている。 ・アクセス数は、旧村上市観光協会のHPとの比較で5~8倍になっている。 ・平成24年3月からは、観光客の利便性向上のため、現地でスマートフォンをかざすことで近くの観光施設や観光スポットをエアタグで表示したり、村上市全般の観光施設や観光スポットが確認できるソフト「村上旅なび」を配信している。 											

平成23年度評価(所管)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>・平成22年7月のHP公開から、現在まで情報を毎日更新するとともに、特集記事を工夫し、アクセス数向上を図っている。</p> <p>・ホームページと連動するARアプリを県内で初めて配信。スマートフォンの普及に合わせて、観光客の利便性を図り、誘客に取り組んだ。</p>		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>・HPにアクセスしていただくためには、これまでどおり、日々新しい情報を提供することや見てもらえる特集記事などを掲載していかなければならないが、情報環境は日々進化している。そのため、数年ごとの大幅なソフト改修が必要である。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<p>・毎日更新し、より多くの情報を提供していくため、編集委員(現在37人)の増員を図る。</p> <p>・月一回の編集会議を継続し、PDCAサイクルにより、アクセス数を、当初の目標である10倍に近づける。</p> <p>・より見やすく、操作しやすいHPにするため、ソフトの改修を必要により行う。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>先を見通した情報提供方法の構築など情報発信に力を入れ成果が向上していることは大変評価できる。所管課評価と同様A評価とした。</p> <p>なおソフト改修は、費用対効果を十分に検証し、安易な改修にならないよう留意すること。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月18日	所属長 平成24年6月19日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	事務事業の整理・統合実施		体制コード	3-3-1-1				
所管	下水道課 管理業務室		担当者・内線番号	中村豊昭・神林支所214				
取組時期	H21	実施	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
平成23年度からの市組織改革に合わせて、特に本庁、支所間の事務事業について、整理・統合の検討を行った。								
取り組みについての成果(C)								
2係が統合により1室となることに伴う、課内の業務分担について見直しを行い、組織変化に対応した。また、支所の人員が減員となる状況を踏まえ、支所で行っていた事務事業の本庁への引き上げ、及び引き上げに伴う事務内容の見直しについて見当した。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
事務事業の実施について、特に混乱も無く想定どおりに平成23年度を迎えることができた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
事務事業の整理・統合については、平成23年度中における検討も引き続き必要である。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成22年度に引き続き、事務事業の整理・合理化を図る取り組みを行う。								
平成23年度取り組み内容(D)								
課内の組織改革に対する対応は、特に整理、合理化した事務事業はなかったが、支所との事務事業については、検討・調整を行った。								
取り組みについての成果(C)								
課内の事務事業については、支障なく行うことができた。また、支所との事務事業については、更に検討、調整を行い事務の一部について本庁に集約できた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
取組の性質上、経年により成果が徐々に少なくなることは否めないが、実績を残すことができたことは評価に値すると思う。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
明らかに条件の相違がみられる場合もあり、5地区全部を同一条件で集約できないものもあるが、今後も各支所と調整のうえ可能な限り整理、集約に努めたい。		
平成24年度中の実施目標(P)		
条件の摺合せが可能かどうか検討を要する事務事業については、引き続き各支所との調整を進める。また、今後想定される支所の減員についても、本庁と支所との抜本的な管理区域や所管事務の見直しを進める。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月4日	所属長 平成24年6月6日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	事務事業の整理・統合実施		体制コード	3-3-1-1				
所管	山北支所地域振興課自治振興室		担当者・内線番号	富樫 一男 ・ 227				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
-								
取り組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
-								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成23年度中の実施目標(P)								
-								
平成23年度取り組み内容(D)								
従前より実施していた次の地域自治活動経費の事業費補助及び負担金を、市民協働のまちづくり推進事業へ移行する方向で整理・統合することを検討した。 ・魅力ある集落づくり事業補助 ・人材育成の主催事業補助並びに支援事業補助 ・楽習会の開催 ・さんばく塾活動事業共済負担金								
取り組みについての成果(C)								
上記の検討の結果、当該事業の実施は平成23年度までとした。								
平成23年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
新規事業への移行に関して、関係団体等への当該事業の周知がなされた。								

取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)	
<p>今後は、新規事業のもと具体的な作業に着手し実施していきたい。</p>	
平成24年度中の実施目標(P)	
<p>特になし。</p>	
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p>	
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>	
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等) <input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等) <input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
<p>具体的意見・要望(A)</p>	
<p>なし</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	行政改革大綱実施計画の進捗管理		体制コード	3-3-1-2				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			-	H22		-	
	H23			-	H23		-	
	H24			-	H24		-	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
行革委員会に諮問するため、平成21年度の進捗状況について各課照会を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
行革委員会に諮問し、平成22年度中に答申をいただく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
平成21年度の進捗状況を取りまとめ、行革本部会議において内部評価として確認後、行政改革推進委員会へ意見諮問し、答申をいただいた。								
取り組みについての成果(C)								
各担当で実施項目の検証を行うことで、評価・改善を行う意識の向上につながった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
進捗状況を内部評価し、行政改革推進委員会の意見を答申していただいた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
行政改革推進委員会からの答申にあるとおり、初めての取り組みとして行政内部で評価を行ったことは職員の意識の向上にもつながるものであったが、評価に至った考え方、過程が分かりづらいことなどの指摘があったので改善が必要である。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 ただし、内容の記載については、順次改善に努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
評価の過程が分かるよう進捗管理表の様式を改め、進捗状況について内部評価のうえ、行政改革推進委員会の意見を答申いただく。								
平成23年度取り組み内容(D)								
平成22年度の行政改革推進委員会からの意見で、評価に至るまでの経緯が分かる形式で進捗管理表を定め、行政内部での評価を行った後、行政改革推進委員会へ意見を諮問し、答申を得た。								
取り組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
新たに進捗管理表の様式を定め、項目ごとの評価を行うことで、具体的な取り組み内容が確認できるようになった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由: 取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
委員会の意見を受けて、新たに様式を定めて取り組みを進めた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
個々の取り組み内容を把握し、評価をまとめ、行革委員会からの意見を多数いただくことができた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
進捗管理表については、前年までの内容、意見などが確認できるよう改正しながら、引き続き、前年度実績を内部評価した後、行革委員会の意見をいただく。		
平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 なお、内部評価及び行革委員会答申だけで終わるのではなく、評価・答申を事業に効率よく反映・検証できるような方法を検討すること。		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・作成した進捗管理表は、行政改革推進委員会への提出目的だけでなく部署全体が共通認識し、その取り組み内容がマネジメント・サイクル上で有効に機能する事が重要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	村上市総合計画実施計画の評価・検証制度の創設		体制コード	3-3-1-3				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			-	H22		-	
	H23			-	H23		-	
	H24			-	H24		-	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
評価制度のあり方について、行革委員会へ諮問し、答申をいただく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
行政改革推進委員会へ「村上市における行政外部評価のあり方について」を諮問し、答申を受けた。 答申では、何のために評価を行うのか、また、外部評価委員会(仮称)設置の意義と目的を明確にし、評価が改善へとつながるようスピードを持った取り組みを求められた。								
取り組みについての成果(C)								
評価制度の構築により、徹底した情報公開と、市民が行政に参画する仕組みづくりが期待される。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
これまでに行ったことがない外部評価の取り組みについて、行政改革推進委員会への諮問し、答申を受けたことにより、評価制度構築に向けた取り組みが行えた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
行政改革推進委員会での検討にあたっては、その必要性を十分理解されているがために、外部評価委員会設置の意義と目的を明確にし、評価が改善へとつながるようスピードを持って取り組みを求められているものであり、制度構築に向けた具体的な取り組みが必要と考える。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 評価制度を行うことが目的とならないよう、評価制度の目的や位置づけを明確にしたうえで、取り組みを推進すること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
事務の効率化や今後の財政運営に影響してくるような事業をいくつか選定したうえで、その事業に対するの現状課題から改善方法の検討・実施を行政内部として重点的に取り組み、外部評価の位置づけとともに、財政と連動した評価制度の仕組みを改めて考えていく。								
平成23年度取り組み内容(D)								
行政評価制度構築に向けた取り組みとして、「職員研修」を事例として行政改革推進委員会で外部評価の模擬実施を行った。								
取り組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
模擬実施により、評価制度として一連の取り組みが行えたことで、制度構築への足がかりとなった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由:取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
当初予定した行政内部での事務・事業検討から、行革委員会での模擬実施に変更となったが、制度構築への検証となった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
模擬実施の取り組みについて、行政内部への報告が遅れた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
昨年度の模擬実施から進め、行政改革推進委員会による評価制度の試行運用を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政評価制度が政策決定や予算編成に役立つ情報を提供する仕組みであり、その評価内容がマネジメント・サイクル上で有効に機能する事が重要です。尚、その評価結果は分かりやすく市民に伝える必要があります。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	電子決裁の導入 (財務会計、文書管理、ほか)		体制コード	3-3-2-1 (3-2-1-3、3-2-1-4)				
所管	政策推進課 情報化推進室		担当者・内線番号	小林精司・502				
取組時期	H21	検討	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取組み内容(D)								
財務会計システムの電子決裁は今年度先進地である新発田市を視察し業務の方向性が見えてきたが、文書管理システムについてはまだ検討の段階にも入っていない。								
平成22年度中の実施目標(P)								
財務会計システムについては平成23年度の機構改革による組織編成に向け、機器の調達、システム構築等の作業を進める。								
平成22年度取組み内容(D)								
財務会計については、システム調整及び機器の調達が終わり、運用ができるまでに至った。開始については、会計年度の切替にあわせて、平成23年6月21日からとした。 文書管理については、財務会計と同じ決裁基盤を使っていることから、平成23年度の運用状況を見ながら進めていく。そのため、平成22年度の取組みはなし。								
取組みについての成果(C)								
試行運用を行った結果、文書のPDF化など、他業務でも活用できる事務処理手法を身に付けることができた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
開始年度に遅れは出たが、年度末から年度初めの混乱時期を避けることができ、研修に時間が取れたこと。加えて文書管理システムも開発費用を除けば導入の目処がついたことを踏まえた評価。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
関係課の協力を得て、作業(担当)を分担できたことにより、全体で取り組むことができた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
文書管理システムの導入を前提として、費用を含めた調査を行う。								
平成23年度取組み内容(D)								
財務会計システムの電子決裁を6月21日から運用開始し、安定運用に努めた。								
取組みについての成果(C)								
財務会計システムの電子決裁については安定稼働し、結果、会計伝票の運搬が不要となるとともにペーパーレス化を実現した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>財務会計システムの電子決裁は、職員にも定着し、概ね問題なく運用されている。 一方、文書管理システムについては、導入・運用等についての取り組みを行っていないことから上記評価とした。</p>		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>財務会計システムの電子決裁については、運用開始を6月に設定したこと、十分な研修とフォローを行ったことが安定運用につながったと考えている。 文書管理システムの導入・運用について取り組みを進める必要がある。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<p>文書管理システムの導入・運用について、総務課等関係課と協議を進める。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。 財務会計システムについては、取り組みがよく、職員に混乱が少なく非常に評価できる。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・電子決裁の導入は、ペーパーレス化と決済期間の短縮に有効です。尚、運用上においてパスワードの管理者は、決済者以外の者の「成りすまし」による不正・不祥事の防止対策が重要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・電子決裁にあたり、財務会計については監査資料の整理基準はどう規定されたのか。 ・レスペーパーへの取り組みは。 ・詳細が分かるように記載願いたい。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月19日	所属長 平成24年6月19日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	国県の権限移譲の受け入れ促進		体制コード	3-3-2-2				
所管	政策推進課企画政策室		担当者・内線番号	船山幸文・531				
取組時期	H21	実施	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
新たに6件の事務・権限移譲を受け入れました。 (移譲件数総数:県内20市中17位)								
平成22年度中の実施目標(P)								
職員定数を削減している中ではあるが、市民サービスの向上につながるものについては、積極的に移譲を進めます。								
平成22年度取り組み内容(D)								
県が示す「おすすめメニュー」を中心に各部署へ照会したが、受入はなかった。								
取り組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
受入が無かったため。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
受け入れない理由の検証を行わなかったことが主な原因と考える。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 受け入れない理由の検証などを行い、来年度以降、受け入れを推進できるような仕組みを確立できるよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
一つでも受入を実施したい。								
平成23年度取り組み内容(D)								
第1次、2次一括法の成立により、県からの事務・権限移譲がなされ、また条例の制定・改正義務が課せられることとなったため、法定移譲事務のスムーズな受入れ、条例の適切な制定・改正のための情報提供等を優先し、任意移譲事務についての各課への受入照会を行わなかった。								
取り組みについての成果(C)								
任意移譲事務については、なし。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
任意移譲事務受入れについての実績がなかった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
法定移譲事務を優先したことから、任意移譲受入れについての照会を行わなかった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
住民の利便性向上につながる事務の移譲を各課に呼びかけることにより、一つでも多くの受入れを達成したい。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 住民サービスの向上に向け、任意移譲受入を実施すること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・必ずしも、移譲をうけることが、住民サービスにつながるとは限らない。</p> <p>・国・県の権限移譲の受け入れについては、国・県の分権推進計画と市の定員適正化計画を照らし合わせ、住民に身近な行政サービスから受け入れる事が重要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・「受け入れない理由の検証を行わなかったことが主な原因と考える。」という意味が分からない。</p> <p>・職員数を削減していく中で、受け入れることによる業務量の増加程度や、受け入れることによる住民サービスの向上が期待できるのか、十分検討し結論すべきと思う。</p> <p>・詳細が分からないので、受け入れ対象となっている業務の一覧などを示していただきたい。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)		担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
		平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有		
取組内容		利用者へのアンケート調査内容と備え付け場所の検討、回収箱の設置		体制コード	4-1-1-1			
所管		環境課		担当者・内線番号	土田 孝・272			
取組時期	H21	検討・設置	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
指定管理者制度導入施設(村上火葬場、荒川火葬場)に設置済。								
平成22年度中の実施目標(P)								
既存設置施設は引き続き実施する。 平成22年度から新たに指定管理者制度を導入する山北火葬場に設置する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
既存設置施設は引き続き実施した。 新たに山北火葬場に設置した。								
取り組みについての成果(C)								
利用者の意見を聞くことが出来、施設の改善につながった。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
予定どおり実行されている。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
計画どおり実施されているので、所管課の評価のとおり、B評価とした。 ただし、取り組みの成果については、具体的な取り組み内容や、意見を受けて実施したことによる成果を検証し、記載すること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き継続する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
引き続き実施した。								
取り組みについての成果(C)								
意見・要望の提出はなかった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
意見・要望の提出はなかったことから、適正に管理運営されていると判断できる。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
特になし。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き実施する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・今後も指定管理者制度の導入が増えていく中で、指定管理者制度導入の所期の目的であるコスト削減と、住民サービスの向上を検証する為にも、継続的な住民アンケート調査や懇談会は必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会
	平成24年6月5日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有
取組内容	利用者へのアンケート調査内容と備え付け場所の検討、回収箱の設置		体制コード	4-1-1-1	
所管	介護高齢課		担当者・内線番号	田中和仁 367	
取組時期	H21	検討・設置	H21	-	H21 -
	H22		H22	-	H22 -
	H23		H23	-	H23 -
	H24		H24	-	H24 -
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)
平成21年度取組み内容(D)					
-					
平成22年度中の実施目標(P)					
-					
平成22年度取組み内容(D)					
老人福祉センターあかまつ荘及び老人いこいの家寿山荘で利用者アンケートを実施した。アンケートには、利用者の年代、施設主催の事業要望、施設の満足度などについて、調査を実施しました。					
取組みについての成果(C)					
両施設とも、運営時間等はこのままでよいとの意見が大多数であった。また、職員対応や施設の満足度についても、圧倒的に満足していると答える方が多かった。健康維持に役立てたいとの意見から、老人福祉センターあかまつ荘では、体重計や血圧測定器を導入した(寿山荘は導入済み)。					
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い	
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
利用者の大多数が運営に満足していることが分かったとともに、利用者にはリピーターが多く、新規の方が少ないということがよくわかった。寿山荘は施設が老朽化していることから、多くの意見が寄せられると思っていたが、施設改善に対する要望は少数意見だった。今後の運営に非常に参考となった。					
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)					
意外にも、施設改修を要望されるのは少なかった。ソフト面でどのように利用拡大を図るか今後の課題としたい。					
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い	
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
アンケートの実施については順調に取り組んでいるようなので、所管課の評価のとおり、B評価とした。					
平成23年度中の実施目標(P)					
アンケート未実施の施設に利用者アンケートの設置を拡大したい。					
平成23年度取組み内容(D)					
アンケート結果について、老人いこいの家寿山荘にも掲示し、所管課の回答をQ&Aのようにして掲示した。施設改修についての意見が多いが、予算的な面で実施できない点についても理解を求めた。					
取組みについての成果(C)					
利用者の意見について、多くの方の目に触れる形となり、一層の理解が図れた。					

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>新たな施設にアンケートを実施することができなかった。 集計結果や利用者の意見に対する回答など、目に見える形で掲示したことにより、施設に対する運営への理解が深まった。</p>		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>すべての施設へのアンケート実施はできなかった。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<p>指定管理となった施設に、利用者の意見を取り入れた運営をお願いしている。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>新たな施設への実施はないが、既存施設のアンケート結果と所管の回答が公表され評価できる。 よってB評価とした。 平成24年度中の実施目標にある指定管理導入施設に対してはアンケート実施・回答の公表を徹底させるよう努めること。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・今後も指定管理者制度の導入が増えていく中で、指定管理者制度導入の所期の目的であるコスト削減と、住民サービスの向上を検証する為にも、継続的な住民アンケート調査や懇談会は必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>意外にも「施設改修の要望が少なかった」とあるが、「要望が少ない」で済ませず、行政側で必要と考えているのならそれなりの方策を進めるべきである。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月21日	平成24年6月21日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	利用者へのアンケート調査内容と備え付け場所の検討、回収箱の設置		体制コード	4-1-1-1				
所管	生涯学習課スポーツ推進室		担当者・内線番号	佐藤直人・240				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	設置		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	設置
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
村上地区にて利用者に対するアンケートを検討 【指定管理者側で実施:業務管理仕様書に基づくもの】								
平成22年度中の実施目標(P)								
アンケート回収箱の設置								
平成22年度取組み内容(D)								
アンケート回収箱の設置(1地区のみ)								
取組みについての成果(C)								
施設利用者の意見等を知ることができ、利用者の利便が向上した。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
ニーズに合った施設使用が図られる。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
記入する人より直接口頭で話す人が多いので、呼びかけが必要。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
指定管理者導入時にアンケートの設置をしたということなので、計画どおりのB評価とした。 ただし、設置して回収するだけで終わらないよう、アンケート結果の取りまとめ、検討、反映、結果の公表等を行って いこう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
他地区への設置								
平成23年度取組み内容(D)								
村上地区においては、各施設(村上体育館、山辺里体育館、上海府体育館、市勤労青少年ホーム、岩船連絡所) にアンケート箱を設置した。 また、H23年度から指定管理を開始した神林地区においても、神林総合体育館内にアンケート回収箱を設置して利 用者から意見要望等の把握に努めている。								
取組みについての成果(C)								
利用者からのアンケートにより得られた施設の不具合などについて迅速に補修改善を実施した。 また、サービス面の意見要望等については業務改善に努めた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
アンケートにより得られた意見要望などに基づき、より利用者が施設を使いやすくするため改善を行いニーズに合った施設使用が図られた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
直接口頭で意見要望等を話す人がいるので、アンケート調査への呼びかけが必要である。		
平成24年度中の実施目標(P)		
他地区への設置も検討		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 ただし、昨年度本部会議評価にあるアンケート結果公表実施について附していない。 口頭での意見要望を含めアンケート結果の取りまとめ、検討、反映、結果の公表等を行っていくよう努めること。		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・今後も指定管理者制度の導入が増えていく中で、指定管理者制度導入の所期の目的であるコスト削減と、住民サービスの向上を検証する為にも、継続的な住民アンケート調査や懇談会は必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
なし	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有	
取組内容	アンケート調査の実施 継続して実施		体制コード	4-1-1-2		
所管	環境課		担当者・内線番号	土田 孝・272		
取組時期	H21	実施	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	-
	H24		H24	-	H24	-
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)						
指定管理者制度導入施設(村上火葬場、荒川火葬場)で実施した。						
平成22年度中の実施目標(P)						
既存設置施設は引き続き実施する。 平成22年度から新たに指定管理者制度を導入する山北火葬場で実施する。						
平成22年度取組み内容(D)						
既存設置施設は引き続き実施する。 新たに指定管理者制度を導入する山北火葬場で実施した。						
取組みについての成果(C)						
利用者の意見を聞くことが出来、施設の改善につながった。						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
予定どおり実行されている。						
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
特になし。						
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画どおり実施されているので、所管課の評価のとおり、B評価とした。 ただし、取組みの成果については、具体的な取組み内容や、意見を受けて実施したことによる成果を検証し、記載すること。						
平成23年度中の実施目標(P)						
引き続き継続する。						
平成23年度取組み内容(D)						
引き続き実施した。						
取組みについての成果(C)						
意見・要望の提出はなかった。						

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
意見・要望の提出はなかったことから、適正に管理運営されていると判断できる。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
特になし。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き実施する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・今後も指定管理者制度の導入が増えていく中で、指定管理者制度導入の所期の目的であるコスト削減と、住民サービスの向上を検証する為にも、継続的な住民アンケート調査や懇談会は必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	アンケート調査の実施 継続して実施		体制コード	4-1-1-2				
所管	生涯学習課文化行政推進室		担当者・内線番号	田邊 覚 朝日(213)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>・指定管理施設である郷土資料館・若林家住宅・三之丸記念館・村上歴史文化館でアンケートを実施している。</p> <p>・郷土資料館では、22年度からアンケート設置箇所を戦国武将アンケート(好きな武将に1票を投じてもらう。結果をホームページで公開)を実施した。</p> <p>・市直営の縄文の里・朝日では、継続して実施している利用者アンケートに22年度から体験料金についての項目を追加した。また、アンケート回答者数が年間30前後で推移していたため、22年度末にこれまで1箇所だったアンケート設置及び回収場所を2箇所に増やすとともにアンケートに体験料金の設定について質問項目を設けた。</p> <p>・縄文の里・朝日では、イベント時等の支援市民スタッフ・支援職員にも運営方法等のアンケートを実施し、次回の事業に反映させた。</p>								
取り組みについての成果(C)								
<p>・郷土資料館での取り組みにより館内アンケート回答者数が21年度の554人から735人に増加し、より多くの人の感想・意見・提案等を得ることができ、施設の運営管理、職来館者への対応、次回の事業に反映させることができた。たとえば自主事業の講座の場合の料金設定や講座内容についてなどである。</p> <p>・縄文の里・朝日については、体験料金の設定について質問項目を設けた結果一定の評価を得、23年度はこれまでと同様の料金設定とした。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<p>・アンケートを継続し、アンケート回答者数自体を増やす方策に取り組み、回答内容を事業に反映できたことからB評価とした。</p>								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>・郷土資料館等において指定管理者が実施しているアンケートは新たな視点で時機を得た戦国武将の人気投票を組み合わせることで成果が上がった。</p> <p>・縄文の里・朝日では、質問項目を固定化せずその時に知りたいことを加えることによって新年度の運営に反映することができた。</p>								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<p>所管課評価に同じ。</p> <p>なお、アンケートについては、戦国武将人気投票に限らず、取りまとめの結果や、アンケートが反映された内容を示すことで、より利用者のアンケートに対する意識が上がると思うので、公表の仕方についても工夫して実施すること。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>・いずれの施設でもいかにして多くの人に記入していただくかが課題である。記入場所、来館者への依頼方法(手渡しも含め)、経費の発生しない記入者への見返り(郷土資料館の戦国武将人気投票の結果をホームページで公開する事例を含む)について検討し、とくに22年度末に記入場所を2箇所に増やした縄文の里・朝日の回答数を増やす。</p>								

平成23年度取り組み内容(D)		
<p>・指定管理施設である郷土資料館・若林家住宅・三之丸記念館・村上歴史文化館でアンケートを実施している。</p> <p>・郷土資料館では、22年度から引き続きアンケート設置箇所で開催した戦国武将アンケートを実施(好きな武将に1票を投じてもらう。結果をホームページで公開)したほか、関係する職員へのアンケートの実施により施設管理上の改善点などを上げてもらっている。</p> <p>・市営の縄文の里・朝日では、22年度末からアンケート回収場所を2箇所を増やしたが23年度にその成果は現れていない。</p> <p>・ただし縄文の里・朝日では、紙のアンケート回答は少ないものの来館者との直接会話により意見・要望・提案を聞くようにした。またイベント時等の支援市民スタッフ・支援職員にも運営方法等のアンケートを実施し、次の事業に反映させた。</p>		
取り組みについての成果(C)		
<p>・郷土資料館等でのアンケート回答者数が22年度の735人から637人に減少したが、多くの感想・意見・提案等を得ることができ、施設の運営管理、職来館者への対応、次の事業に反映させることができた。たとえば自主事業の講座の場合の継続の判断や講座内容についてなどである。また、関係する職員へのアンケート回答を踏まえ誘導看板の見直しを行なった。</p> <p>・縄文の里・朝日については、口頭の感想は好意的なものやPRの必要性を述べられることが多く、イベント時には具体的な内容について要望が出される。スタッフアンケートでは、来場者の反応や具体的な改善点が指摘される。これらを活かし次回及び次年度のイベント内容や体験料・物販料金を設定している。</p>		
平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>・アンケートを継続したが、回答者数自体を増やすことができなかった。来館者との会話を心がけることにより多くの人から意見・要望等を直接いただいたが、特に縄文の里・朝日についてはその成果を23年度内の事業に反映できなかったことからC評価とした。</p>		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>・郷土資料館等において指定管理者が実施している戦国武将の人気投票を組み合わせたアンケート方法を継続することにより来館者の興味を引き出し、一定の回答数を得たが、23年度も人気投票状況以外のアンケート結果の公表はできなかった。</p> <p>・縄文の里・朝日では、来館者への紙媒体アンケート記入の呼びかけが不十分だった。ただし体験事業や物販等で来館者と対話の機会が多くあり、これらの機会を活かして直接感想や意見を求めることができた。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<p>・いずれの施設でもいかにして多くの人に記入していただくかが課題である。筆記による匿名性が確保されて初めて得られる苦情等もある。記入場所、来館者への誘導・依頼方法(手渡しも含め)や経費の発生しない記入者への見返りについて改めて検討するとともに、会話による感想や意見等の収集も継続して積極的に行う。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>アンケートの実施を継続して行っているためB評価とした。 アンケートの調査結果に関する評価は、4-1-1-3「アンケート調査結果により有効活用の検討・実施」で評価する。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行政担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等) <input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・今後も指定管理者制度の導入が増えていく中で、指定管理者制度導入の所期の目的であるコスト削減と、住民サービスの向上を検証する為にも、継続的な住民アンケート調査や懇談会は必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等) <input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等) <input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月5日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	アンケート調査結果により有効活用の検討・実施		体制コード	4-1-1-3				
所管	介護高齢課		担当者・内線番号	田中和仁 367				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
老人福祉センターのアンケート内容に、健康管理のために体重計と血圧計の設置要望があり、経費と効果内容を検討したうえで設置した。								
取り組みについての成果(C)								
アンケート結果は集計し、グラフにまとめて施設内に掲示した。Q&Aのように、質問に答えるような書き方で少数意見も掲示した。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
利用者の素朴な質問などに答えることができるとともに、多くの方に施設の運営に参画していただくことができ、十分成果が得られたと感じる。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
十分成果が得られたとともに、施設運営形態に多くの方に賛同いただいた。今後は、少ない意見からアイデアやヒントが見つければよいと思っている。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課の評価のとおり、B評価とする。 ただし、取り組みについての成果については、これは取り組み内容であり成果ではないので、体重計と血圧計の設置のための経費とその利用状況や有効性といった部分の検証を行い、取り組みに対する成果を把握していくよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
アンケート結果の評価から、自主事業内容の企画などを検討し、新規利用者の拡大を図りたい。								
平成23年度取り組み内容(D)								
アンケートの内容について、施設の新築や改修、設備の設置などに関するものがほとんどだった。施設は更新することができないが、入浴湯温をこまめにチェックしたり、カラオケ機器の操作に職員ができる限りお手伝いするなど、できる限り運営努力した。あかまつ荘では、鉄道模型クラブの方に模型走行を公開するなどの新企画も行い、子どもからお年寄りまで楽しんでいただける催しなどもした。								
取り組みについての成果(C)								
東北大震災の中、施設利用が落ち込んだと聞かすが、新しい企画や努力を行った成果によりリピーターが確保され、H22年度に比べ、利用者1000人増加、利用料30万円増を達成した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>新たな企画や内容を生み出すことは非常に難しいと感じた。時間的にも業務的にも制約がある中で、他の業務も行いながら施設の運営を改善したり、新たな手法をチャレンジすることは非常に困難だと感じる。施設職員にも都度、新しい運営方法や事業企画などを求めてきたが、予算がない中難しい面もあった。その中で、前年を上回る結果が出たことはよかった。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>残念ながら、時間的な制約や多数の業務の中、できる範囲も限られており、すべての施設を同様に行うことは困難だった。また、施設の職員体制も非常勤+臨時であり、今以上の努力を求めるのには限界もある。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>指定管理に移行する施設も多く、指定管理者に更なる経営努力をお願いしていきたい。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>アンケートを基に新たな企画を設け、利用者の増加につながったことは大変評価できるのでA評価とした。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・今後も指定管理者制度の導入が増えていく中で、指定管理者制度導入の所期の目的であるコスト削減と、住民サービスの向上を検証する為にも、継続的な住民アンケート調査や懇談会は必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>なし</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会				
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有				
取組内容	アンケート調査結果により有効活用の検討・実施		体制コード	4-1-1-3					
所管	生涯学習課文化行政推進室		担当者・内線番号	田邊 覚 朝日(213)					
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-		
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-	
	H23			H23		-	H23		
	H24			H24		-	H24		
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)			
平成21年度取組み内容(D)									
-									
平成22年度中の実施目標(P)									
-									
平成22年度取組み内容(D)									
<p>・郷土資料館では、館内アンケート及び個別の自主事業ごとにもアンケートを実施し、次回の事業の内容や料金設定等運営に反映させている。</p> <p>・縄文の里・朝日については、集計まで行い一部項目について活用しているものの、全部の項目について詳細な分析・検討・活用までには至っていない。</p>									
取組みについての成果(C)									
<p>・郷土資料館では、館内アンケート及び個別の自主事業ごとにもアンケートを実施し、次回の事業(自主事業の講座の場合の料金設定や講座内容についてなど)に反映させている。</p> <p>・縄文の里・朝日については、体験料金の設定について質問項目を設けた結果一定の評価を得、23年度はこれまでと同様の料金設定とした。</p>									
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
<p>・郷土資料館等指定管理施設については、アンケート回答内容を分析・検討し事業へ反映できたことからA又はB評価が相当であり、市直営の縄文の里・朝日については、アンケートの調査結果内容の詳細な分析・検討は一部の項目にとどまり、全部の項目についての分析・検討・問題解決に取り組むまでには至っていないことからC評価が相当である。これにより総合的にはC評価とした。</p>									
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)									
<p>・郷土資料館でのアンケート回答者数増加策の実施により、より多くの人の感想・意見・提案等を得ることができ、これを詳細に分析・検討したことが施設の運営管理、来館者への対応、事業に反映できた要因である。</p> <p>・縄文の里・朝日については、体験料金の設定について質問項目を設けた結果一定の評価を得、23年度はこれまでと同様の料金設定としたなど一部で成果は出ているが、年度内には利用者アンケートの全体的な分析・検討ができなかった。</p>									
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
<p>直営で管理している施設のほうが取組みが遅れているが、アンケートの取組み自体は進んでいると思われるので、引き続き実施し、分析・検討を行っていくように努めることで、B評価とした。</p> <p>なお、アンケートについては、取りまとめの結果や、アンケートが反映された内容を示すことで、より利用者のアンケートに対する意識が上がると思うので、公表の仕方についても工夫して実施すること。</p>									
平成23年度中の実施目標(P)									
<p>・分析・検討結果を出しやすく、当該施設の運営・事業に直結しやすい質問設定を工夫する。</p> <p>・紙媒体のアンケートだけでなく、利用者から直接口頭でいただいた様々な感想・意見・情報を担当職員全員で共有し、対応できる体制(パソコン上に利用者から聞いた「声」を書き込む場所を設けることや職員会議での情報交換など)を整える。</p>									

平成23年度取り組み内容(D)		
<p>・郷土資料館では、館内アンケート及び個別の自主事業ごとに来館者・利用者アンケートを実施し、次回の事業の内容等運営に反映させているほか、関係する職員へのアンケートも実施している。</p> <p>・縄文の里・朝日については、22年度からアンケート回収箱を2か所に増やしたが23年度は来館者からのアンケートが極端に少なかった。イベント開催時の応援職員及び外部応援スタッフへのアンケートを実施した。これら回答に基づき24年度事業を計画した。</p>		
取り組みについての成果(C)		
<p>・郷土資料館では、館内アンケート及び個別の自主事業ごとにもアンケートを実施し、次回の事業(自主事業の料金設定や講座内容についてなど)に反映させている。これにより継続の希望が多かったことから自主事業「歴史講座」を24年度も継続することとした。関係職員からのアンケートにより誘導看板の見直し等を行った。</p> <p>・縄文の里・朝日については、口頭の感想は好意的なものやPRの必要性を述べられることが多く、イベント時には具体的な内容について要望が出される。スタッフアンケートでは、来場者の反応や具体的な改善点が指摘される。これらを活かし次回及び次年度のイベント内容や体験料・食料金を設定している。</p>		
平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>・郷土資料館等指定管理施設については、アンケート回答内容を分析・検討し事業へ反映していることからA又はB評価が相当であり、市直営の縄文の里・朝日については、口頭による感想やスタッフアンケートを24年度に利用プランの設定や学校訪問、イベント開催日と内容の見直し等の形で反映した結果、イベント等への来場者数アップなどの成果となって表れている。しかし23年度中に反映できなかったことと紙媒体のアンケート回答数自体がごくわずかであることからD評価が相当である。これにより総合的にはC評価とした。</p>		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>・郷土資料館では22年度から「好きな戦国武将」の設問をアンケートに付したことにより安定的な回答者数があり、多くの人の感想・意見・提案等を得ることができている。これを詳細に分析・検討したことが施設の運営管理、来館者への対応、事業に反映できた要因である。</p> <p>・縄文の里・朝日については、来館者への紙媒体アンケート記入の呼びかけが不十分だったが口頭による感想・意見等については職員会議等で共有し課題を共通認識していたことから、24年度事業計画において従来の内容を見直すことができた。その成果が24年度早々の事業に現れている。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<p>・分析・検討結果を出しやすく、当該施設の運営・事業に直結しやすい質問設定を工夫する。</p> <p>・来館者に口頭や手渡しで紙アンケートの記入を呼びかけるだけでなく、話しかけ、会話の中から感想等を求めるようにし、感想・意見・情報を担当職員全員で共有し、職員会議で確認し、その都度改善に活かす。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>直営で管理している施設の取り組みが遅れているが、全体的に取り組みは行われており、アンケート等の要望に費用対効果を検討し、事業に反映しているためB評価とした。</p> <p>なお、昨年度本部会議評価にあるアンケート結果公表について附されていない。次年度はアンケート結果公表についても附すこと。</p> <p>アンケート結果公表が行われていない場合は、口頭等での要望の取り扱いを含め工夫し公表すること。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・今後も指定管理者制度の導入が増えていく中で、指定管理者制度導入の所期の目的であるコスト削減と、住民サービスの向上を検証する為にも、継続的な住民アンケート調査や懇談会は必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
なし	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月5日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	施設利用に関係する団体等との懇談会の実施 継続して実施		体制コード	4-1-1-4				
所管	介護高齢課		担当者・内線番号	田中和仁 367				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取組み内容(D)								
<p>養護老人ホームやまゆり荘で入所者との面接を継続して行っている。施設への要望や本人の状況などを面接しながら聞き取りし、施設と入所者の調整をする。</p>								
取組みについての成果(C)								
<p>入所者は概ね施設に対して苦言などはない。むしろ感謝の言葉が多い。施設には言えない悩みや要望も聞く機会となっており、施設と入所者の調整機能として役立っている。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<p>今後も継続して実施する予定であり、目的が達成されている。</p>								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>養護老人ホームは、身寄りのないお年寄りもいることなどから、家族に対し思いを伝えることができない人や知的障害などで思いを伝えられない難しい面接を行うこともある。このような困難ケースは年々増えており、職員のスキルアップが必要と感じる。</p>								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<p>所管課評価に同じ。 なお、「職員のスキルアップが必要」としているため、スキルアップのための計画的で具体的な取組みを検討すること。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
継続して実施する。								
平成23年度取組み内容(D)								
<p>入所者との面接は継続して実施中。 職員スキルアップについては、毎月、テーマと担当者(施設職員)を決め、職員研修を行った。研修内容は、食事、病気、メンタルヘルス、施設管理、介護など多岐にわたった。 高齢福祉施設(あかまつ荘、寿山荘など)の中心利用者である老人クラブに意見を聴取したところ、あかまつ荘の物置庫の改修と寿山荘の空調設備追加であり、施設改修が主であった。</p>								
取組みについての成果(C)								
<p>職員が担当となり、テーマに基づき研修を進めるため、研修に自ら取り組む姿勢が強く、スキルアップに大変効果が上がっている 利用者の要望は、事業内容よりも施設改修への要望が大きく、すぐに対応できるものではなかった。</p>								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
職員同士で刺激し合うことで、研修の成果が上がっている。 施設改修への要望は、すぐに対応できるものではなかった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
今後も同様に取り組んでいく予定。		
平成24年度中の実施目標(P)		
指定管理に向け、事務作業を行っている。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
課題であった職員スキルアップに対する取り組みも行われており、計画どおり実施しているのでB評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・今後も指定管理者制度の導入が増えていく中で、指定管理者制度導入の所期の目的であるコスト削減と、住民サービスの向上を検証する為にも、継続的な住民アンケート調査や懇談会は必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
「職員のスキルアップが必要」とある。この意見を人材育成に活用できるよう、職員研修担当部署と問題点の共有、連携システムの確立が必要と感じられる。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	懇談会等での意見集約による有効活用の検討・実施		体制コード	4-1-1-5				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
(具体的取組事例なし)								
取り組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
-								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
具体的取組事例なしのため								
平成23年度中の実施目標(P)								
-								
平成23年度取り組み内容(D)								
(具体的取組事例なし)								
取り組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
-								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由: 取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
-		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
-		
平成24年度中の実施目標(P)		
-		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
具体的取組事例なしのため 4-1-1-4「懇談会の実施」の取り組みを行っているところも非常に少ない。4-1-1-4と併せて実施できるような体制を構築すること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・今後も指定管理者制度の導入が増えていく中で、指定管理者制度導入の所期の目的であるコスト削減と、住民サービスの向上を検証する為にも、継続的な住民アンケート調査や懇談会は必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
なぜ、具体的取り組みがなかったのか。内容が全く分からない。	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月18日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	支所・学校の空きスペースの確認 有効利用の検討		体制コード	4-1-2-1 4-1-2-2				
所管	学校教育課学校施設係		担当者・内線番号	大滝 寿 朝日支所228				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
地域振興課で取りまとめ(確認の結果、学校には空きスペースが無い、との趣旨で依頼)								
平成22年度中の実施目標(P)								
毎年度確認を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
施設台帳の整備時に学校の空きスペースも確認した。								
取り組みについての成果(C)								
常に状況が把握できている								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
確認については計画通りに事務が進んでいるため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
施設台帳の整理基準日が5月1日であるため、年度当初に各学校の状況が把握できてよい。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
村上事務所管内の旧門前谷小学校と旧山辺里小学校の利用については、秋から検討委員会を立ち上げて利用について協議する予定のため、プラン決定の際には活用できるよう事務を進める。								
平成23年度取り組み内容(D)								
諸事情により検討委員会の立ち上げができなくなり、教育委員会独自の検討となる。 教育総務室で利用希望に関する取りまとめを実施した。また、外部団体からの利用も複数寄せられているとのことである。								
取り組みについての成果(C)								
教育総務室で利用希望等を集約したことにより利用意向を確認できた。 年度当初は学校施設係が対応するよう指示があったが、係としての事務対応はなく今後も不明である。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>施設の利用希望を集約したことにより意向が確認でき参考となったが、利用方針や利用団体の決定には至らなかった。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>諸事情により利用方針や利用団体の決定には至っていないが、1年を経過し、決定の際には速やかに活用できるよう事務を進める。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>決定の際には速やかに施設活用できるよう事務を進める。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>利用を要望する団体が複数寄せられているにも関わらず、委員会での検討・方針決定がなく、非常に遅れているためD評価とした。 平成24年度中の実施目標のとおり方針を決定させること。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・活用法確定後は内外の管理はどうするのか。 ・環境問題もあるので管理を徹底してもらいたい。 ・旧支所、学校の空きスペースの有効活用していくべき。 ・新しい建物を造るのもよいが今ある建物のスペースを市民が利用できるよう案を練り、運用していければよいと思う。 ・市民やNPO法人等の民間を含めた検討委員会を、設置する事が考えられます。また、学校の空きスペースについては、託児所、学童保育、中間教室等での活用が考えられます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・空きスペースの活用法を公開し使用法などを募集してみてもどうか。 ・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	支所・学校の空きスペースの確認		体制コード	4-1-2-1				
所管	荒川支所 地域振興課		担当者・内線番号	小林 政一・245				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
旧保健室が空きスペースであり、活用できることを確認した。								
取り組みについての成果(C)								
合併当初、一時、職員組合事務所としての使用申請があったが、別の場所を利用することとしたため、緊急的な、一次利用場所として活用していたが、書庫等の整理により、当該場所を空きスペースとして確認することが出来た。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
文書保管場所等の整理により、順次、空きスペースを確保することが出来ている。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
課の統合に併せた配置の移動により、空きスペースとなり長期的に利用できる場所の確認を行っていく。								
平成23年度取り組み内容(D)								
2階事務フロアの一部について、長期的に利用できる場所であることを確認した。								
取り組みについての成果(C)								
課の統合により空きスペースとなった2階事務フロアの一部について、長期的に利用できる場所であることを確認することが出来た。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
課の統合により、順次、空きスペースを確保することが出来ている。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
特になし。		
平成24年度中の実施目標(P)		
配置等の移動により、空きスペースとなり長期的に利用できる場所の確認を行っていく。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・市民やNPO法人等の民間を含めた検討委員会を、設置する事が考えられます。また、学校の空きスペースについては、託児所、学童保育、中間教室等での活用が考えられます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・空きスペースの活用法を公開し使用法などを募集してみてもどうか。 ・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	支所・学校の空きスペースの確認		体制コード	4-1-2-1				
所管	神林支所 地域振興課		担当者・内線番号	佐藤 博 内線271番				
取組時期	H21	検討	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
【神林支所】 旧議場、旧議員控室が空きスペースとして確認した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
【神林支所】 旧議場、旧議員控室が空きスペースとして確認し、活用できることを確認する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
【神林支所】 旧議場、旧議員控室が空きスペースであり、長期的に活用できることを確認した。								
取り組みについての成果(C)								
中学生と市長とのふれあいトークで、旧議場を使用した。利用人数は中学生22人とどまったが、議場での発言は貴重な体験につながった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
長期的な空きスペースであると確認できた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
長期的な空きスペースとして確認できたが、形状等については現状のままとせざるを得ないと感じた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課の評価のとおり、B評価とした。 なお、確認だけでなく、活用についても検討すること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度においても、長期的に空きスペースとなるか確認する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
旧議場・旧議員控室・正副議長室が空きスペースであり、長期的に空きスペースとなるかを確認した。 また、旧村長室の空きスペースも確認した。								
取り組みについての成果(C)								
旧議場は市議会常任委員会や地域区長会等の公的会議の利用ができることを確認した。旧議員控室は会議利用者の休憩室としての利用や公的外郭団体のミーティングルームとしての利用が可能であることを確認した。 また、旧村長室での来賓接待と人事考課制度導入による職員面談等で利用できることを確認した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
旧議場・旧議員控室・旧正副議長室・旧村長室の長期的空きスペースがあると確認した。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
旧議場・旧議員控室・旧正副議長室・旧村長室の長期的空きスペースを確認した。平成24年度から村上市無料弁護士相談室として利用できるかを検討し、旧正副議長室が条件的にも最良あることを確認した。 また、旧議場・旧議員控室・旧村長室も構造的に特殊なため、現状のままでの利用方法でやむを得ないことを実感した。		
平成24年度中の実施目標(P)		
平成24年度から、旧正副議長室を村上市の無料弁護士相談室として週2回利用することで決定し、5月より開室する予定。旧議場は区長会等の公的会議の利用。旧議員控室は会議時の休憩場所としての利用や公的外郭団体等のミーティングルームとして活用する。また、旧村長室は来賓接待室や職員面談等の利用ができることを確認した。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 ただし、取り組み内容は内部利用を目的としたものではない。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・神林支所、旧議場を借りて会議を開いたが大変良い。活用すべき。 ・市民やNPO法人等の民間を含めた検討委員会を、設置する事が考えられます。また、学校の空きスペースについては、託児所、学童保育、中間教室等での活用が考えられます。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・空きスペースの活用法を公開し使用法などを募集してみてもどうか。 ・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。 		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	支所・学校の空きスペース有効利用の検討		体制コード	4-1-2-2				
所管	荒川支所 地域振興課		担当者・内線番号	小林 政一・245				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取組み内容(D)								
空きスペースとして確認を行った「旧保健室」については、今年度においては、有効な利用には至らなかった。								
取組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
具体的な有効利用を図られなかったため、今後とも、庁舎のセキュリティの確保を保ちながら、有効利用に向けた検討を行っていく。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
外部団体の利用に向けては、なお、庁舎のセキュリティの確保が難しいという問題がある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課の評価のとおり、C評価とした。 なお、早期に有効活用が図られるよう、セキュリティの問題等について、関係各課での協議が必要。								
平成23年度中の実施目標(P)								
「旧保健室」の有効利用を図る。								
平成23年度取組み内容(D)								
「旧保健室」の利用については、平成23年度から地域公共交通推進協議会の荒川地域公共交通のオペレーター室として使用された。								
取組みについての成果(C)								
地域公共交通のオペレーター室として使用されたことにより、空きスペースの有効利用が図られた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画通り具体的な空きスペースの有効利用が図られたことを踏まえて、今後とも、庁舎のセキュリティの確保を保ちながら、有効利用に向けた検討を行っていく。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
やはり外部団体・民間団体の利用に向けては、庁舎のセキュリティの確保が難しいという問題が残る。		
平成24年度中の実施目標(P)		
2階事務フロアーの一部について、その有効利用を図る。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・旧支所、学校の空きスペースの有効活用していくべき。 ・新しい建物を造るのもよいが今ある建物のスペースを市民が利用できるような案を練り、運用していければよいと思う。 ・市民やNPO法人等の民間を含めた検討委員会を、設置する事が考えられます。また、学校の空きスペースについては、託児所、学童保育、中間教室等での活用が考えられます。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<ul style="list-style-type: none"> ・前例にこだわらず、有効活用できる方法を積極的に考えるべき。 ・場合によっては壁を設置する方法なども検討してみたい。 ・合併に伴い、各公共施設の空きスペースがあるにもかかわらず、有効活用を置き去りにしている感が強い。 ・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。 	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)		担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
		平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有		
取組内容		支所・学校の空きスペース有効利用の検討		体制コード	4-1-2-2			
所管		神林支所地域振興課		担当者・内線番号	佐藤 博 内線271			
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
〔神林支所〕 定例議会の委員会を市民に身近で開催することができた。また、ふれあいトークの会場として利用することができた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
会議会場等の公用での利用、学校等からの使用要望に対応していきたい。								
平成22年度取り組み内容(D)								
会議会場等の公用での利用、区長会の使用要望に対応することとした。								
取り組みについての成果(C)								
区長会を旧議場で開催することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
利用は40人にとどまったが、区長会を旧議場で開催できた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
旧議場については、形状を基に利用するのは人数的にも制限がある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
区長会等公的な会議の場として利用検討をする。								
平成23年度取り組み内容(D)								
旧議場は公的外部団体の会議会場および講堂としての使用要望に対応することとした。 また、旧正副議長室は村上市無料弁護士相談室としての使用要望に応えることとした。旧議員控室は会議利用者の休憩室として利用した。旧村長室は職員面談の使用要望に対応することとした。								
取り組みについての成果(C)								
旧議場で市議会常任委員会や地域区長会等の会議を開催することができた。 また、旧議員控室は会議利用者の休憩室として使用したほか、旧正副議長室は平成24年度から村上市無料弁護士相談室として開室する方向で進めることができた。 旧村長室は来賓の接待、人事考課制度に伴う職員との面談会場として利用することができた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>旧議場の計画的な利用を図り、述べ6回、350人の利用ができ、地域区長会からは好評を得た。旧議員控室については会議時の休憩室としての利用を図った。</p> <p>また、旧正副議長室は村上市無料弁護士相談室として平成24年度から開室することで空スペースの解消となったほか、旧村長室は人事考課等の職員面談で利用し評価を得た。</p>		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>旧議場・旧議員控室及び旧村長室は、現状を改修しない限りは利用する用途が限られ、活用方法にある程度の制限が必要であるのではないかと。また、旧正副議長室は現状のまま村上市無料弁護士相談室として活用できる予定である。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<p>旧議場は区長会等の公的外部団体の会議や講演会等で積極的利用を検討する。旧議員控室は会議等の休憩室としての利用や職員及び公的 external 団体のミーティングルームとして利用を図る。</p> <p>また、旧正副議長室は平成24年度から村上市無料弁護士相談室として開室、利用者の利便性向上に向け努力していくほか、旧村長室の利用向上を図るため、来賓接待としてや人事考課制度等の職員面談で利用を図る。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p> <p>ただし、取り組み内容は内部利用を目的としたものではない。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・旧支所、学校の空きスペースの有効活用していくべき。</p> <p>・新しい建物を造るのもよいが今ある建物のスペースを市民が利用できるような案を練り、運用していければよいと思う。</p> <p>・市民やNPO法人等の民間を含めた検討委員会を、設置する事が考えられます。また、学校の空きスペースについては、託児所、学童保育、中間教室等での活用が考えられます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・前例にこだわらず、有効活用できる方法を積極的に考えるべき。</p> <p>・合併に伴い、各公共施設の空きスペースがあるにもかかわらず、有効活用を置き去りにしている感が強い。</p> <p>・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月6日	平成23年6月6日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	支所・学校の空きスペース有効利用の検討		体制コード	4-1-2-2				
所管	総務課・朝日支所地域振興課総務管理室		担当者・内線番号	菅原明・204				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
H22年4月に朝日商工会の事務局長から、自施設の老朽化を理由に、市朝日支所内に事務所機能を移転できないかとの打診があった。具体的には、正面玄関近くの旧会計課スペースと旧収入役応接室を希望している。可か不可かの回答及び可の場合は条件提示と実施時期の調整を要する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
総務課と協議の結果、社会福祉協議会などごく一部の団体以外への貸出しの前例がないため、十分な検討が必要とのことで、回答は保留となっている。								
取り組みについての成果(C)								
回答は保留中なので成果なし。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
庁舎内に他団体が入るといことにはセキュリティーを始めとして種々の問題があること、機関、団体によって可とするか不可とするかの線引きが非常にデリケートで難しい作業であるため、慎重な検討が必要と思われる。結論が出ていないことから自己評価「C」とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
当該団体には、あらかじめ検討に時間を要する旨の話はしてあり、クレーム等はないが、できるだけ早い時期に回答できるよう関係課で協議を進める必要がある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課の評価のとおり、C評価とした。 なお、村上市としての結論を早期に出せるよう、関係各課での協議が必要。								
平成23年度中の実施目標(P)								
村上市として早期に結論を出し、回答する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
H22と取り組みは同じで、商工会への回答は保留となっている。 選挙の期日前投票所を庁舎内の「男子休憩室」からここにH23変更した。また、通常時は会議室としても利用できるようにした。 例えば商工会へ貸すことになった場合でも、それまでの間は期日前投票所や会議室として利用する予定である。								
取り組みについての成果(C)								
商工会への回答は保留中なので成果なし。 期日前投票所や会議室としての利用成果は、今までの期日前投票所を準備するための委託費(予算100千円)が必要なくなった。1階で会議ができる部屋ができ、住民や職員の利便性の向上が図られた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>商工会への貸付に関することについては、H22と同じのため評価は「C」とした。 期日前投票所や会議室の利用については、空きスペースの有効活用にあてはまると思うが、商工会への貸付が決着してからの評価になる。</p>		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>商工会への貸付に関することについては、H22と同じ。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<p>商工会への貸付については、村上市として早期に結論を出し、回答する。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>商工会への結論は早急に出し、回答すること。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・旧支所、学校の空きスペースの有効活用していくべき。 ・新しい建物を造るのもよいが今ある建物のスペースを市民が利用できるような案を練り、運用していければよいと思う。 ・市民やNPO法人等の民間を含めた検討委員会を、設置する事が考えられます。また、学校の空きスペースについては、託児所、学童保育、中間教室等での活用が考えられます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・前例にこだわらず、有効活用できる方法を積極的に考えるべき。 ・場合によっては壁を設置する方法なども検討してみたいと思う。 ・合併に伴い、各公共施設の空きスペースがあるにもかかわらず、有効活用を置き去りにしている感が強い。 ・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	支所・学校の空きスペース施設利用開始		体制コード	4-1-2-3				
所管	神林支所地域振興課		担当者・内線番号	佐藤 博 内線271				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23	-	
	H24		H24	-		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
会議会場等の公用での利用、区長会・学校等からの使用要望に対応していきたい。								
平成22年度取り組み内容(D)								
会議会場等の公用での利用、区長会からの使用要望に対応できた。								
取り組みについての成果(C)								
区長会を旧議場で開催することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
区長会を旧議場で開催したが、利用は40人とどまったが、区長に旧議場が空きスペースとして利用できるということを知らせることができた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
旧議場については、形状を基に利用するのは制限があり、また人数的にも限りがあるという意見を受けた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
会議会場等の公用での利用、区長会・学校等からの使用要望に対応していきたい。								
平成23年度取り組み内容(D)								
旧議場は会議会場等の公用での利用、区長会からの使用要望に対応した。 また、旧正副議長室は平成24年度の村上市無料弁護士相談室、開室に向けた取り組みを図るほか、旧村長室では人事考課制度の職員面談で利用を図った。								
取り組みについての成果(C)								
旧議場は市議会常任委員会2回60人、区長会3回150人、職員訓示等2回140人 述べ350人の利用を図った。旧議員控室においては、会議利用者の休憩室として利用した。 また、旧正副議長室は平成24年度村上市無料弁護士相談室として開室に向け進めたほか、旧村長室は職員面談に2回20人利用した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>旧議場・旧議員控室の計画的な利用をはかり積極的に活用した結果、地域区長会からは好評を得た。 また、旧正副議長室の村上市無料弁護士相談室の平成24年度からの開室は村上市民としての利便性からも評価できるものがある。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>旧議場の計画的な利用を図り積極的に活用した。旧議員控室は会議利用者の休憩室として利用を図った。 また、旧正副議長室は村上市無料弁護士相談室そして平成24年度から開室することとなったほか、旧村長室においても面談等の利用を図った。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>旧議場は区長会等公的の外部団体の会議や講演等で公用利用、区長会等の使用要望に対応して積極的利用を図る。旧議員控室は会議利用者の休憩室としての利用や職員及び公的の外部団体のミーティングルームとして利用を図る。 また、旧正副議長室は村上市無料弁護士相談室として利用促進にを図るほか、旧村長室においては来賓接待や人事考課制度等の職員面談や職員相談等に利用を図る。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。 ただし、取り組み内容は内部利用を目的としたものではない。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・市民やNPO法人等の民間を含めた検討委員会を、設置する事が考えられます。また、学校の空きスペースについては、託児所、学童保育、中間教室等での活用が考えられます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月21日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	指定管理者制度の活用 【精神障害者地域活動支援センターやまびこの家】		体制コード	4-2-1-2				
所管	福祉課		担当者・内線番号	53-5555 やまびこの家所長 相馬啓子				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
-								
取り組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
-								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成23年度中の実施目標(P)								
-								
平成23年度取り組み内容(D)								
平成24年4月1日開始の障害者自立支援法に基づく施設運営形態移行に向けて、関係機関との調整を図ると同時に、指定管理者制度導入(限定)に向けての段階的基礎作りの調整を行った。 また精神障害者の社会復帰・社会参加のため、作業や福祉サービス提供の他、住みやすい環境づくりのため、地域に向けた交流事業を開催した。								
取り組みについての成果(C)								
法改正による施設運営形態移行については、施設利用者・家族等からも苦情や不満等なく、スムーズに変更できた。指定管理者制度導入を目指して、具体的調整へのスタートが確認できた。 また施設利用者へ提供している作業については、一人平均月額目標額7,000円を上回り、7,118円となった。地域交流促進事業については、200人の来場者があった他、関係機関との連携強化にもつながった。								
平成23年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
運営形態移行に際して、家族団体等を中心に十分な説明と意見交換ができた。 指定管理者制度導入のための協議については、基礎作りとして、計画的に進めることができた。 また、確実な作業納品状況維持のための利用者支援により、安定的に作業を提供することができた。								

<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p> <p>今後も、精神障害者を支える地域生活支援施設として、事業形態・利用者の状況・円滑な施設運営からも、他の関連機関と連携しながら、現状の利用サービスを維持していくことが必要。 また作業等の福祉サービス提供により、利用者の就労維持、病気再発の予防や症状の安定など、地域生活維持につながっている。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p> <p>後期実施計画における指定管理者制度導入(限定)に向けて、利用者や家族・家族会等への説明の機会を設けながら、関係機関と計画的に協議をすすめ、業務委託をはさんだスムーズな移行を検討する。 また、精神障害者の安定的な地域生活維持のため、今後も作業活動を中心として、福祉サービスを提供する。</p>		
<p>平成23年度評価(行革担当)(C)</p>	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p>		
<p>平成23年度評価(本部会議)(C)</p>	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
<p>行革委員会個別意見(C)</p>	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等) <input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等) <input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p> <p>なし</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月21日	所属長 平成24年6月21日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	外郭団体等を指定するもの 【学童保育所等福祉関係、スポーツ・文化施設】		体制コード	4-2-1-2				
所管	生涯学習課スポーツ推進室		担当者・内線番号	佐藤直人・240				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
-								
取り組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い					
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
-								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成23年度中の実施目標(P)								
-								
平成23年度取り組み内容(D)								
村上地区の体育施設の管理運営を「ウェルネスむらかみ」に限定して指定している。 さらに、H23年度からは神林地区の体育施設の管理運営を「希楽々」に限定して指定を行った。								
取り組みについての成果(C)								
村上地区及び神林地区においても民間事業者の管理運営等のノウハウを用いた経費の軽減と住民サービスの更なる向上が図られた。								
平成23年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い					
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
村上地区の体育施設は指定管理により適正に管理運営がなされている。 また、神林地区の指定管理者についても、自主努力で節電を図ったり効率の良い設備の運転に務め適正に管理運営にあたっている。また、利用者のニーズに合った施設利用が図られている。								

取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
人件費(指定管理費)の固定化による適材確保が課題である。		
平成24年度中の実施目標(P)		
指定管理施設の経費の軽減と住民サービスの更なる向上。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおり取り組みをしているのでB評価とした。 なお、他地区体育施設についても明確な期間を決め取り込むこと。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月14日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	地域密着型で地区限定するもの 【児童遊園地、農村公園等】		体制コード	4-2-1-3				
所管	福祉課 子育て支援室		担当者・内線番号	布施久美子 (243)				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	0件
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
神林地区農村公園・児童公園の各集落への指定管理者制度導入を目指し、各集落区長へ説明を行った。								
取り組みについての成果(C)								
水道料の各集落負担、責任の所在等の問題で各集落区長に理解が得られず、指定管理者制度の導入には、至らなかった。他地区の農村公園等の指定管理者協定期限にあわせ、平成26年度の導入を目指し、各集落へ理解を得られるよう、働きかけを行う。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
他の地区との整合性等の検討が不足であり、旧市町村間での対応の違いから、経費負担について等の理由で各集落への理解が得られなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
それぞれの地区での設置の際の経緯が違うため、各地区を同一基準で指定管理者の導入を行うことが難しいと感じた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課の評価のとおり、D評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成24年度から荒川地区の児童公園の指定管理者制度導入に向けて、神林地区との整合性を含め、十分検討を行い、関係集落への理解を得られるよう、説明会を行い、準備を行う。								
平成23年度取り組み内容(D)								
荒川地区について、神林地区と同様、平成26年度の導入を目指すこととし、関係者への説明を行った。神林地区では、要望等を把握するため、各集落に対しアンケートを行った。								
取り組みについての成果(C)								
平成22年度の神林地区での協議により、荒川地区のみを導入することができなかった。改めて、整合性をはかり、同様に対応することとした。 神林地区での、アンケートにより、各集落の要望が確認された。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
平成22年度の神林地区での協議により、荒川地区のみを導入することができなかった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
神林地区と整合性を図るため、荒川地区においても導入することができなかった。 神林地区で行ったアンケートにより、集落のいろいろな考え方を把握することができた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
荒川支所・神林支所の地域福祉課が主体となって、運営についての方向性を再度検討し、平成26年度導入に向けて、準備を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
平成23年度中の実施目標より後退しているためD評価とした。 現在指定管理を導入している公園施設との管理方法の整合性があるので目標どおり指定管理制度を導入に努めること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月21日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	地域密着型で地区限定するもの 〔児童遊園地、農村公園等〕		体制コード	4-2-1-3				
所管	農林水産課 農業振興室		担当者・内線番号	山田 広良 内線344				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年度より5箇所の農村公園を地区の公園として、一定の管理権限をもって自主的な運営を行うため地区による指定管理とした。また、門前せせらぎ公園は都市部住民との交流機会の拡大と地区の活性化の推進を目的とし、海府ふれあい広場はさらに地域特産品の消費拡大につながる運営を目指して指定管理とした。								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度より荒川地区を指定するための準備を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
荒島地区・海老江・切田・佐々木の荒川地区農村公園の他、高根交流広場及び大須戸ため池農村公園管理団体を指定管理者に指定。								
取り組みについての成果(C)								
朝日地区の2公園は当初予定していなかったが、有償による指定管理として指定した。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
朝日地区の公園の指定管理を前倒して指定できた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
門前せせらぎ公園においてはホタルの保護育成に取り組んでおり、鑑賞者の利用もあり年々利用者数(H20:6067人、H21:9344人、H22:9585人)が増加している。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、当該集落を対象にした限定指定であるため、所管課には市民に対する十分な説明を行い、行き違い等がないよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成21年度からの指定管理期間は今年度で終了するため、指定管理を更新するにあたり有償の施設について料金の検討を行う。								
平成23年度取り組み内容(D)								
平成24年度からの指定管理更新にあたり、門前せせらぎ公園については前年度下水道の接続により浄化槽維持管理費との差額による減額を行った。また、海府ふれあい広場は平成24年度に下水道接続を予定しており、その際に料金の見直しを行う。								
取り組みについての成果(C)								
門前せせらぎ公園と海府ふれあい広場の更新にあたり、有料指定期間を3年から5年間へ延長した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
サービスの継続性確保、指定管理のリスク軽減等を勘案して指定管理期間を5年とした。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
海府ふれあい広場を今後も指定管理とするためには後継者難の問題があり、指定管理改定においても検討事項となる。		
平成24年度中の実施目標(P)		
海府ふれあい広場において、下水道接続に伴い浄化槽維持管理費との差額と合わせ、委託内容を精査した指定管理料改定を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	地元企業等の条件付公募で選定するもの【火葬場、朝日みどりの里、ゴルフ場】		体制コード	4-2-1-4				
所管	環境課		担当者・内線番号	土田 孝・272				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
村上火葬場「無相院」及び山北火葬場で実施した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
し尿処理場の指定管理者の選定を「合特法」に係る代替業務として、関係する業者で行いたい。								
平成22年度取り組み内容(D)								
し尿処理場の指定管理者を「合特法」に係る代替業務として、関係する業者で組織される企業体に選定した。								
取り組みについての成果(C)								
「合特法」に基づく代替業務として、市内収集運搬4業者で設立した企業に業務を提供した。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
予定どおり実行されている。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成24年度に指定管理者を更新する荒川火葬場の準備を行う。								
平成23年度取り組み内容(D)								
荒川火葬場「普照園」で実施した。(条件付き公募とはしなかった。)								
取り組みについての成果(C)								
選定の結果、新たな業者を指定することとなった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
平成23年度からは財政課で選考手続きが行われたため、当課の業務が少なくなった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
特になし		
平成24年度中の実施目標(P)		
平成25年度に指定管理者を更新する村上火葬場、山北火葬場の準備を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおり行われているためB評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)		担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
		平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無		
取組内容		地元企業等の条件付公募で選定するもの【火葬場、朝日みどりの里、ゴルフ場】		体制コード	4-2-1-4			
所管		商工観光課観光交流室		担当者・内線番号	351・建部昌文			
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
<ul style="list-style-type: none"> 第4回定例会で、条例改正案を提出する。 規則改正案を作成し、規則の改正を行う。 業務仕様書作成等の準備を進める。 								
平成22年度取り組み内容(D)								
【朝日みどりの里】 <ul style="list-style-type: none"> 第4回定例会で、条例改正案を提案し、議決された。 規則改正案を作成し、規則改正を行った。 業務仕様書作成等の準備を進めた。 								
取り組みについての成果(C)								
<ul style="list-style-type: none"> 条例改正については、当初予定どおり、第4回定例会に提案し、議決された。 規則改正についても、年度内に終わることができた。 業務仕様書作成等に着手して、準備を進めた。 								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<ul style="list-style-type: none"> 条例改正及び規則改正については、着手した結果、計画どおり進んだ。 業務仕様書作成等については、思ったほど進まなかった。 								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<ul style="list-style-type: none"> 年度末に、業務仕様書作成等に取り組んだが、新年度の準備や年度末の整理業務と重なり、思いどおりには進まなかった。 								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
平成22年度中の取り組みについては予定どおり進んでいるため、所管課の評価のとおり、B評価とした。今年度については、かなり規模の大きい施設のため、十分な検討の時間が取れるよう、早めの取り組みに努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成24年4月1日から、指定管理されるよう、地元企業や会社などの条件を付して公募を行う。								
平成23年度取り組み内容(D)								
【みどりの里】 <ul style="list-style-type: none"> 仕様書等を作成し、条件を付して指定管理者の公募を実施した。 選定委員会を経て、議会の議決を受けた。 4月1日からの指定管理に向けて、事務の引継ぎを行った。 【あらかわゴルフ場】 <ul style="list-style-type: none"> H23.4.1付で条件付き公募により施設の管理、運営を指定管理者「あらかわゴルフ場運営グループ」に移行した。 従業員研修の開催を始め、ゴルフコースの整備充実、クラブハウス及びのレストランメニューの充実、自主事業の企画、実施、シニア、女性を主にしたサービスの充実、地域との連携を図った。また、目標利用者数11,000人と設定して、1年間取り組んだ。 								

取り組みについての成果(C)

【みどりの里】
 H24.4.1の指定管理に向けて、予定どおり作業を進めることができた。
 【あらかわゴルフ場】
 6月の水害によるコースの水没、7月の風害によって通算で1ヶ月ほど営業中止を余儀なくされたこともあり、収入は伸びなかった。収支については、収入55,244,330円に対して、支出60,943,825円となり、差引 5,669,495円の赤字となった。
 しかしながら、きめ細かなコース管理を徹底し、これまでより良好な芝生の管理に努め、利用者からはコースの状態が良くなったとの声が多く寄せられた。クラブハウス内には、観光情報コーナーを新設し、利用者への観光宣伝を促進した。自主事業も積極的に企画立案し、宣伝活動にもとからを入れた。レストランのメニューも、昨年度よりもバラエティに富んだものになり、さらには、レストランのみの利用も認めるなど、サービスの充実を図った。

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い

【みどりの里】
 H24.4.1の指定管理に向けて、予定どおり作業を進めることができた。
 【あらかわゴルフ場】
 取り組み内容と成果を踏まえ、前述のとおり、経営面では赤字決算だったものの、コースの管理、自主事業の企画、レストランの充実、利用者への立場に立って幅広くサービスを心がけてきた。市直営で行き届かなかったことが実践できた。初年度であったことを配慮したとしても、高い評価ができる。

取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)

【みどりの里】
 多種多様な営業ができる施設を一括して公募にしたことは、本市としても初めての取り組みであり、事前準備の期間があったものの、日常業務と並行して行ったので、大変だった。
 【あらかわゴルフ場】
 自主事業については、「瀬波温泉パック」「ジュニアゴルフ教室」等新たな取り組みも実施した。
 コース整備についても、表示、案内をリニューアルし、バンカーの改造、排水の改善等精力的に取り組んだ。
 全般的には、運営グループ全体として、「どんどん売り込んで、一人でも多くの利用者に来てもらいたい。」という思いが伝わる運営がなされたと思う。
 官 民に移行して、正に成果が出た事例であると考察できる。

平成24年度中の実施目標(P)

【みどりの里】
 ・順調な指定管理業務ができるよう、指定管理者への指導及び管理を徹底する。
 ・指定管理者からの、報告・連絡・相談システムを確立する。
 【あらかわゴルフ場】
 経営方針
 経営の健全化、安定化を図るため、集客力の向上と利用者の拡大と、併せて地域に親しまれ、地域の特性を活かした施設を目指す。
 運営目標 1. 黒字化の実現 = 来場者の目標 12,000人。積極的な広報宣伝活動、新規企画の立案、原価意識の向上
 2. 地域との連携強化 = 初心者、ジュニアを対象にした教室、地場産食材の活用、地域の情報の共有
 3. お客様満足度の向上 = 利用者親しんでもらえるコース、クラブハウス、レストラン。

平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い

所管課評価に同じ。

平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い

行革担当評価に同じ。

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
なし	

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
なし	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成24年6月22日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有	
取組内容	指定管理者制度導入の数値目標		体制コード	4-2-1-5		
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)		
取組時期	H21	-	H21	132施設	H21	132施設
	H22	-	H22	133施設	H22	153施設
	H23	-	H23	171施設	H23	142施設
	H24	-	H24	245施設	H24	
	後期	-	導入施設数(4月1日)		導入施設数(翌年度4月1日)	
平成21年度取り組み内容(D)						
山北火葬場について、予定どおり指定管理者を導入したが、施設の廃止(天神岡テニスコート)により、平成22年度4月1日時点での導入は132施設となった。						
平成22年度中の実施目標(P)						
予定の38施設に加え、高根交流広場を1年前倒して制度導入し、平成23年4月1日の指定管理施設数は、171施設とします。						
平成22年度取り組み内容(D)						
公募:1施設(ゴルフ場)、限定指定:20施設(農村公園6、し尿処理場、学童保育所2、夕日会館等2、神林地区体育施設9)の指定を行った。						
取り組みについての成果(C)						
経費の縮減が図られた。 経費比較(該当施設分) 当初予算 (H23)234,138千円 - (H22)304,010千円 = 69,872千円(行政経営係算出)						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画年度より早く指定管理者を導入した施設もあるが、目標数値に至らなかったため。 目標数値はその年度当初における導入数として掲げているが、成果数値は当該年度に指定管理導入手続きを完了したものを含めて記載した。						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
指定管理者制度の理解や事務手続きの遅れなどから、目標に至らなかったところがあった。 「施設見直し計画」による実施方針からの変更 ・導入年度繰り上げ及び追加 11施設(農村公園2・体育施設9) ・導入年度繰り下げ及び方針変更 28施設(駐車場1・デイサービスセンター1・いこいの家3・農村公園23)						
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。						
平成23年度中の実施目標(P)						
新たに55施設(老人福祉センター1・コミュニティホーム1・老人ホーム1・児童遊園地33・コミュニティセンター1・みどりの里関連15・いこいの家3)について指定管理者の導入を進める。						
平成23年度取り組み内容(D)						
公募:11施設(荒川火葬場・老人いこいの家・朝日みどりの里関連施設) 限定:67施設(集落センター・デイサービスセンター・高齢者福祉施設・産業関連施設・村上地区体育施設) 新規指定管理者導入施設は15施設(公募によるもの:10施設、限定指定によるもの:5施設)						
取り組みについての成果(C)						
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)						
指定管理者によるサービスの向上と経費の縮減が図られた。 経費比較(該当施設分) 当初予算 (H24)288,481千円 - (H23)324,732千円 = 36,251千円(行政経営係算出)						

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由:取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
管理方針の再検討により、計画どおりには進んでいないところもある。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
「施設見直し計画」による実施方針、導入年度からの変更 ・導入年度繰り下げ及び方針変更 施設(保育園3・児童公園33・朝日温泉熱活用施設1・温泉配湯施設1・コミュニティセンター1他) なお、「指定管理者制度運用ガイドライン」を策定し、事務手続きの規格化を図った。		
平成24年度中の実施目標(P)		
H25.4～の指定管理者導入及び更新による手続きを進める。 ・新規導入施設 2施設(デイサービスセンター(公募)1、コミュニティセンター(限定)1) ・更新手続施設 10施設(火葬場(公募)2、デイサービスセンター(限定)7、高齢者福祉施設(限定)1)		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・全ての保育園でも導入の検討をしてはどうか。 ・指定管理者制度の積極的導入等は、市内業者でない限り市の税収につながらないと考えるが、その辺もふまえて、制度導入の検討を行っているのか、市内に該当業者がない場合、どうしても指定管理者に委託する必要があるのか。 ・[現状と課題]で指定管理者制度等導入により利用料の割引、サービスの拡充の取り組みとあるが、比較検討の評価表等があれば提示願いたい。基本的に外注であるわけですから会社の経営方針に市が口を挟む事が出来るのか。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
一定のルールや制度設計が不足している感がある。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月5日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	アウトソーシングの拡充・実施		体制コード	4-2-2-2				
所管	介護高齢課高齢福祉係		担当者・内線番号	田中和仁 367				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22	-	
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24		H24	-		H24		
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
老人福祉センターあかまつ荘の温泉配管及びボイラー施設の維持管理について、これまで故障時の修理で対応していたものを年間維持管理委託契約とした。事前にメンテナンスを行うことで、故障やトラブルがなくなり、これに伴う運営の中止や閉館が激減した。								
取り組みについての成果(C)								
急なトラブルや機器の故障が減ったことで、安定的な運営が可能になったことと、来ていただいた利用者に運営中止などで迷惑をかけるということが非常に少なくなった。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
H21年度と比較して、入浴施設にかかるトラブルが激減し、利用者に迷惑をかけることが非常に少なくなった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
メンテナンス方法について、回数やメンテナンスの範囲や部品などの細部設定が必要と思っている。ただ、1年間だけの実績であるため、今後の委託方法について見直していきたい。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
アウトソーシングの導入により、非常に成果が出たということなので所管課の評価のとおり、A評価とした。ただし、経費等を検証し、指定管理者制度の導入に向けて内容の精査をすること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成24年度から指定管理が予定されており、これに向けて委託契約の内容について内容の精査と調整を行う。								
平成23年度取り組み内容(D)								
平成23年中に新たに5施設(あかまつ荘、寿山荘、荒川いこいの家、コミュニティデイホーム、神林いこいの家)について、指定管理への移行を検討し、H24年度から指定管理による運営を行っている。								
取り組みについての成果(C)								
いずれの施設も、利用料金及び指定管理料の併用型であり、目に見えた財政的縮減は難しい状況であった。しかしながら、複数の施設を横断的に利用・運営することを考慮し、所管課としては複数施設を1事業者に指定するなど、効率的な管理が可能となる方法を検討した。その結果、上記5施設を2業者で指定管理することとなり、H24年度から指定管理を開始している。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
指定管理への移行が目標どおり達成した。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
指定管理に向けて利用者の意見を聞く機会もあればよかった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
指定管理についての経費縮減、歳入確保策や安全確保についてのチェックを行い、指定管理の進捗状況を把握する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月18日	平成24年6月19日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	アウトソーシングの拡充・実施		体制コード	4-2-2-2				
所管	下水道課 管理業務室		担当者・内線番号	中村豊昭・神林214				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22	-	
	H23		実施	H23		-	H23	-
	H24		H24	-		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取組み内容(D)								
施設の維持管理を中心にほとんどの業務をアウトソーシングしているので拡大は見込めないが、平成23年度からの組織改革に伴う支所業務の本庁への移管を検討した。								
取組みについての成果(C)								
平成23年度に入り、円滑に業務を遂行している。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
平成22年度に検討したように現在すすめている。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
支所業務の本庁への移管にあわせ、発注単位や業務内容の再検討が必要な業務もある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
発注単位や業務内容の再検討を行ないアウトソーシングの充実を図る。								
平成23年度取組み内容(D)								
維持管理の一部業務について、本庁取扱いとするため発注単位や内容の検討を行った。								
取組みについての成果(C)								
アウトソーシングの内容自体は、それほど変更がある訳ではないが、本庁取扱いとするため共通できるところ等の検討及び実施ができた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
業務のほとんどが既に外部委託されているため大幅な変更は見込めないが、一部の既委託業務においても内容の共通仕様化を図ることができた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
各施設固有の条件等があり、必ずしもすべてが同じ仕様とはならないが、少しずつでも検討をすすめ可能な限り共通化を図るように取り組みたい。		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き、各種業務の内容検討を行い、アウトソーシングの充実化を図る。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	一元管理できる体制の見直し・実施		体制コード	4-2-2-3				
所管	財政行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	見直し	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成22年度に行財政改革推進プロジェクトでワーキング部会を組織し、見直しすることとしました。								
平成22年度中の実施目標(P)								
組織改革ワーキング部会で見直しを行います。								
平成22年度取り組み内容(D)								
担当部署の一元化は行わず、H23組織機構改革に合わせた見直しは行わなかった。								
取り組みについての成果(C)								
特になし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)					
部制から課制への変更を主とした組織機構改革においては、大幅な業務の異動は行わず、見直しを行わなかったため。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
見直しにあたっては、担当課のヒアリングなども必要と考える。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)					
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
今後予定される組織改革等に合わせ、検討を行っていきたい。								
平成23年度取り組み内容(D)								
昨年度の組織再編による体制の見直しは行わなかった。								
取り組みについての成果(C)								
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)								
なし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由: 取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
昨年度中における協議、検討は行わなかったため		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
平成22年度に神林地区農村公園の指定管理者導入の3年間延期から、合併前の旧市町村単位による管理手法が続いている。		
平成24年度中の実施目標(P)		
組織再編計画等、各種後期計画の策定に合わせ検討を進めたい。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
取り組みが行われていないのでD評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
一定のルールや制度設計が不足している感がある。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	保育園の年度別統廃合の検討		体制コード	4-3-1-1 (4-3-1-6)				
所管	福祉課子育て支援室		担当者・内線番号	長谷部淳 241				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	21園	成果数値	H21	-
	H22			H22	20園		H22	-
	H23			H23	20園		H23	20園
	H24			H24	18園		H24	20園
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
後期計画期間内での統廃合時期の検討。								
平成22年度取り組み内容(D)								
後期計画期間内での統廃合時期の検討を行う。								
取り組みについての成果(C)								
「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画的に進むことができず成果(C)とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
平成22年度中の実施目標よりも後退しているため、D評価とした。 なお、「(仮称)荒川統合保育園」建設も含めてスケジュールを定め、計画的に取り組んでください。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
平成24年10月頃を目途に『保育園等施設整備計画』を策定すべく、計画策定の大前提となる保育園の現状把握と保育ニーズの集約を図る。								
取り組みについての成果(C)								
第1回村上市保育園等施設整備検討委員会を開催し、上位計画における施設整備の位置付けや保育園を取り巻く現状を共有できた。また、今後の計画策定において重要となる保育ニーズを把握するため『保育園のあり方についてのアンケート』を保護者に対して行った。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
施設整備検討委員会を開催し、委員と職員が問題意識と今後の作業内容を共有できたため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
施設整備検討委員会を経て、指定管理者制度が市民にあまり浸透していないことに気付かされた。後期実施計画には、今後策定する施設整備計画の内容を反映させ、今後の各保育園の運営についてより具体的に示した上で公表すべきと感じた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
平成24年10月頃を目途に策定する『保育園等施設整備計画』で適正規模及び適正配置の具体的目標を掲げ、統廃合の時期等を盛り込む。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
平成23年度中の実施目標が達成されていないためC評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・将来、全保育園を統合し、指定管理者にしていくのか、学校給食の調理とは違うので、実施に当たっては、慎重に検討していただきたい。</p> <p>・村上市保育園等施設整備検討委員会で、検討する事が有効と考えます。また、引き続き丁寧な住民説明会が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちであり、地域づくりの根幹を置き去りにしている。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	荒川地区3保育園の統合・新設		体制コード	4-3-1-2				
所管	福祉課子育て支援室		担当者・内線番号	大滝敏文 241				
取組時期	H21	計画	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	設計		H22	-		H22	-
	H23	工事		H23	-		H23	
	H24	開園		H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
新年度への測量(基本計画)業務委託料の予算化。								
平成22年度中の実施目標(P)								
設計監理業務委託契約の締結。								
平成22年度取り組み内容(D)								
荒川地区に計画されている「(仮称)荒川統合保育園」について、測量並びに敷地調査、基本計画業務委託を行い、実施設計に向けた基本計画書を作成した。								
取り組みについての成果(C)								
測量・基本計画作成業務委託の成果をもとに、地元選出議会議員、地元保護者、区長等に数回にわたり説明会を重ね、地域住民が不安に感じている諸課題について説明を行うことができた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
建設予定地について、面積が狭く、200人規模の保育園運営が可能なのか、また、運営方法に関して、市が初めて導入する指定管理者制度導入についての不安など、十分な理解が得られず、当初予定通りの実施設計業務に取り掛かることが困難となったため。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
市が初めて導入する指定管理者制度導入についての考え方を説明するが、地元議員をはじめ保護者の方々から、理解を得ることが困難であった。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
当初の建設予定から大幅に遅れており(平成26年度開園予定)、また、平成22年度評価(所管)や取り組みについての感想にも記載されているように、取り組み自体もうまく進んでいないため、D評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
建設検討委員会を立ち上げ、荒川地区の子育て支援施設にふさわしい統合保育園を建設するために必要な協議を行い、実施設計に反映するための提言をいただく。 更に、プロポーザル審査委員会を立ち上げ、実施設計業者の選定を行い、実施設計業務を着手する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
平成23年6月30日に(仮称)荒川統合保育園建設検討委員会を立ち上げ、4回に渡り会議を開催し、荒川地区の子育て支援施設にふさわしい統合保育園を建設するために必要な協議を行い、8月11日実施設計に反映するための提言をいただいた。8月21日(仮称)荒川統合保育園建設設計業務プロポーザル審査委員会を立ち上げ、検討委員会からの提言に基づき、10月21日開催の第3回審査委員会において公開プレゼンテーションによる実施設計業者の選定を行い、実施設計業務に着手した。(実施設計業務の期間は11月から翌年度5月までの2カ年の事業)								
取り組みについての成果(C)								
設計JV6社からの提案があり、10月21日開催した第3回荒川統合保育園建設設計業務プロポーザル審査委員会において公開プレゼンテーションを実施したことによって、各方面から約20人の傍聴者があり、各社の提案内容や設計業者の決定に至るまでの経緯など市民に広く周知することができた。傍聴者に対して会場でアンケートにより意見を聴取することができ、今後の業務の参考とすることができた。更には、建設検討委員会やプロポーザル審査委員会の会議の概要について、市のホームページや新聞各社の報道等により、取組内容をPRすることができた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
開園時期を1年延期し平成26年4月にすることを決定し、実施設計に向けた業務を計画どおり進めてきたが、新潟県から土壌汚染調査の調査命令が下され、調査に約3か月余りを費やした結果、予定より実施設計業務の完了時期が2か月以上遅れることとなった。このことによる議会への説明を行い、住民説明も行ってきた。結果的に建設予定地の安全性を訴えることにつながった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
本園は本市で初めてとなる指定管理者制度を導入する予定であるため、制度に対する地元住民や保護者、一部議会議員から理解が得られない面もあることから、建設については反対するものではないというものの、丁寧な説明が求められている。		
平成24年度中の実施目標(P)		
指定管理者制度導入については、これまでも議会及び住民説明会において説明を行ってきたが、今後は募集要項、仕様書を示し、保育園の運営のあり方、とりわけ(仮称)荒川統合保育園の開園と同時に公設民営化による指定管理者制度を導入することによって民間活力を積極的かつ効果的に活用し、保育サービスの充実・向上を図ることを十分説明し、理解を得ながら保育園建設業務を進めていきたい。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
当初の計画から大幅に遅れているが、変更後によって進められている。 開園時期も決まり、業務も進んでいることから保育サービスの充実・向上に努めること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・村上市保育園等施設整備検討委員会で、検討する事が有効と考えます。また、引き続き丁寧な住民説明会が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちであり、地域づくりの根幹を置き去りにしている。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	上海府保育園の瀬波保育園への統廃合の検討、用地取得		体制コード	4-3-1-3				
所管	福祉課子育て支援室		担当者・内線番号	長谷部淳 241				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	用地取得		H23	-		H23	
	H24	設計		H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
用地取得に向けての調査。								
平成22年度中の実施目標(P)								
統廃合の手法の検討。								
平成22年度取り組み内容(D)								
「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)					
計画的に進むことができず成果(C)とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
平成22年度中の実施目標よりも後退しているため、D評価とした。 なお、保育園の計画は現状どんどん遅れていっているため、整備計画では統廃合の時期等を決定するよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
本取組内容に対する計画を大幅に見直し、平成24年10月頃を目途に策定する『保育園等施設整備計画』に登載することとし、その計画策定の大前提となる保育園の現状把握と保育ニーズの集約を図る。								
取り組みについての成果(C)								
第1回村上市保育園等施設整備検討委員会を開催し、上位計画における施設整備の位置付けや保育園を取り巻く現状を共有できた。また、今後の計画策定において重要となる保育ニーズを把握するため『保育園のあり方についてのアンケート』を保護者に対して行った。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
施設整備検討委員会を開催し、委員と職員が問題意識と今後の作業内容を共有できたため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
施設整備検討委員会を経て、指定管理者制度が市民にあまり浸透していないことに気付かされた。後期実施計画には、今後策定する施設整備計画の内容を反映させ、今後の各保育園の運営についてより具体的に示した上で公表すべきと感じた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
平成24年10月頃を目途に策定する『保育園等施設整備計画』で適正規模及び適正配置の具体的目標を掲げ、統廃合の時期等を盛り込む。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
平成23年度中の実施目標が達成されていないためC評価とした。		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・村上市保育園等施設整備検討委員会で、検討する事が有効と考えます。また、引き続き丁寧な住民説明会が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちであり、地域づくりの根幹を置き去りにしている。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月20日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	市中心部の3保育園の集約の検討		体制コード	4-3-1-4				
所管	福祉課子育て支援室		担当者・内線番号	長谷部淳 241				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
今後の村上地区の保育園のあり方について検討を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
集約についての検討。								
平成22年度取り組み内容(D)								
後期計画期間内での統廃合時期の検討を行う。								
取り組みについての成果(C)								
「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画的に進むことができず成果(C)とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、保育園の計画は現状どんどん遅れていっているため、整備計画では統廃合の時期等を決定するよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
本取組内容に対する計画を大幅に見直し、平成24年10月頃を目途に策定する『保育園等施設整備計画』に登載することとし、その計画策定の大前提となる保育園の現状把握と保育ニーズの集約を図る。								
取り組みについての成果(C)								
第1回村上市保育園等施設整備検討委員会を開催し、上位計画における施設整備の位置付けや保育園を取り巻く現状を共有できた。また、今後の計画策定において重要となる保育ニーズを把握するため『保育園のあり方についてのアンケート』を保護者に対して行った。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
施設整備検討委員会を開催し、委員と職員が問題意識と今後の作業内容を共有できたため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
施設整備検討委員会を経て、指定管理者制度が市民にあまり浸透していないことに気付かされた。後期実施計画には、今後策定する施設整備計画の内容を反映させ、今後の各保育園の運営についてより具体的に示した上で公表すべきと感じた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
平成24年10月頃を目途に策定する『保育園等施設整備計画』で適正規模及び適正配置の具体的目標を掲げ、統廃合の時期等を盛り込む。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
平成23年度中の実施目標が達成されていないためC評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・村上市保育園等施設整備検討委員会で、検討する事が有効と考えます。また、引き続き丁寧な住民説明会が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちであり、地域づくりの根幹を置き去りにしている。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	朝日地区5保育園の集約の検討		体制コード	4-3-1-5				
所管	福祉課子育て支援室		担当者・内線番号	長谷部淳 241				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
集約についての検討。								
平成22年度取り組み内容(D)								
後期計画期間内での統廃合時期の検討を行う。								
取り組みについての成果(C)								
「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画的に進むことができず成果(C)とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、保育園の計画は現状どんどん遅れていっているため、整備計画では統廃合の時期等を決定するよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
本取組内容に対する計画を大幅に見直し、平成24年10月頃を目途に策定する『保育園等施設整備計画』に登載することとし、その計画策定の大前提となる保育園の現状把握と保育ニーズの集約を図る。								
取り組みについての成果(C)								
第1回村上市保育園等施設整備検討委員会を開催し、上位計画における施設整備の位置付けや保育園を取り巻く現状を共有できた。また、今後の計画策定において重要となる保育ニーズを把握するため『保育園のあり方についてのアンケート』を保護者に対して行った。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
施設整備検討委員会を開催し、委員と職員が問題意識と今後の作業内容を共有できたため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
施設整備検討委員会を経て、指定管理者制度が市民にあまり浸透していないことに気付かされた。後期実施計画には、今後策定する施設整備計画の内容を反映させ、今後の各保育園の運営についてより具体的に示した上で公表すべきと感じた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
平成24年10月頃を目途に策定する『保育園等施設整備計画』で適正規模及び適正配置の具体的な目標を掲げ、統廃合の時期等を盛り込む。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
平成23年度中の実施目標が達成されていないためC評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・村上市保育園等施設整備検討委員会で、検討する事が有効と考えます。また、引き続き丁寧な住民説明会が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちであり、地域づくりの根幹を置き去りにしている。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会				
	平成24年6月20日	平成24年6月21日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無				
取組内容	集落集会施設の移譲の検討		体制コード	4-3-2-1					
所管	朝日支所地域振興課自治振興室		担当者・内線番号	玉木善行・内線208					
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-		
	H22		H22	-		H22	-		
	H23		H23	-		H23	17施設		
	H24		H24	-		H24	1施設		
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)			
平成21年度取組み内容(D)									
・施設改革シートの作成(特に建設時の補助金等の名称)により、対象施設の見極めを行った。									
平成22年度中の実施目標(P)									
・施設移譲に向けた具体的なスケジュールを検討、これに基づき指定管理者(27集落区長)に周知を図る。 ・譲渡先(法人格等の有無)の調査実施。									
平成22年度取組み内容(D)									
・集落集会施設検討ワーキング部会の設置。 ・ワーキング部会の取組み。(施設移譲に向けた取組み整理。施設個別概要表・移譲に向けたスケジュール作成。) ・指定管理者へ移譲に向けた市の方針を説明。(法人格の取得、登録免許税等)									
取組みについての成果(C)									
・平成24年度施設移譲予定先である17集落について、地縁団体の認可手続きを完了することが出来た。 ・国県と補助事業に係る「財産処分報告」の事前協議、或いは事前協議前の協議を完了することが出来た。									
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
・平成24年度施設移譲予定先17集落について、市の取組みを十分に理解していただき、認可地縁団体設立、登録免許税の確保等相手先としての体制を整えることが出来た。									
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)									
・集落集会施設の移譲において、指定管理者(集落区長)の理解が十分得られたことは大変有難いことであった。それが円滑な認可地縁団体設立に繋がったと思う。									
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
所管課評価に同じ。									
平成23年度中の実施目標(P)									
平成24年度施設移譲予定17施設について ・補助事業財産処分手続きの完了 ・行政財産用途廃止手続き ・市有財産譲与契約(H24.4.1予定)(目標追加)									
平成23年度取組み内容(D)									
集落集会施設の譲渡(17施設) ・【朝日支所地域振興課】国県補助事業等により取得した財産処分手続き(国県)、行政財産の用途廃止(普通財産)、譲与についての議会の議決を経て、4/1財政課へ移管後に譲与契約の締結 ・【地元集落】地縁団体の設立、登録免許税負担、【財政課】建物表題登記、所有権保存登記、市有財産譲与の議案、【農林水産課】村上市集落集会施設条例の一部を改正する議案									
取組みについての成果(C)									
・国県補助事業等により取得した財産処分手続きを完了することが出来た。 ・行政財産処分手続きを完了し、普通財産とすることが出来た。 ・平成23年度中に移譲手続きを行った全ての施設を地縁団体(地元集落)に譲渡することが出来た。									

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>・取り組み全体としては、ワーキング部会において各担当課の役割分担、年間スケジュールなどを検討した結果、関係各課が連携して円滑に行うことが出来た。</p> <p>・補助事業財産処分手続きについては、国県ともに手続きを完了することが出来たので、次年度以降に予定されている施設についても、書式や添付書類など参考になるものである。</p> <p>・地元集落(地縁団体)に対しては、提出書類の作成などの事務支援を行い、地元業務の負担を軽減することが出来た。</p>		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>・ワーキング部会を設置したことにより、関係各課との連絡調整が容易であった。</p> <p>・国県補助事業等により取得した財産処分手続きについては、前年度までに所管する行政機関との事前協議は行われていた。しかし、本提出の際には、所管する行政機関や補助事業の種類等により、それぞれ提出する書式や添付資料が異なっており、また、提出先の担当者の異動や考え方の違いにより、添付書類の追加や修正が多く発生したために、受理までに時間を要した。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<p>平成24年4月1日譲与契約(前年度手続き分)を締結した17施設に係る固定資産税、不動産取得税の減免手続き支援 平成24年度譲渡手続き予定 1施設(小川水明ふれあいセンター)</p> <p>・補助事業財産処分手続きの完了 ・行政財産用途廃止手続き ・市有財産譲与契約(H25.4.1予定)</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月4日	所属長 平成24年6月6日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	集落集会所施設の移譲の検討		体制コード	4-3-2-1				
所管	山北支所地域振興課自治振興室		担当者・内線番号	富樫 一男 ・ 227				
取組時期	H21	検討	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
-								
取り組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		-	
-								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成23年度中の実施目標(P)								
-								
平成23年度取り組み内容(D)								
集落集会所施設検討ワーキング部会での移譲に係る諸手続の確認のもとに、山北地区の指定管理者が管理運営している39施設の移譲に関して次の取り組みを行った。 ・移譲に向けて整理すべき施設の現状と課題、問題点等の調査及び施設移譲までの諸々の業務の流れを確認。 ・所有権移転登記が行えるのは地縁団体であることから、認可されている地縁団体の調査。 ・移譲に係る財産に関する必要書類の調査と保管。 ・補助金等の財産処分手続き及び処分制限期限、使用補助金等の調査。								
取り組みについての成果(C)								
上記調査等の結果、次のことを確認し書類等を整理した。 ・地縁団体設立認可を受けた20集落うち指定管理者の集落は16集落、施設数では18施設を当該集落が管理運営していることを判明した。 ・必要書類の確認と、処分制限期限、使用補助金等を明示した施設一覧表のほか各種の関係資料を作成した。								
平成23年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		-	
・処分制限期限が到来した施設から順次集落へ移譲するという方針に基づき、計画どおりの関係資料の収集や調査をすることができた。								

取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)	
・上記に同じ	
平成24年度中の実施目標(P)	
・施設を移譲できる集落は、地縁団体設立認可を受けている集落に限られることから、収集した資料を基に未設立の集落に地縁団体設立を促したい。	
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)
	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い
他地区と比べ、取り組みが遅れているのでC評価とした。	
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)
	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。	
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等) <input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等) <input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
なし	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無		
取組内容	集落集会施設の移譲の実施		体制コード	4-3-2-2			
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)			
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22		H22	-		H22	-
	H23		H23	-		H23	26施設(手続き)
	H24		H24	61施設		H24	
	後期		実施	(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)							
-							
平成22年度中の実施目標(P)							
ワーキング部会を設置し、検討を行っていく。							
平成22年度取り組み内容(D)							
「集落集会施設検討ワーキング部会」を設置し、H24.4月の移譲に向け、市で必要となる手続きや集落において負担することとなる経費、地縁団体の設立等を協議し、該当集落等への説明を行った。							
取り組みについての成果(C)							
移譲対象施設:72施設 うち H24.4移譲予定対象 61施設							
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
当該集落で対応していただく必要があるものなど、一定の方針をもって説明を行うことができた。							
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
市の方針説明などにおいて対応が遅れたところがあったが、多くの集落で移譲する方針を受け入れていただいた。							
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 ただし、地域ごとで進み方に差が出ているので、移譲に向けて計画的に取り組みを進めること。							
平成23年度中の実施目標(P)							
財産処分及び登記事項の手続きを進め、H24.4月の移譲を行っていく。							
平成23年度取り組み内容(D)							
移譲対象施設の当該集落と合意できたものについて、平成24年4月の移譲に向けて手続き等を行った。 ・荒川地区 4施設 ・朝日地区 17施設 ・山北地区 5施設							
取り組みについての成果(C)							
(円削減、施設利用者 人増などの直接的なものから、職員のスキルアップや市民の行政参画意識の向上などまで)							
当該地域が自主的、有効的に使用していけるよう移譲を進められた。							

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
(理由: 取り組み内容と成果を踏まえて、評価に至った考え方を記載)		
当該集落と移譲の合意に至らず、翌年度以降へ繰り越しているものがあるため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<ul style="list-style-type: none"> 施設の形態や地縁団体設立などを含めた地元集落合意に至らず、翌年度以降の手続きとなる施設が多く残った。 国県補助金を使用した施設については、譲渡に係る処分の届出に事務量を要した。 		
平成24年度中の実施目標(P)		
引き続き、移譲に向けた手続きを進めていく。 移譲予定: 山北地区 5施設、朝日地区 1施設		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
成果数値及び平成24年度中の実施目標の数値により計画目標値に到達しないためC評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月4日	平成24年6月6日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	集落集会所施設の移譲の実施		体制コード	4-3-2-2				
所管	山北支所地域振興課自治振興室		担当者・内線番号	富樫 一男 ・ 227				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22	-	
	H23		H23	-		H23	-	
	H24		実施	H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取組み内容(D)								
-								
取組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
-								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成23年度中の実施目標(P)								
-								
平成23年度取組み内容(D)								
集落集会所施設検討ワーキング部会での移譲に係る諸手続の確認と、資料収集と調査などを行った山北地区の移譲に関する検討をもとに、処分制限期限が到来した施設でかつ地縁団体を設立している集落に、施設移譲に関する説明会を行い、承諾を得た集落については、24年3月市議会定例会後の所有権移転登記(4月)に向けての各種業務(行政財産用途廃止、財産引継ぎ、市有財産譲与契約)を遂行した。								
取組みについての成果(C)								
移譲対象施設39施設のうち次の5施設に関して、24年3月市議会定例会において市有財産譲与契約の締結についての議決を得ることができた。 ・大毎集落開発センター ・遅郷集落開発センター ・杉平集落林業センター ・寝屋集落開発センター ・脇川集落開発センター								
平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
施設移譲に関する承諾を得た集落について、業務のスケジュール等の詳しい説明を行う中で、予定どおり業務を遂行できた。								

<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>					
<p>所有権移転登記にあたり高額な登録免許税の集落負担を伴う業務であることから、移譲に関しては後々誤解を招くことのないように慎重に進めるべきものと考えている。</p>					
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>					
<p>23年度と同数程度の施設を移譲したい。</p>					
<p>平成23年度評価(行革担当)(C)</p>	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> A 非常に良い</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> C 悪い</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)</td> <td><input type="checkbox"/> D 非常に悪い</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<p>他地区と比べ、取り組みが遅れているのでC評価とした。</p>					
<p>平成23年度評価(本部会議)(C)</p>	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> A 非常に良い</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> C 悪い</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)</td> <td><input type="checkbox"/> D 非常に悪い</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<p>行革担当評価に同じ。</p>					
<p>行革委員会個別意見(C)</p>	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)					
<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)					
<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)					
<p>具体的意見・要望(A)</p>					
<p>なし</p>					

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月22日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	再利用可能施設の利用の検討・実施		体制コード	4-3-3-1				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄 325				
取組時期	H21	検討	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
用途廃止した施設の把握及び市民の有効利用のための貸付。								
平成22年度中の実施目標(P)								
再利用施設の全体把握を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
財産台帳の整備を実施した。計画的な解体処理を進めるため、普通財産(建物)解体処理計画を作成し、対象建物のリストを作成した。								
取り組みについての成果(C)								
リストを作成したことにより物件数等が把握でき、計画的な解体を実施するための基礎資料とすることができる。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画どおりに行った。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
緊急雇用創出事業を活用し、業務委託等により、集中的に作業を行ったことで取り組みが適切に行われた。建物が残存しているため、不動産の売却が敬遠されるケースもあることから、老朽化が進んだ建物については解体を行い、土地の売却を図る必要がある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
倒壊や壁が落ちるなどの危険性があり、老朽化の進行した建物から優先して解体を進める。								
平成23年度取り組み内容(D)								
建物の解体1件実施した。 再利用可能な施設は遺物等貯蔵庫や防災用品置き場としてして利用を図った。 賃貸借契約の申請があったものについては貸付をおこなった。								
取り組みについての成果(C)								
公用で利用協議があったものは利用を図った。賃貸借契約の申請があったものは貸付を実施した。(10件)								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
倒壊や壁が落ちるなどの危険性があり、老朽化の進行した建物から優先して解体を進める。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
解体費用が高額であり老朽化が進行していても解体ができない。 老朽化し資産価値の以上に解体コストがかかるものについて、建物付きで土地の売却を図り解体コストの負担を抑えた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
倒壊や壁が落ちるなどの危険性があり、老朽化の進行した建物から優先して解体を進める。再利用の求めがある施設については利活用を図る。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成24年6月5日	平成24年6月18日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有	
取組内容	協働のまちづくりについての周知		体制コード	5-1-1-1		
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331		
取組時期	H21	実施	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	-
	H24		H24	-	H24	-
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)						
<ul style="list-style-type: none"> ・H21.5.2号市報で、行政改革大綱の一方策として周知。 ・H22.1.8 村上地区分館長会議において市民協働のまちづくり概要を説明。 ・H22.2.18 各地区公民館長、公民館職員会議において市民協働のまちづくり推進プログラム(試案)を説明。 ・H22.3.17 村上地区区長会役員会議において市民協働のまちづくり推進プログラム(試案)を説明。 						
平成22年度中の実施目標(P)						
平成23年度から本格検討に入ることから、「協働」の意義やまちづくり協議会といった組織や人的・財政支援を含め、市報等により周知すると同時に条例や要綱を策定する。						
平成22年度取組み内容(D)						
<ul style="list-style-type: none"> ・H22.4.9~21 村上地区各区長会に市民協働のまちづくり推進プログラム、スケジュール説明 ・H22.5.24 市職員向けメルマガ配信 ・H22.6.18 村上地区公民館・分館長会議(協働のまちづくり推進スケジュールについて) ・H22.6.22 地区公民館・担当職員研修会(まちづくり組織、財政支援、地区公民館及び分館業務の考え方) ・H22.7.9 市ホームページに「市民協働のまちづくり」ページ立ち上げ ・H22.7.13 市議会会派「村上未来、勉強会(市民協働のまちづくり推進手法について) ・H22.7.20~28 各地区公民館・地域振興課との打合せ(自治振興室の業務量把握のための地区公民館業務調査) ・H22.7.30 村上地区公民館との打合せ(分館業務との棲み分けについての確認) ・H22.8~9月 各地区地域審議会(地域まちづくり組織設置区域について) ・H22.8.25 村上商工会議所青年部との意見交換会(村上地区の中心市街地での進め方について) ・H22.9.1 市報による市民協働のまちづくりについての周知 ・H22.11.4 市職員(係長以上)研修会:元氣な村上とするために~地域の一員として何をすべきか~(講師:小田切教授) ・H22.12.17 市議会全員協議会(村上市地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例の骨子案) ・H23.2.21 市議会全員協議会(同条例の概要について) ・H23.3.25 定例会(同条例議決) ・H23.4.1 同条例施行 						
取組みについての成果(C)						
<ul style="list-style-type: none"> ・市組織再編に向けた調整及び市民協働のまちづくりに向けた市職員のスキルアップが図られた。 ・市民への情報公開については、市報やホームページを利用した情報提供を実施してきたが、「協働」の言葉が先行する形になったことは反省すべき点である。 						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取組みでもあり、市民に誤解を招かないように配慮したが、市民サイドに立った周知方法を工夫すべきであった。 						
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
<ul style="list-style-type: none"> ・合併への不満や行政内部の組織機構改革の中で、本市の重点施策である「市民協働のまちづくり」をどのように周知し、機運を高めていくかが、大きな壁であり、大変なエネルギーを必要とすることが改めて実感した。交付金という市税を利用し、地域や住民が輝くまちづくりは、地域力にかかっていることはゆがめないが、行政としてすべての職員が本気になり同じ汗をかくことが大切であり、また、やり直しがきかない大きな事業であるため、地域の意見に基づいたまちづくりを進めなければならない。 						
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、市報やホームページでの周知が、当初に比べだんだん減ってきているので、内容の充実と周知方法の工夫に努めること。						
平成23年度中の実施目標(P)						
<ul style="list-style-type: none"> ・市報や回覧のほか、地域毎に作成した広報やホームページによる協働意識の醸成をさらに推進する。 ・各地区毎にフォーラムを開催し、協働意識や参画意識の醸成を図る。 						

平成23年度取り組み内容(D)

協働意識の醸成に努めるとともに、市民とともに各地域で推進するための母体として「地域まちづくり組織」設立を進める。

・市議会への説明

5月24日：協働のまちづくりの進め方と平成24年度以降の交付金について

8月24日：村上市地域まちづくり組織設立準備交付金について

・各地区公民館への説明

6月17日：協働のまちづくり推進背景と現状、今後の進め方について

・市民への周知

8月1日：「地域をもっと元気に！」として、市報に取り組み状況を掲載

8月22日：ホームページを更新し、各地区、地域の状況を具体的に照会できる様に構築

・職員への周知

職員向けメルマガを発行(13～21号まで発行)

11月18日：全職員を対象とし「元気な地域にするために～今、自ら何をすべきか～」をテーマに研修会を開催(講師：宮城県大崎市職員)

1月16日～2月3日：職員の地域行事参画状況調査実施(回答者数561人)結果を各職員に公開

・荒川地区の取り組み

組織づくり事前準備等：区長会等への推進趣旨説明及び各種団体との懇談会の開催(38団体、205名出席)

計画策定：ワークショップによる計画素材の抽出からプロジェクトチームを編成した計画素案の作成(全10回開催)

1月10日：あらかわ地区まちづくり協議会設立準備会が発足(まちづくり計画、組織構成、H24年度事業、予算を検討)

3月18日：あらかわ地区まちづくり協議会設立総会開催

地区住民への周知：“まちづくり通信 あらかわ”を8回発行

・神林地区の取り組み

組織づくり事前準備等：6～7月・集落役員等への説明(全43回、451人参加)

7～8月・各集落住民へ事業概要説明(全40回、565人参加)

中学生以上を対象としたアンケート調査を実施(事前説明会 全5回、105人参加)

対象者8,649人、回答者数5,926人、回答率68.5%

設立準備会の設置から協議会の設立

アンケートを基にした、まちづくり計画(案)の策定、組織構成、次年度事業予算を検討する。

神納地域では、10月12日に準備会を発足し、3月15日には、神納地域まちづくり協議会を設立した。

神納東地域では、10月25日に準備会を発足し、3月14日には、神納東地域まちづくり協議会を設立した。

平林地域では、10月13日に準備会を発足し、3月13日には、平林地域まちづくり協議会を設立した。

砂山地域では、10月13日に準備会を発足し、3月9日には、砂山地域まちづくり協議会を設立した。

西神納地域では、10月13日に準備会を発足し、3月22日に西神納地域まちづくり協議会を設立した。

各設立準備会等で取り組みに関する情報誌を通信として各3回発行。

・村上地区の取り組み

組織づくり事前準備等：区長会からの協力やこれまで取り組みを進めてきた分館活動で中心となり進めてきた方々から協力をいただき、組織の設立のための準備を行う。

計画策定：住民の皆さんとワークショップにより計画の素案を策定する地域や、これまでの活動を活かし、計画を検討する地域。

設立準備会の設置から協議会の設立

住民懇談会や準備会の検討を踏まえ各地域の状況に応じた組織を設立

村上地域では、11月22日に準備会を発足し、3月18日には、村上地域まちづくり協議会を設立した。

岩船地域では、11月30日に準備会を発足し、3月25日には、岩船まちづくり協議会を設立した。

瀬波地域では、10月7日に準備会を発足し、2月26日には、活気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会を設立した。

山辺里地域では、10月27日に準備会を発足し、3月18日には、山辺里地区まちづくり協議会を設立した。

上海府地域では、10月17日に準備会を発足し、2月26日には、上海府地区町づくり推進委員会を設立した。

各地域とも、既存の分館だより等も併せ10回程度市民に対し取り組みを周知している。

・朝日地区の取り組み

組織づくり事前準備等：朝日地区区長への説明意見交換を実施し、各集落の現状課題を把握。その後、地域別に区長会により発起人会を組織いただき、7月15日～8月3日までの間、全7回住民説明会を開催する。(参加総数340人)

計画策定：各地域で組織した設立準備会において、全5回のワークショップにより計画案を作成する。

設立準備会から協議会の設立

館腰地域では、10月12日に準備会を発足し、3月18日には、館腰地域まちづくり協議会を設立した。

三面地域では、10月12日に準備会を発足し、3月8日には、三面地域まちづくり協議会を設立した。

高根地域では、10月6日に準備会を発足し、3月25日には、たかかねまちづくり協議会を設立した。

猿沢地域では、10月7日に準備会を発足し、3月27日には、猿沢地域まちづくり協議会を設立した。

塩野町地域では、10月18日に準備会を発足し、3月18日に塩野町地域まちづくり協議会を設立した。

各地域の設立準備会では、その取り組み状況をこれまで2～6回、“通信”として発行している。

・山北地区の取り組み

組織づくり事前準備等：各種団体への説明及び集落総代への現状課題の聞き取りを進め、取り組み等に対する住民懇談会を10月7～13日(延べ229人参加)と1月10～16日(延べ191人参加)2回開催。

計画策定：設立準備会において検討する。

設立準備会から協議会の設立

1月27日に準備会を発足し、3月24日に山北地区まちづくり協議会を設立した。

住民懇談会の結果等を11月1日に地区内の住民に周知した。

取り組みについての成果(C)		
<p>市報、市のホームページによる周知を進め、地域の皆さんが担当職員とともに懇談を含めた地域の現状課題等の把握に努め、地域まちづくり計画の策定から組織構成の検討を進め、17の地域まちづくり組織を設立した。</p>		
平成23年度評価(所管)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>市報、ホームページ等での周知や直接担当職員が地域に入り、現状や課題等を把握し、資源の発掘に努め、地域の皆さんとともに計画策定や組織の設立に取り組んだため評価をAとする。</p>		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>取り組みを地域に入り込み具体的に進めたことで、「協働のまちづくり」に対する意識は格段に向上したと考える。しかし、計画策定や組織形成は、全市民がかかわったものではなく、代表となる皆さんが関わり設立したものである。そのため、今後は、地域のより身近な話題を伝え「自分も出来る」という意識をもっていただくように心がけたい。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<p>地域の身近な話題をホームページ等で行い、市報を活用した情報発信に努める。 また、協働のまちづくりに関する市報特集号を発行し、より市民に身近に感じていただける工夫を行う。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>各地域への様々な情報発信・多数回の説明会等の実施により周知されたことは大変評価できる。所管課評価と同様A評価とした。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価と同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等) <input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・市全体の発展、活性化の為に協働のまちづくりに寄せる期待は大きい、今年が活動初年度であるので最初からフルスピードは必要ないが一般市民の理解度はまだ低く感じる。実際役員等で活動している人は理解できているが今一度一般市民への周知は必要ではないだろうか。 ・協働のまちづくりについては、一般より論文を募集してその中から審査して実践する等、工夫があつてよい。 ・もっと掘り下げた展開が良い。例えば郷土の美点を後世に伝える、盆踊り・神楽の伝承など多くある。 ・協働のまちづくりに関しての、メリット、デメリット等あったと思うのですが、どうゆう事があるか提示願いたい、また対応処置を知りたい。 ・行政と市民が協働でまちづくりに取り組む背景と理念を、全職員が共通認識し実践する事が重要です。全職員の意識が協働に向くことで、行政と住民が抱えている、それぞれの課題解決に向けた取り組みができますと考えます。また、市民から求められている職員の積極的な地域活動への参加にもつながると考えます。 また、あらゆる機会を捉えて市民へ施策をわかりやすく周知する事と、成功事例等の情報発信をして、市民に啓発することが必要です。 尚、過疎化、高齢化の進んでいる地域の大きな課題として、協働に参加する人が特定の人に限られ、継続して進めることの難しさがあります。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等) <input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・単に指針の作成を行う事だけでなく、市民に協働の本質を伝えられる工夫をするなど、目的と手段を混同することなく取り組んでいると感じられた。 ・重要課題としている割には非常に遅れている。また、職員間の理解度・スキルの差が大きく、そもそも論として、市としての取り組み姿勢がはっきり見えない。 ・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月6日	平成24年6月18日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	協働のまちづくりについての説明会の開催		体制コード	5-1-1-3				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
協働のまちづくりについての周知と同じ。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市民に対し、市報等による周知のほか、説明会を開催し協働のまちづくりの必要性と参画意識を醸成する。								
平成22年度取組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> ・H22.4.9～21 村上地区各地域区長会(市民協働のまちづくり、推進プログラム等) ・H22.7.9 市ホームページへ市民協働のページを立ち上げる ・H22.8.26 朝日地区囁託員会議(市民協働のまちづくりと地域審議会の意見について) ・H22.9.1 市報による市民協働のまちづくりについて周知 ・H22.11.26 神林地区区長会(市民協働のまちづくりと地域組織の考え方) ・H23.2.1 荒川地区区長会(同上) 								
取組みについての成果(C)								
<ul style="list-style-type: none"> ・各区長等に対し、本市の目指す市民協働のまちづくりについては、一定の理解が得られたと思うが、一般市民への説明会については、推進スケジュールの延期や説明会の内容や手法を見いだすことができず、各地区市職員担当者決定後に、検討することとした。 								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<ul style="list-style-type: none"> ・現時点において想定される周知や説明会を行ってきたが、市民に対する説明が不足していたように思える。しかし、不特定多数への説明は、説明後のフォローアップ等を考慮しないと、誤解や感情論が先行することになりかねないことから、慎重に行う必要があると感じた。 								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<ul style="list-style-type: none"> ・単なる市民協働のまちづくりに関する説明会では、市民参加の機運が薄いため、今日までの市民と行政の信頼関係、また、旧自治体毎にその手法も違っているようであるため、合併したとはいえ地区ごとの考え方や周知方法に一考を投じる必要があると感じた。 								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
<ul style="list-style-type: none"> ・各自治振興室職員による、地元説明や意見交換会を集落単位等で実施する。 								
平成23年度取組み内容(D)								
協働のまちづくりについての周知(5-1-1-1)と同じ								

取り組みについての成果(C)		
地域の皆さんに「協働のまちづくり」に関し、各地域の実情に応じたその取り組み姿勢を説き、様々な手法を用い、地域の現状と課題を把握し地域の皆さんとともに汗し組織の設立に結びつけた。		
平成23年度評価(所管)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
「協働のまちづくり」に関する取り組み姿勢を地域個別に入り説明し、地域の実情に応じた取り組み方により組織設立に結びつけたため、評価をAとする。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
担当職員が各地域へくまなく入り「協働のまちづくり」に関する取り組み姿勢を伝えたことは大変良かったと考える。しかし、組織の設立にかかわった地域の皆さんに限られ、広く周知されたとは言い難い。		
平成24年度中の実施目標(P)		
・市報、ホームページをとおした各協議会の活動紹介 ・各組織の活動において、各人の参加の呼びかけと定期的な“たより”の発行		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
多数回の説明会等の実施により周知されたことは大変評価できる。 所管課評価と同様A評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政と市民が協働でまちづくりに取り組む背景と理念を、全職員が共通認識し実践する事が重要です。全職員の意識が協働に向くことで、行政と住民が抱えている、それぞれの課題解決に向けた取り組みができると考えます。また、市民から求められている職員の積極的な地域活動への参加にもつながると考えます。</p> <p>また、あらゆる機会を捉えて市民へ施策をわかりやすく周知する事と、成功事例等の情報発信をして、市民に啓発することが必要です。</p> <p>尚、過疎化、高齢化の進んでいる地域の大きな課題として、協働に参加する人が特定の人に限られ、継続して進めることの難しさがあります。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・重要課題としている割には非常に遅れている。また、職員間の理解度・スキルの差が大きく、そもそも論として、市としての取り組み姿勢がはっきり見えない。</p> <p>・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月6日	平成24年6月18日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	先進地の協働の取り組みの研修		体制コード	5-1-1-4				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
市職員に対し、講演会および研修を検討し、H22年度に係長級の市職員を対象とした講演会を計画できた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市民協働のまちづくりの推進にあたっては、コーディネーターとなる職員や地域の職員参加および行政のバックアップが重要であることから、職員を対象とした講演会や講習会を実施する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・H22.11.4 市職員(係長以上)研修会 講演:元気な村上とするために～地域の一人として何をすべきか～ 講師:明治大学農学部 小田切 教授 小田切教授の許可を得て、DVDに講演を収録し、本庁及び各支所に配付した。								
取り組みについての成果(C)								
・時期的にタイムリーな講演内容で参考になったと思われる。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
・職員間に温度差はあるものの、現在の国の動きや先進都市の事例が聞けたのは、これから協働のまちづくりを進める上で参考になったものと思われる。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・研修については、講師の都合で1日1回の研修となったことから、日中の研修として業務を比較的空けやすい係長級以上となったことは、反省すべき点である。なお、このことを補完する目的でDVDを配付したが、その利用も少なかったようである。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・実際に協働事業に携わった人を招致して、生きた研修を一般市職員以上を対象に実施を予定 ・担当する自治振興室職員については、先進都市視察を実施する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
・職員向けに協働に関するメールマガジン「むらかみ協働通信」の配信を継続(月1回) ・H23.11.18 職員研修会 元気な地域にするために～今、自ら何をすべきか～ 講師:宮城県大崎市経済産業部農林振興課 係長 安部 祐輝 氏 地域の皆さんと地域で生きるための農業に取り組んできた実績と経過とその思いを職員に伝えていただいた。 ・各地区担当職員において先進地視察研修を実施 荒川地区自治振興担当職員:7月28～29日 岐阜県恵那市・愛知県豊田市 神林地区自治振興担当職員:7月27日 山形県川西町 村上地区自治振興担当職員:9月5～6日 兵庫県朝来市 朝日地区自治振興担当職員:9月8～9日 三重県松阪市 山北地区自治振興担当職員:9月8～9日 柏崎市								
取り組みについての成果(C)								
地域の皆さんとともに汗し取り組みを進めた講師のお話は、各職員の地域での参画あるいは取り組みの意識付けになったと考える。 また、担当職員の先進地視察研修については、地域の実情に応じた視察先を選択し、以後の組織の立ち上げに関する取り組みに繋がった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
職員研修においては、地域の活性化を实践した講師の実体験を基にしたお話は、説得力があり、参加した多くの職員の参考になったと考える。また、担当職員の先進地視察研修については、「協働のまちづくり」が盛んに行われている地域に行き、現場を見て、取り組んでいる方の話を聞いたことは、各地区の具体的な取り組みに繋がった。以上により評価をBとした。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
職員研修は、昨年の反省を踏まえ、対象を全職員として実施したが、開催時期、業務の都合などで参加者数が思ったより少ない状況であった。取り組み状況を収録したDVDを各支所への配布、貸し出しを行ったが、利用者が少ない現状であった。 また、担当職員の先進地視察研修については、地域の実情に応じた視察先を選択し、以後の組織の立ち上げに関する取り組みに繋がった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
立ち上がった地域まちづくり組織の皆さんとともに、地域の実情に即した取り組みについて研修。 また、先進地域で具体的に取り組んでいる方を招いて、自ら学ぶ機会を設ける。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政と市民が協働でまちづくりに取り組む背景と理念を、全職員が共通認識し実践する事が重要です。全職員の意識が協働に向くことで、行政と住民が抱えている、それぞれの課題解決に向けた取り組みができると思います。また、市民から求められている職員の積極的な地域活動への参加にもつながると考えます。</p> <p>また、あらゆる機会を捉えて市民へ施策をわかりやすく周知する事と、成功事例等の情報発信をして、市民に啓発することが必要です。</p> <p>尚、過疎化、高齢化の進んでいる地域の大きな課題として、協働に参加する人が特定の人に限られ、継続して進めることの難しさがあります。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・重要課題としている割には非常に遅れている。また、職員間の理解度・スキルの差が大きく、そもそも論として、市としての取り組み姿勢がはっきり見えない。</p> <p>・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月6日	平成24年6月18日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	職員の意識改革のための研修会の実施		体制コード	5-1-1-5				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	検討	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
市職員に対し、講演会および研修を検討し、H22年度に係長級の市職員を対象とした講演会を計画できた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市全職員に対し、月2回のメールマガジンを配信。アンケートをとるとともに市内の事例を紹介するなど市職員の意識改革や自治活動への参画意識の醸成に資する取り組みを行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・H22.5.24～から月2回のメールマガジン配信及び意見徴収を実施。職員間においては温度差はあるが、協働への意識付けに寄与できた。								
取り組みについての成果(C)								
・協働に対する職員の意識の高揚								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・継続して、情報の受発信が出来たことは大きいと考える。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・メールマガジンにより、職員間に情報交換やイベントの案内など多岐に渡った協働のまちづくりに向けての下地が整いつつあるものの、参画する職員が限定してきている。しかしながら、情報を受けることの重要性は必ずあるものと思われる。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、メールマガジンについても、当初よりも配信頻度が減ってきているので、継続または新たな手法を行うなど、さらなる情報の共有に努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・メールマガジンについては、その情報の発信を本庁のみでなく、各支所からも行い、その情報の共有化を図る。 ・協働のまちづくりを推進するためには、市職員が一枚岩となりその力を十二分発揮することが重要であることから、さらなる情報の共有や交換の場を図るために「ツイッター」を取り入れを検討する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
・メールマガジンの配信を継続し全9号を配信した。 ・先進地域で地域住民とともに取り組みを進める市職員を講師に招き H23.11.18 職員研修会 元気な地域にするために～今、自ら何をすべきか～ 講師:宮城県大崎市経済産業部農林振興課 係長 安部 祐輝 氏 地域の皆さんと地域で生きるための農業に取り組んできた実績と経過とその思いを職員に伝えていただいた。 ・7月1日付けで「市民協働推進員設置要綱」を設け、各課の課長補佐級に協働推進員に就任いただき、「協働のまちづくり」の取り組みに対し、連携及び情報の共有を図り進めた。								
取り組みについての成果(C)								
メルマガ等により様々な情報や各地区の取り組み状況等が周知できた。また、本市内の地域と同様の立地の地域で具体的に取り組みを行っている先進市の職員からの話が身近に聞け、具体的な地域での取り組みに参考となった。 協働推進員との情報の共有が図られる地域が生まれたこと。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<ul style="list-style-type: none"> ・メルマガを継続的に配信したことにより、職員にその意識が芽生えてきたこと。 ・協働推進員を設置したことにより、推進に対する連携が見られたこと。 		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
<p>職員間で情報を相互に共有できる仕組みでないため、一方通行で、考え等のおしつけとなってしまうところがあるが、地域行事への参画状況を全職員に対し確認した際、回答職員の8割以上が積極的な関わりを見せ、意識付けの一助になっていると考える。</p> <p>また、協働推進員を設置したことによる連携が見られたことは、どの職場においても、同様の意識をもって取り組む姿勢の構築の表れと感じた。</p>		
平成24年度中の実施目標(P)		
<ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジンの継続的な配信による、各地区の取り組み等を周知 ・地域の取り組み等を積極的に発信する 		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・研修は重要です。講師は他県よりお願いしなくとも村上市内に立派な先生が多い。これを充てるべき。 ・職員削減をやっているわけですが、協働のまちづくり等を行うことで職員の負担が多くなると思われるが、特にイベント等になると休日等に行う事になると考えられます職員負担減の方法はあるか。(代休を除く、なかなか休めない) ・行政と市民が協働でまちづくりに取り組む背景と理念を、全職員が共通認識し実践する事が重要です。全職員の意識が協働に向くことで、行政と住民が抱えている、それぞれの課題解決に向けた取り組みができると考えます。また、市民から求められている職員の積極的な地域活動への参加にもつながると考えます。 また、あらゆる機会を捉えて市民へ施策をわかりやすく周知する事と、成功事例等の情報発信をして、市民に啓発することが必要です。 尚、過疎化、高齢化の進んでいる地域の大きな課題として、協働に参加する人が特定の人に限られ、継続して進めることの難しさがあります。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<ul style="list-style-type: none"> ・重要課題としている割には非常に遅れている。また、職員間の理解度・スキルの差が大きく、そもそも論として、市としての取り組み姿勢がはっきり見えない。 ・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。 	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月19日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	徹底した情報公開の推進		体制コード	5-2-1-1				
所管	政策推進課 企画政策室		担当者・内線番号	佐藤克也・531				
取組時期	H21	実施	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
・H21.5.1号市報で行政改革大綱の一方策として周知したが、行政全体としての情報の公開や提供が未だに十分とはいえない状態であり、積極的な情報公開の意義等を行政内部に周知させる必要がある。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市報やホームページのさらなる充実を図るとともに、職員に対しても積極的な情報開示や伝達力の向上を推進する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
なし								
取り組みについての成果(C)								
特に取り組みは実施しなかったが、政策推進課の所管業務は積極的な情報公開を実施した。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)					
全課への公開の呼びかけは実施しなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
評価できる成果及び指標が不明 情報公開の推進は主たる公開ツールを所管する政策推進課の取り組みでなく、全課共通の取り組みとなる 全課の個別計画をホームページに掲載するよう本部で指示するべきと思う								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)					
情報公開の推進については全課共通の取り組みという部分もあるため、C評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
全課の個別計画をホームページに掲載する。(全課共通の取り組みとして)								
平成23年度取り組み内容(D)								
なし								
取り組みについての成果(C)								
特に取り組みはしなかったが、平成23年度中にホームページに掲載依頼のあった各課の情報は全て公開した。 政策推進課の情報は積極的な公開に努めた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
各課に市報及びホームページへの積極的な掲載を呼びかけなかった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
情報の公開についての職員への意識付けが必要ではないかと感じた。		
平成24年度中の実施目標(P)		
市報及びホームページの所管課として、担当者会議等で掲載するよう呼びかけを行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 平成22年度本部会義評価と同様に情報公開の推進については全課共通の取り組みという部分もあり、市報及びホームページの所管課のみ取り組むものでもない。 全課共通認識により取り込める体制の検討が必要。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・総務省からも「総人件費改革」「公共サービス改革」「公会計改革」の徹底した情報公開が求められています。また、現状では行政や民間企業を問わず、多くの事に透明性と説明責任が求められ、市においても的確な情報発信と、透明性の高い情報の公開が更に必要と考えます。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
・情報公開にあたり、予算の透明性、正当性をよりいっそう図るため、意思決定のプロセスについても、推進して欲しい。人事や給与といった個人情報との兼ね合いが深いものについても、今後の検討課題として議論してもらいたい。 ・情報公開やそれに向けた取り組みは遅れている。	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月19日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	広報・広聴組織の充実		体制コード	5-2-1-2				
所管	政策推進課 企画政策室		担当者・内線番号	佐藤克也・531				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23	-	
	H24		H24	-		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
本庁各課の広報協力員や各支所の広報広聴担当者との協力体制の充実を図り、市民へ分かりやすい情報の提供を行う。								
平成22年度取組み内容(D)								
広報協力員会議 平成22年4月開催 本庁・支所広報担当者会議 月1回開催 次号編集内容の打合せ 平成23年2月 平成23年度の編集内容(コーナー)、市政懇談会、暮らしの便利帳等								
取組みについての成果(C)								
定期的に会議は開催したが特に際立った成果はない								
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い					
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
会議そのものが連絡会議的であり、職員の広報編集スキルの向上に繋がらなかったため								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
会議時間が1時間程度で短かった。研修要素を取り込めなかった。								
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い					
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
本庁・支所担当者会議に研修要素(構成、写真等)を取り組む 県協議会開催の研修会に積極的に参加する								
平成23年度取組み内容(D)								
本庁・支所の担当者が変わったことから、紙面構成や表現などの研修会的な会議を担当者会議で行った。 県協議会主催の研修に参加した。 記事作りに参考となる情報の提供を行った。								
取組みについての成果(C)								
伝えたいことをうまく表現した記事の作成や写真撮影などが上手くなった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
各担当者の広報編集スキルアップに繋がった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
各担当者の広報編集に対する意識が高まっている。		
平成24年度中の実施目標(P)		
協働のまちづくりと連携して、紙面の充実を図る。 引き続き、県協議会の研修会に積極的に参加する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・レイアウトの工夫が必要。</p> <p>・総務省からも「総人件費改革」「公共サービス改革」「公会計改革」の徹底した情報公開が求められています。また、現状では行政や民間企業を問わず、多くの事に透明性と説明責任が求められ、市においても的確な情報発信と、透明性の高い情報の公開が更に必要と考えます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・情報公開にあたり、予算の透明性、正当性をよりいっそう図るため、意思決定のプロセスについても、推進して欲しい。人事や給与といった個人情報との兼ね合いが深いものについても、今後の検討課題として議論してもらいたい。</p> <p>・情報公開やそれに向けた取り組みは遅れている。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月19日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	ホームページの充実		体制コード	5-2-1-3				
所管	政策推進課 企画政策室		担当者・内線番号	佐藤克也・531				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
各課にホームページ管理担当者を設置し、コンテンツ(情報)の収集、更新、追加を図った。また、ホームページ操作研修を行い、各課でコンテンツを作成、更新できる体制整備を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
情報不足を補うため、また、タイムリーに情報発信するため、ホームページ管理担当者会議の開催や操作研修を実施する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
ホームページ担当者会議の開催 1回								
ホームページ作成研修会の開催 1回								
取り組みについての成果(C)								
研修会を通し複数の課で作成できるようになった								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
課により完成度の差が大きく、平準化されていないため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
研修会を複数回開催する必要がある 新採用職員や異動職員など、対象を絞って研修を行い、ホームページ作成技術を習得させる必要がある								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
各課での作成が標準化し、その中身について成果、評価が記載できるようになるよう努ること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
新採用職員や異動して新たに担当することとなった職員を対象としたホームページ作成研修会を開催する								
平成23年度取り組み内容(D)								
平成20年度から23年度の新採用職員(25人)を対象に情報化研修会を実施した。								
取り組みについての成果(C)								
研修受講者 23人(公務により2人欠席)								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
新採用職員にホームページの操作方法や情報公開の制度に対する理解を深めることができた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
各課において担当する職員の情報化への一層の理解とスキルを高めていく必要がある。		
平成24年度中の実施目標(P)		
今年度の新採用職員及び各課のホームページ実務担当者を対象に研修会を実施する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・総務省からも「総人件費改革」「公共サービス改革」「公会計改革」の徹底した情報公開が求められています。また、現状では行政や民間企業を問わず、多くの事に透明性と説明責任が求められ、市においても的確な情報発信と、透明性の高い情報の公開が更に必要と考えます。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・情報公開にあたり、予算の透明性、正当性をよりいっそう図るため、意思決定のプロセスについても、推進して欲しい。人事や給与といった個人情報との兼ね合いが深いものについても、今後の検討課題として議論してもらいたい。 ・情報公開やそれに向けた取り組みは遅れている。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会					
	平成24年6月20日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無					
取組内容	市政懇談会や出前講座の拡充		体制コード	5-2-1-4						
所管	生涯学習課 社会教育推進室		担当者・内線番号	佐藤勝則 内線朝日232						
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-		
	H22	実施		H22	-		H22	5375人		
	H23			H23	-		H23	-		
	H24			H24	-		H24	-		
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)			
平成21年度取り組み内容(D)										
・出前講座については、65講座実施し、参加者数は1,753人であった。										
平成22年度中の実施目標(P)										
市報むらかみに掲載し、市民へ情報提供する。										
平成22年度取り組み内容(D)										
175講座実施し、参加者数は5,375人。										
取り組みについての成果(C)										
市役所・消防・新潟地方法務局・税務署・警察署・村上地域振興局の協力により、22年度は44講座の準備ができた。										
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
市民へ学習機会を提供するという目的を達成できた。										
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)										
各課に年末に照会し、実施結果を報告してもらっているが、各課で講座の数え方が異なっていたことが分かった。このため、23年度末に実績を依頼する際は、統一するよう呼びかける必要がある。										
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
回数も参加者数も増加しており、所管課の評価のとおり、B評価とする。なお、より一層出前講座の内容の充実や、PRに努めること。										
平成23年度中の実施目標(P)										
各課に年末に照会し、実施結果を報告してもらっているが、各課で講座の数え方が異なっていたことが分かった。このため、23年度末に実績を依頼する際は、統一するよう呼びかける。										
平成23年度取り組み内容(D)										
173講座実施し、参加者数は5,362人。										
取り組みについての成果(C)										
新潟地方法務局村上支部・村上税務署・村上警察署・村上地域振興局の協力により、23年度は41講座の準備ができた。										

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
市民へ学習機会を提供するという目的は達成できた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
市民への周知のためポスターとチラシは、各地区公民館・分館や市内施設に配布した。		
平成24年度中の実施目標(P)		
市報・市HP掲載を始めポスター掲示・チラシ配布を行い、市民へ情報を提供し学習機会の拡大を図る		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月6日	平成24年6月18日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	地域活動や市民団体活動の紹介		体制コード	5-2-1-5				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
市民協働のまちづくり指針に基づき、市民協働のまちづくりプログラム(試案)を作成した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
協働のまちづくりの推進にあたっては、NPO法人や各種団体の協力が不可欠であることから、各種まちづくりの実績や活動状況を市報やホームページで紹介する。								
平成22年度取組み内容(D)								
・未実施								
取組みについての成果(C)								
・該当無し								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・未実施につきD								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・一部の団体の紹介に偏ったり、逆に紹介することでNPO法人等の活動の妨げになる場合もあることから慎重に対応すべきと判断した。								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
取組みは行われなかったが、「慎重に対応すべきと判断した」ということであるので、C評価とした。 ただし、趣旨である協働のまちづくりの意識高揚の妨げにならないよう、別の手法を検討するなど、情報の共有化の推進に努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・なし								
平成23年度取組み内容(D)								
なし								
取組みについての成果(C)								
なし								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>市民、各種団体、企業、そして行政がともに連携をし取り組みを進めるのが「市民協働のまちづくり」。 H23年度末に各地域で組織を立ち上げたばかりで、地域活動団体を紹介することは、互いに連携しようとしている状況を崩しかねない。慎重に考え、取り組むべきと感じる。 よって、H23年度の評価をDとした。</p>		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
同上		
平成24年度中の実施目標(P)		
各地域まちづくり組織の活動をとおして、各種団体の活動を市報やホームページ等で紹介をする。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。 平成24年度は目標どおり実施できるよう努めること。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政と市民が協働でまちづくりに取り組む背景と理念を、全職員が共通認識し実践する事が重要です。全職員の意識が協働に向くことで、行政と住民が抱えている、それぞれの課題解決に向けた取り組みがでると考えます。また、市民から求められている職員の積極的な地域活動への参加にもつながると考えます。 また、あらゆる機会を捉えて市民へ施策をわかりやすく周知する事と、成功事例等の情報発信をして、市民に啓発することが必要です。 尚、過疎化、高齢化の進んでいる地域の大きな課題として、協働に参加する人が特定の人に限られ、継続して進めることの難しさがあります。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>情報公開やそれに向けた取り組みは遅れている。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月19日	所属長 平成24年6月22日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	市政提案制度や市政懇談会の充実		体制コード	5-2-2-1				
所管	政策推進課 企画政策室		担当者・内線番号	船山幸文・531				
取組時期	H21	実施	目標数値 (単位:人、%、円など)	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期							
平成21年度取り組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> ・市政提案制度の充実については、10/1から電子メールでの受付を開始した。 ・市政懇談会については、NPO法人に対して懇談会を実施した。 								
平成22年度中の実施目標(P)								
市政提案については、まちづくりの参画意識の向上の観点から制度や手法の改善を図るとともに、市政懇談会については、説明会やイベントに合わせ市長が出向き、まちづくりの方針や懇談を深めるなど、身近な懇談会とする。								
平成22年度取り組み内容(D)								
【市政提案制度】 受付件数 43件 【市政懇談会】 未開催								
取り組みについての成果(C)								
【市政提案制度】 受付件数 43件 内12件について回答 H23/4月からの実施に向け手法の改善を検討 【市政懇談会】 未開催								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
【市政提案制度】 制度の改善ができなかったため。 【市政懇談会】 開催できなかったため。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
【市政提案制度】 苦情や個人(市民、企業)の中傷などの内容の投稿が多く見られる。 回答後の取組みへの検証が実施されていない 【市政懇談会】 テーマ決定が遅れたため日程が確保できず開催に至らなかった。 早期の取組みが必要								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課の評価のとおり、D評価とした。 市政提案制度については、現状機能しているとは思えないので、何のために行っているのかを整理し、見直しが必要。								
平成23年度中の実施目標(P)								
【市政提案制度】 苦情と提案の区分が必要なため投函後の処理フローを整理する。 制度の見直し(検証手法)について検討する 【市政懇談会】 各地区、昼夜2回開催する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
【市政提案制度】 様式に「市政提案」、「意見・要望」のいずれかを記入してもらう欄を設け、また提案箱開披の担当を総務課総務・危機管理室、各支所地域振興課総務管理室とするなど、処理のフローについての整理を行った。 【市政懇談会】 各地区において、昼夜1回ずつ開催した。								

取り組みについての成果(C)		
[市政提案制度] 受付件数 8件 内3件について回答		
[市政懇談会] 参加人数 述べ826人		
平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
市政提案制度においては処理フローの整理等制度の改善を行うことができ、市政懇談会においては昼夜開催することにより、参加しやすい環境を提供することができた。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
[市政提案制度] 提案に対する回答後において、各課がどのように取り組んだのか検証する必要がある。		
[市政懇談会] 市民に対して 懇談会開催のお知らせをもっとするべきだった。		
平成24年度中の実施目標(P)		
[市政提案制度] 回答後において、提案を受けての各課の取組を確認する手法について検討する。		
[市政懇談会] 各地区において、中学生を対象とした懇談会を実施する。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 市政懇談会は多数の市民が参加できるようPR・開催時期等を検証が必要。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・市政提案制度は建設的で実現可能である事などを、提案の条件にする事も検討が必要です。尚、提案制度や懇談会は外形だけになりがちであり注意が必要です。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
・広く住民の意見を収集できるよう、方策の多岐化を望む。 ・市民との情報交換や提言受け入れ、「協働」と言っている仕組みづくり、また職員の地域理解が全く遅れて足りないように感じる。	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月19日	平成24年6月22日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有			
取組内容	パブリックコメント制度の導入		体制コード	5-2-2-2				
所管	政策推進課 企画政策室		担当者・内線番号	佐藤克也・531				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
導入に向け、本市にあった制度を検討する。								
平成22年度取組み内容(D)								
各市町村の実施状況及び制度内容の情報収集を実施した。								
取組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
情報収集で終り、制度の検討まで着手しなかった。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
制度構築にあたっては現行業務への影響を充分考慮し進める必要性を強く感じた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
検討しなかったということで、D評価とした。 また、平成23年度の実施目標による検討の結果については、今年度中にまとめるよう努めること。								
平成23年度中の実施目標(P)								
現行の個別計画での位置付けの確認 制度の研究								
平成23年度取組み内容(D)								
収集した情報内容の調査・研究を行った。								
取組みについての成果(C)								
調査・研究結果がまとまっていない								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
具体的検討にまで至っていない		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
各課の現行業務への影響を考えると慎重に進める必要がある。		
平成24年度中の実施目標(P)		
研究結果をまとめ、制度の構築に努める。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
検討を行っていないためD評価とした。 平成22年度から検討を行っていないので今年度中に検討し、結論を出すよう努めること。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政と市民が協働でまちづくりに取り組んでいる中においては、制度の導入は必要と考えます。尚、パブリックコメント制度は外形だけになりがちであり注意が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・制度検討に着手しなかった(できなかった)理由、原因の掘り下げがない。 ・行政手続法の努力規定に基づき条例等で定めるということを前提としているのか。 ・市民との情報交換や提言受け入れ、「協働」と言っている仕組みづくり、また職員の地域理解が全く遅れて足りないように感じる。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月6日	所属長 平成24年6月18日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	市民相互の協働に繋がる仕組みづくりの構築		体制コード	5-2-2-3				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
「市民協働のまちづくり推進プログラム」などをまとめ、公表するとともに、関係各課と調整を図り、仕組みづくり検討する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働のまちづくり推進プログラムを策定・公表 推進プログラムをわかりやすくするため、はじめの一歩の考え方を作成し、説明会等で使用した。 各課に「市民協働推進員」の設置を検討し、要綱策定を開始した。 								
取り組みについての成果(C)								
成果という点では、協働のまちづくりの仕組みづくりには至っていない。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
成果からの判断								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
市民協働のまちづくりは、上意下達の手法では成立しないものであるため、その仕組みづくりも多種多様である。このため、地域に根ざした無理のない仕組みづくりを地域住民と一緒に築き上げて行く必要がある。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 取り組みについての感想に記載されている「地域に根ざした無理のない仕組みづくりを地域住民と一緒に築き上げて行く必要がある」を行っていくためには、市民説明会の開催や、情報の共有化を図っていくなど、まだまだ取り組んでいかなければならないことが多くあるので、スケジュールを定め、計画的な取り組みを行うこと。								
平成23年度中の実施目標(P)								
各地区における市民協働のまちづくりの仕組みを構築していく。								
平成23年度取り組み内容(D)								
協働のまちづくりについての周知(5-1-1-1)と同様								
取り組みについての成果(C)								
各地域で、市民、各種団体、行政が連携した「地域まちづくり組織」の設立を進め、17の組織が設立した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
市内全ての地域に組織が設立され、互いに繋がり連携する仕組みづくりが構築されたことによる。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
地域の皆さんが、地域の現状と課題を踏まえ、その解決策や地域資源を活かす方策の検討を担当職員とともに進め、具体的に解決するための組織化を地域の人材を活かし取り組んだ成果とを感じる。 今後は、さらに関わる人ばかりでなく仲間づくりを積極的に進め、面的な取り組みに繋げる必要がある。		
平成24年度中の実施目標(P)		
・担当職員により各協議会の支援をさらに充実させる。 ・各地域まちづくり組織の取り組みについて積極的な情報発信を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
5-1-1-1と同様A評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
・行政と市民が協働でまちづくりに取り組む背景と理念を、全職員が共通認識し実践する事が重要です。全職員の意識が協働に向くことで、行政と住民が抱えている、それぞれの課題解決に向けた取り組みができると思います。また、市民から求められている職員の積極的な地域活動への参加にもつながると考えます。 また、あらゆる機会を捉えて市民へ施策をわかりやすく周知する事と、成功事例等の情報発信をして、市民に啓発することが必要です。 尚、過疎化、高齢化の進んでいる地域の大きな課題として、協働に参加する人が特定の人に限られ、継続して進めることの難しさがあります。		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。 ・市民との情報交換や提言受け入れ、「協働」と言っている仕組みづくり、また職員の地域理解が全く遅れて足りないように感じる。	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会					
	平成24年6月6日	平成24年6月18日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 有					
取組内容	職員の地域活動等への参加促進		体制コード	5-2-2-4						
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331						
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-		
	H22			H22	-		H22	-		
	H23			H23	-		H23	-		
	H24			H24	-		H24	-		
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)			
平成21年度取り組み内容(D)										
職員の意識改革、協働意識の醸成につながる取り組みの一環として職員向け研修会の開催を検討した。										
平成22年度中の実施目標(P)										
協働のまちづくりの推進あたっては、地域職員の全員参加が不可欠であるため、協議会組織や仕組みづくりを行う。										
平成22年度取り組み内容(D)										
・未実施										
取り組みについての成果(C)										
・該当無し										
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い	
・未実施につきD										
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)										
・地域職員の地域活動への参加は、各地区・地域の実情等により違っており、町内・集落の役員等で貢献しているもの、町内・集落活動に参加しないもの様々である。しかしながら、地域社会のため貢献したいと願っていることは事実であることから、参加していない場合はそのきっかけづくりが重要と考える。										
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い	
所管課評価に同じ。										
平成23年度中の実施目標(P)										
・先進都市の協働のまちづくりに携わった自治体職員等を講師に招き職員の研修を実施予定										
平成23年度取り組み内容(D)										
・H23.11.18 職員研修会 元気な地域にするために～今、自ら何をすべきか～ 講師:宮城県大崎市経済産業部農林振興課 係長 安部 祐輝 氏 地域の皆さんと地域で生きるための農業に取り組んできた実績と経過とその思いを職員に伝えていただいた。 ・職員の地域行事への参画状況調査を実施 実施期間:1月16日～2月3日 回答者数:561人(回答率65%)										
取り組みについての成果(C)										
地域との垣根を取り払い取り組む姿勢を示した講師の話に、参加した多くの職員が共感を覚えていた(振り返りシートから) また、地域行事への参画状況調査については、回答者の85%から積極的な参加が窺えた。										

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>計画どおり職員研修会を開催し、参加者からは共感を得られたところであったが、参加した職員が少なく、その成果が過少であった。しかし、アンケート調査においては、ごく当たり前に地域の活動に参加する状況が見て取れた。時間をかけ、今後も意識改革を進めて行く必要性を感じ、Bと評価する。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>評価に同じ。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>設立した各協議会の積極的な情報を伝達するとともに、協議会が集う「市民フォーラム」への職員の参画を促し、地域活動への参画の足がかりとしたい。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・市役所内の仕事も大切ですが、地域の課題解決や活性化に対する適切な施策を生むためには、地域活動に積極的に参加し地域の話聞き、一緒に考え、一緒に行動できる職員が必要です。地域活動への積極的参加は重要であり、目標管理制度や人事考課制度の項目への採用も検討が必要です。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
<p>具体的意見・要望(A)</p>	
<p>・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。 ・市民との情報交換や提言受け入れ、「協働」と言っている仕組みづくり、また職員の地域理解が全く遅れて足りないように感じる。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月6日	所属長 平成24年6月18日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	補助制度や助成制度の整備		体制コード	5-3-1-1				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
コミュニティ活動の拠点となる、集会施設整備事業補助金制度や協働のまちづくり推進のための財政支援のための条例・要綱を策定する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・H22.6.15 村上市集会施設整備事業補助金交付要綱施行 ・H23.4.1 施行に向けて「村上市地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例」「同施行規則」を検討								
取り組みについての成果(C)								
・計画どおりに施行ができ、かつ、集会施設整備事業補助金交付要綱については、わかりやすくまとめた、概要版と手続きの流れについて、全区長等へ送付した。また、職員用として事務処理要領を作成し、各支所地域振興課へ配付し、手続きの一元化を図った。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・評価により判断し、計画どおりの執行であったためBとした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・集落施設整備事業補助金交付要綱については、合併前の各市町村要綱にばらつきがあり、合併時に平成23年度から施行の新市要綱を作成されていたが、事業区分が明確でなかったこと、補助率については行革大綱に基づかないものであったこと、集会施設については地域コミュニティの中核を担う大切な施設であることから、地域住民に対し負担軽減を行うことなどを総合的に判断し、補助金の種別、補助金額を設定し、利用しやすくと考えた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・村上市地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例については、特に交付金の執行に関して公平正等を担保するため、ガイドラインを作成する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
・7月に「市民協働のまちづくり推進ガイドライン」を策定する。								
取り組みについての成果(C)								
・各地区担当職員、市民協働推進員に配布するとともに、全職員に対し閲覧を可能とする。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおりにガイドラインを策定し、各組織の設立のための支援策となった。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
条例に基づき、ガイドラインを参考にし組織の設立に取り組んだ。結果取り組みは進んだが、今後具体的な取り組みを進めることにより、新たな課題が見えてくると考える。そのため、地域の現状、将来像を踏まえたガイドラインの改定が必要と考える。		
平成24年度中の実施目標(P)		
各組織の取り組みを踏まえ、地域の現状、将来像に基づいた「市民協働推進ガイドライン」改定を進める。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なし		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
計画通りに施行出来ただけでなく、手続きの一元化など、市民の立場に立った事務処理の効率化まで行っている点は良いと思う。		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月6日	所属長 平成24年6月18日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	まちづくりのリーダーとなる団体・人材育成のための支援や研修会の実施		体制コード	5-3-1-3				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度からの本格実施に向けて、まちづくり協議会の組織や地域リーダーの育成のための支援や情報提供を検討する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・未実施								
取り組みについての成果(C)								
・該当無し								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・未実施につきD								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・なし								
平成22年度評価(本部会議)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・まちづくり組織の設置に合わせ各地域のリーダー育成を検討する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
・各地域の皆さんが、地域まちづくり組織の設立を担当職員とともに「まちづくり計画」の策定から組織設立まで進めた。								
取り組みについての成果(C)								
・地域まちづくり組織の設立に向け、公募あるいは各町内集落、団体等から選出された方々により、職員とともに進めたことで、地域人材の発掘に繋がった。 ・リーダー育成の研修等を進めてはいないが、自ら住んでいる地域を考えることで、地域に対する自信と誇りの再生に繋がり、地域のために率先して活動する人材の育成に繋がった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
地域の将来像を踏まえ、自ら関わり計画策定を進めてきたことで、地域に対する自信と誇りの再生に繋がり、関わる人材の発掘に繋がったことでBと評価する。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
計画が具現化し、関わる人材の育成や地域の人とのつながりが生まれることで、点の働きから面の活動へつながることを期待したい。そのために、常に活動を評価する仕組みを構築することが必要と感じている。		
平成24年度中の実施目標(P)		
<ul style="list-style-type: none"> ・市報やホームページ、各地域のたより等で地域の活動や人材を紹介する。 ・市民フォーラム等で相互の情報交換を行い、先進地の講師から、その取り組みについて教示いただく。 		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・無償ボランティアの市民で構成されている”まちづくり”組織が、長期に安定して継続できる組織となるのか疑問である。 ・長く継続できる安定した組織づくりを検討すべきでないか。 ・色々な研修会に必要な講師名簿を作成し、各団体に配布する。 ・協働のまちづくりにおいては、行政も市民もリーダーの人材育成が重要な課題であり必要です。 		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>全くの未経験者をリーダーに育成するなどと考えずに、現に地域活動をしている人たちがいるわけだから、そういう人を講師にしてネットワークを構築するなどの方法ではいかがでしょうか。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成24年6月6日	平成24年6月18日	平成24年7月12日	平成24年8月1日	個別意見 無			
取組内容	自治振興課及び自治振興室の設置		体制コード	5-3-2-1				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22	-	
	H23		設置	H23		-	H23	
	H24		H24	-		H24		
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度に設置予定の自治振興課へのシームレスな業務移行を行うため、12月をめどにその準備を完結する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・市民協働のまちづくりの取り組む事業の中で関係の深い各地区公民館事業の調査を行った。 ・分館の廃止に伴い、分館事業の引継および村上地区公民館事業との調整を行った。								
取り組みについての成果(C)								
・分館の廃止に伴う関係住民の不安を解消するため、村上地区区長会に他地区区長会に先んじて説明会を開催した。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
・関係住民の不安の解消に努めた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・分館を所管する生涯学習課の対応が遅れ、協働のまちづくりによって分館が廃止されるような市の方針であるかのごとく地域住民に受け止められ、協働のまちづくりの推進に支障が生じた。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
予定どおり自治振興課および自治振興室の設置が行われたため、B評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・地域の特色を活かした魅力ある市民協働のまちづくりの推進と各支所自治振興室・自治振興課の連携を図るため、月に1回のペースで担当者会議を開催する。								
平成23年度取り組み内容(D)								
「地域元気会」と称し、担当職員の情報交換を図る会議を6月、9月、12月に開催。 他、政策推進課も参画した業務連携会議を、4月、10月、1月に開催。 計6回開催した。								
取り組みについての成果(C)								
互いの現状や、取り組みに関する情報交換が図られ、取り組みの推進に有効的であった。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>月1回の開催計画は、組織の設立と相まって、行うことはできなかったが、定期的に会を開くことで情報の共有と、相互の連携に繋がったことで評価した。</p>		
<p>取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)</p>		
<p>互いに会い、情報を交換することは非常に有意義であり、取り組みに対し発展性を持たせることとなる。しかし、各種取り組みを進める中では、時間を割くことが非常に難しく、調整に手間取ることさえあった。</p>		
<p>平成24年度中の実施目標(P)</p>		
<p>各職員が活用している情報系の端末を活用し、担当職員だけが情報を交換できる「元気会(電子版)」を構築し、相互の情報交換に努める。また、協働に関する特集号を発行する際、年3回程度の会合を持ち、互いの連携、情報交換を行う。</p>		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。</p>		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>なし</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>説明会に参加したが、説明している職員が内容をよく理解していなかった。担当職員の勉強不足としか言いようがない。</p>		

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月6日	所属長 平成24年6月18日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	支所庁舎を中心とした、市民や地域の団体を結ぶネットワーク強化		体制コード	5-3-2-2				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度に設置予定の自治振興課・自治振興室および行政組織の連携強化を図る目的として連携体制の検討を図る。								
平成22年度取り組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> 各庁舎単位で各課に「市民協働推進員」を設置すべく要綱等の検討を行った。 意識啓発を目的とした市職員に対するメールマガジンの配信を行った。 								
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働推進員の設置に向けて、職員の意識の醸成が必要であるとの判断のもと、全職員に対しメールマガジンにより、本市が進めようとしている市民協働のまちづくりの手法や方針等を月2回のペースで配信するとともに広く意見や話題を徴収した。 								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<ul style="list-style-type: none"> 計画どおりに検討ができた。 								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<ul style="list-style-type: none"> 市職員の意識付けについては、これからが本番であり、地域のキーマンとなれるよう様々な手法を投じていきたい。 								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
<ul style="list-style-type: none"> 各庁舎単位で各課に「市民協働推進員」を設置し、地域の課題への対応の迅速化を図る。 								
平成23年度取り組み内容(D)								
7月に「市民協働推進員設置要綱」を定め、各課課長補佐級に「市民協働推進員」に就任いただいた。								
取り組みについての成果(C)								
担当職員との連携が見られ、地域の現状把握の際の情報や推進の情報が活かされる場面が多く見られた。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
成果で示したとおり、設置したことによる連携が見られたため。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
連携が見られる地域があるが、「協働のまちづくり」の取り組みが地域で具体的に始まったばかりで、まだ多く見ることができない。目指すはワンストップと考えるが、そのための連携が必要不可欠。		
平成24年度中の実施目標(P)		
各地区で「市民協働推進員」との連携するための仕組みづくりを構築いただく。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・「公民館はどうなったの」、「どこへいったの」という声を耳にする。公民館=まちづくり、と名前を変えただけか。今ある公民館の役割とまちづくりの役割は少し異なる部分があると思う。公民館としての役割や機能を市民にアピールしてもらいたい。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>取り組みが遅い。</p>	

平成23年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成24年6月6日	所属長 平成24年6月18日	行革担当 平成24年7月12日	本部会議 平成24年8月1日	行革委員会 個別意見 有			
取組内容	「(仮称) 地域まちづくり協議会」 の設立と開催		体制コード	5-3-2-3				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	富樫 充 331				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度以降のまちづくり協議会設立に向け、職員のコーディネート力を身につけさせ、地域住民が参加しやすい組織の立ち上げと、開催をサポートする。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・協議会(まちづくり組織)を立ち上げる意味、市民協働のまちづくりの必要性等を十分周知していただくため、市民に対しては、市報やホームページにより情報提供を行うとともに、各地域審議会や区長等への説明会を実施した。 ・職員への対応は、各支所地域振興課との連携会議での検討や職員研修会、メールマガジンなどによる意識の高揚・共通認識の構築に努めた。								
取り組みについての成果(C)								
・協働の意味や認識がまだ十分とは言えない状況もあり、今後においても辛抱強く意識づくりを行っていく。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
・行政組織の再編の関係で、1年遅れの計画となったが、市民への周知等の必要性から有効な時間を費やすことができた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・市民への周知よりも市職員の意識の統一が大変であるように思えた。「他課のやることだから分からない」という認識は避けなければならないことであり、そのためにも全職員の意識づくりが重要と考える。								
平成22年度評価(本部会議)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
予定よりも取り組みが遅れているため、C評価とした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・各地区においてまちづくり組織を立ち上げる。								
平成23年度取り組み内容(D)								
協働のまちづくりについての周知(5-1-1-1)と同様								
取り組みについての成果(C)								
市内全地域に17の地域まちづくり組織が設立した。								

平成23年度評価(所管)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
各地区すべてに地域まちづくり組織が設立したためAと評価した。		
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)		
市民の皆さんが中心となって、まちづくり計画を策定し、組織の設立を進めたことは関わっていただいた市民の皆さんに大きな自信となったと感じる。今後は、これまで、設立に関わっていただいた皆さんを含め、広く参画いただくための取り組みを進める必要がある。		
平成24年度中の実施目標(P)		
市報特集号やホームページ、各地区のたよりなどによる積極的な情報の発信を行い、多くの皆さんが参画する場の確保を行う。		
平成23年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
計画どおりであるためB評価とした。		
平成23年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・「市民協働のまちづくり推進ガイドライン」に沿って進められているのはよいが、そのガイドラインに沿わせようとして行政主導となり、民意が十分反映されていないくらいがある。</p> <p>・行政と市民が協働でまちづくりに取り組む背景と理念を、全職員が共通認識し実践する事が重要です。全職員の意識が協働に向くことで、行政と住民が抱えている、それぞれの課題解決に向けた取り組みができると思います。また、市民から求められている職員の積極的な地域活動への参加にもつながると考えます。</p> <p>また、あらゆる機会を捉えて市民へ施策をわかりやすく周知する事と、成功事例等の情報発信をして、市民に啓発することが必要です。</p> <p>尚、過疎化、高齢化の進んでいる地域の大きな課題として、協働に参加する人が特定の人に限られ、継続して進めることの難しさがあります。</p>		

平成22年度実施計画進捗状況に対する行革委員会意見

行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)
具体的意見・要望(A)	
<p>・取り組みは遅れているが、職員の意識づくりの重要性など、今後の取り組みについてポイントの把握が出来ている。</p> <p>・取り組みについての感想は大きな問題である。</p>	